

学力検査の概要

令和7年度岡山県公立高等学校入学者選抜のための
学力検査の結果等について

岡山県教育委員会

学 力 検 査 の 概 要 に つ い て

令和7年度岡山県公立高等学校入学者選抜のための学力検査の結果等について、取りまとめました。

この冊子には、特別入学者選抜等も含めて、公立高等学校入学者選抜の実施状況等の統計資料と、学力検査結果の概要及び学力検査の応答状況について分析した統計資料を収録しています。

県下中学校卒業者の進学実態及び学習修得程度の実態を反映したものになっていると考えられますので、今後の学習指導及び進路指導上の参考資料として十分活用くださるよう期待します。

岡山県教育庁高校教育課
高 校 魅 力 化 推 進 室

本冊子の活用について

本冊子を指導計画や指導方法等の改善に活用していただくために、「第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、応答率及び問題」については、次のとおり構成しています。

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

各教科における指導を通して求める力の概要を示しています。

イ 問いごとのねらい

大問ごとに求める力を明示しています。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

正答率が比較的高かった設問及び低かった設問並びに、正答率に特徴が見られた設問について概要を明示しています。

イ 授業改善の視点等

「ア 結果の概要」において、各教科1、2問ずつ取り上げて、指導のポイントを明示しています。

〈分析〉

各問いについて、多く見られた部分点や誤答のパターンから思考過程を分析しています。

〈視点〉

分析を基に、身に付けさせたい力や具体的なアドバイスなど授業改善の視点を明示しています。

(3) 応答率

小問ごとに出题形式（選択・短答・記述）及び応答率（正答率・部分点率・誤答率・無答率）をグラフ化しています。応答率の高低が視覚的に把握しやすくなるように工夫しています。指導計画や指導方法等の改善に活用してください。

(4) 問題

解答用紙と学力検査問題です。

目 次

学力検査等の実施の概要	1
特別入学者選抜のための学力検査の概要	17
第1 学力検査の結果の概要	19
第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、 応答率及び問題	22
1 国 語	22
2 数 学	32
3 英 語	41
一般入学者選抜のための学力検査の概要	51
第1 学力検査の結果の概要	53
第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、 応答率及び問題	56
1 国 語	56
2 社 会	66
3 数 学	76
4 理 科	85
5 英 語	95

学力検査等の実施の概要

学力検査等の実施の概要

1 学力検査の目的

令和7年度岡山県公立高等学校入学志願者の学力を検査し、入学者選抜の資料とする。

2 学力検査の構成と期日・時間

特別入学者選抜	2月5日（水）
8:50 ~ 9:15	集合点呼。受検のための注意を受け、検査室に入る。
9:15 ~ 9:20	受検上の注意 黙読。
9:20 ~ 10:05	国語（45分）
10:05 ~ 10:20	退室、休憩。
10:20 ~ 10:25	検査室に入る。
10:25 ~ 11:10	数学（45分）
11:10 ~ 11:25	退室、休憩。
11:25 ~ 11:30	検査室に入る。
11:30 ~ 12:15	英語（45分）
12:20 ~ 12:30	面接・選択実施する検査についての注意を受ける。

一般入学者選抜	3月11日（火）
8:50 ~ 9:15	集合点呼。受検のための注意を受け、検査室に入る。
9:15 ~ 9:20	受検上の注意 黙読。
9:20 ~ 10:05	社会（45分）
10:05 ~ 10:20	退室、休憩。
10:20 ~ 10:25	検査室に入る。
10:25 ~ 11:10	数学（45分）
11:10 ~ 11:25	退室、休憩。
11:25 ~ 11:30	検査室に入る。
11:30 ~ 12:15	国語（45分）
12:15 ~ 13:00	退室、休憩、昼食。
13:00 ~ 13:05	検査室に入る。
13:05 ~ 13:50	英語（45分）
13:50 ~ 14:05	退室、休憩。
14:05 ~ 14:10	検査室に入る。
14:10 ~ 14:55	理科（45分）
15:00 ~ 15:10	面接・実技についての注意を受ける。

3 入学者選抜の実施方法

(1) 出願手続及び期日

特別入学者選抜	
1月 9日 ~ 1月17日	特別出願関係書類の提出 全国募集出願関係書類の提出
1月21日 ~ 1月23日	特別入学者選抜出願関係書類の提出 [特別入学願書、自己申告書 （学区外出願許可通知書） 特別入学志願者一覧表、調査書]
2月 5日	学力検査
2月 5日、2月 6日	面接、各高等学校において選択実施する検査 両日のうちいずれか1日で実施する場合がある。
2月14日	特別入学者選抜結果の通知
2月25日 ~ 3月13日	学年についての報告書、同百分率表の提出

一般入学者選抜

1月 9日 ~ 1月31日	特別出願関係書類の提出 全国募集出願関係書類の提出
2月25日 ~ 2月27日	入学出願関係書類の提出 [入学願書、自己申告書、実技申告書 (学区外出願許可通知書) 入学志願者一覧表、調査書]
2月25日 ~ 3月13日	学年についての報告書、同百分率表の提出
3月11日	学力検査 (鳥城高等学校では、数学、国語、英語の 3 教科を受検)
3月12日	面接
3月19日	合格者の発表

追検査

~ 3月12日	追検査出願関係書類の提出
3月19日	学力検査、面接
3月19日以降	合格者の発表

第 2 次募集 (県立全日制)

3月21日 ~ 3月24日	第 2 次募集出願関係書類の提出
3月25日	面接
3月25日以降	合格者の発表

第 2 次募集 (県立定時制)

3月21日 ~ 3月25日	入学出願関係書類の提出
3月26日	面接
3月26日以降	合格者の発表

(2) 学力検査問題の作成

岡山県教育委員会において作成した。

ただし、一般入学者選抜において高等学校長は、県教育委員会と協議の上、全ての教科又は一部の教科について問題を作成することができることとした。

高等学校長が問題を作成した高等学校及び教科は、次のとおりである。

岡山朝日高等学校 国語、数学、英語 (聞き取り検査を含む。)

(3) 学力検査の実施

学力検査は、志願先高等学校において実施した。

学力検査の実施管理に当たっては、高等学校ごとに委員長及び委員からなる実施委員会を設置した。

(4) 学力検査結果の処理

ア 特別入学者選抜

志願先高等学校ごとに、採点后、各教科の得点 (各教科70点満点) を合計し、その結果を選抜のための資料とした。

また、所定の統計表等を作成し、県教育委員会に提出した。

イ 一般入学者選抜

志願先高等学校ごとに、採点后、各教科の得点 (各教科70点満点) を合計し、その合計得点を基に高等学校長が定める10段階又は 5 段階の評定段階による評価を行い、その結果を「学力検査の評定段階」とし、選抜のための資料とした。

また、所定の統計表及び学力判定原簿を作成し、県教育委員会に提出した。

4 学力検査受検者数 (全国募集を除く)

第 1 表のとおりである。

5 公立高等学校入学志願者数及び合格者数 (全国募集を除く)

第 2 表、第 3 表のとおりである。

6 公立高等学校特別入学者選抜等志願者数及び合格内定者数 (全国募集を除く)

第 4 表 ~ 第 8 表、第10表 ~ 第14表のとおりである。

7 公立高等学校一般入学者選抜志願者数及び合格者数等 (全国募集を除く)

第 9 表、第15表のとおりである。

8 県立高等学校の全国募集志願者数及び合格者数等

第16表、第17表のとおりである。

第1表 学力検査受検者数

特別入学者選抜（公立全日制及び公立定時制）

年 度	卒業(見込)者数 (a)	入学志願者数 (b)	受検完了者数 (c)	欠 席 者 数 (b-c)	受 検 率 (c/a) × 100
令和7年度	16,650	7,316	6,948	368	41.7
令和6年度	16,908	7,624	7,269	355	43.0
増減	258	308	321	13	1.3

一般入学者選抜（公立全日制及び公立定時制）

年 度	卒業(見込)者数 (a)	入学志願者数 (b)	受検完了者数 (c)	欠 席 者 数 (b-c)	受 検 率 (c/a) × 100
令和7年度	16,650	6,224	6,135	89	36.8
令和6年度	16,908	6,427	6,279	148	37.1
増減	258	203	144	59	0.3

(注) 卒業(見込)者数は、特別支援学校中学部の卒業者数を含まない。

第2表 令和7年3月中学校卒業見込者数と募集定員及び志願者数等

令7.3 中 学 校 卒業見込 者 数 (a)	公 私 立		令7.3中卒 見込者で進 学希望者数 (7.1.10 現在) (b)	(b/a) × 100	募集定員 (c)	(c/a) × 100	入 学 志願者数 (d)	(d/a) × 100	合格者数 (e)	(e/a) × 100
16,650	公 立	全	11,231	67.4	10,905	65.5	6,010	36.1	10,258	61.6
		定	399	2.4	870	5.2	235	1.4	419	2.5
		計	11,630	69.8	11,775	70.7	6,245	37.5	10,677	64.1
	私 立		3,223	19.4	5,590	33.6				
	合 計		14,853	89.2	17,365	104.3				

(注) 私立の募集定員には朝日塾中等教育学校を含まない。

入学志願者数は一般入学者選抜及び県立高校に準じない入学者選抜のものである。

合格者数は、公立(全日制及び定時制)の第2次募集における合格者数を含む。

第3表 学科別定員及び合格者数

学 科 名	公 立 全 日 制		公 立 定 時 制	
	定 員	合格者数	定 員	合格者数
普通科 1	4,800	4,532	600	308
理数科 2	80	80		
普通科 3	440	560		
理数科	120			
普通科 4	160	200		
国際系	40			
その他普通系 5	120	114		
体 育 科	80	80		
農 業 科	470	408		
工 業 科	1,715	1,644	120	16
商 業 科	1,560	1,487	30	26
家 庭 科	400	376		
看 護 科	120	84		
情 報 科	40	40		
福 祉 科	40	40		
その他 6	80	68		
総 合 学 科	640	545	120	69
計	10,905	10,258	870	419

(注) 1は、岡山一宮高校、西大寺高校及び玉島高校の普通科を除く。

2は、倉敷天城高校及び津山高校の理数科。

3は、岡山一宮高校及び玉島高校の普通科と理数科のくくり募集。

4は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。

5は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。

6は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

合格者数は、第2次募集における合格者数を含む。

第4表 公立高等学校特別入学者選抜の学科別志願者数
及び合格内定者数等

県立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	677	1,142	671
理 数 科	95	223	95
国 際 系 学 科	20	59	20
そ の 他 普 通 系	96	151	96
体 育 科	80	100	80
農 業 科	367	447	343
工 業 科	1,305	1,791	1,283
商 業 科	1,168	1,735	1,140
家 庭 科	314	434	311
看 護 科	94	94	72
情 報 科	30	52	30
福 祉 科	32	42	32
そ の 他	72	72	66
総 合 学 科	324	398	319
計	4,674	6,740	4,558

(注)「その他普通系」は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校の
キャリア探求科。
「その他」は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

市立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
工 業 科	32	39	31
商 業 科	64	43	40
総 合 学 科	40	122	76
計	136	204	147

公立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	677	1,142	671
理 数 科	95	223	95
国 際 系 学 科	20	59	20
そ の 他 普 通 系	96	151	96
体 育 科	80	100	80
農 業 科	367	447	343
工 業 科	1,337	1,830	1,314
商 業 科	1,232	1,778	1,180
家 庭 科	314	434	311
看 護 科	94	94	72
情 報 科	30	52	30
福 祉 科	32	42	32
そ の 他	72	72	66
総 合 学 科	364	520	395
計	4,810	6,944	4,705

県立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	62	139	60

市立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	140	131	86
商 業 科	15	24	15
総 合 学 科	59	78	52
計	214	233	153

公立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	202	270	146
商 業 科	15	24	15
総 合 学 科	59	78	52
計	276	372	213

第5表 県立高等学校海外帰国生徒のための入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	各校とも 若干名	4	3
国 際 系 学 科		0	0
計		4	3

第6表 県立高等学校連携型中高一貫教育に係る
入学者選抜の志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	40 以内	9	8

第7表 県立高等学校フレックス制に係る入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
総 合 学 科	24	10	9

第8表 公立高等学校定時制課程の特別な入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	各校とも 若干名	0	0
工 業 科		0	0
総 合 学 科		0	0
計		0	0

第9表 公立高等学校の学科別の一般入学者選抜志願者数及び合格者数等

県立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
普 通 科 1	4,800	944	3,846	4,009	1.04	1.01	3,571	273	18	17	256
理 数 科 2	80	80	0	-	-	-	-				0
普 通 科 3	440	-	500	543	1.09	1.16	500				0
理 数 科	120	60									
普 通 科 4	160	-	180	252	1.40	1.51	180				0
国 際 系	40	20									
その他普通系※5	120	96	24	31	1.29	1.14	18	6	1	0	6
体 育 科	80	80	0	-	-	-	-				0
農 業 科	470	343	127	86	0.68	1.10	62	65	5	3	62
工 業 科	1,675	1,283	392	402	1.03	1.12	321	70	5	5	65
商 業 科	1,480	1,140	340	482	1.42	1.69	295	45	2	2	43
家 庭 科	400	311	89	74	0.83	1.89	60	29	6	5	24
看 護 科	120	72	47	14	0.30	0.62	12	35	0	0	35
情 報 科	40	30	10	7	0.70	1.30	10				0
福 祉 科	40	32	8	9	1.13	0.50	8				0
その他 6	80	66	14	3	0.21	0.63	2	12	0	0	12
総 合 学 科	480	328	152	56	0.37	0.72	49	103	11	8	95
計	10,625	4,885	5,729	5,968	1.04	1.09	5,088	638	48	40	598

(注) 1は、岡山一宮高校、西大寺高校及び玉島高校の普通科を除く。
2は、倉敷天城高校及び津山高校の理数科。
3は、岡山一宮高校及び玉島高校の普通科と理数科のくくり募集。
4は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。
5は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
6は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

市立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
工 業 科	40	31	9	5	0.56	0.38	3	6	2	1	5
商 業 科	80	40	40	8	0.20	0.31	8	32	3	2	30
総 合 学 科	160	136	24	29	1.21	1.63	25				0
計	280	207	73	42	0.58	0.78	36	38	5	3	35

公立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
普 通 科 1	4,800	944	3,846	4,009	1.04	1.01	3,571	273	18	17	256
理 数 科 2	80	80	0	-	-	-	-				0
普 通 科 3	440	-	500	543	1.09	1.16	500				0
理 数 科	120	60									
普 通 科 4	160	-	180	252	1.40	1.51	180				0
国 際 系	40	20									
その他普通系※5	120	96	24	31	1.29	1.14	18	6	1	0	6
体 育 科	80	80	0	-	-	-	-				0
農 業 科	470	343	127	86	0.68	1.10	62	65	5	3	62
工 業 科	1,715	1,314	401	407	1.01	1.11	324	76	7	6	70
商 業 科	1,560	1,180	380	490	1.29	1.55	303	77	5	4	73
家 庭 科	400	311	89	74	0.83	1.89	60	29	6	5	24
看 護 科	120	72	47	14	0.30	0.62	12	35	0	0	35
情 報 科	40	30	10	7	0.70	1.30	10				0
福 祉 科	40	32	8	9	1.13	0.50	8				0
その他 6	80	66	14	3	0.21	0.63	2	12	0	0	12
総 合 学 科	640	464	176	85	0.48	0.83	74	103	11	8	95
計	10,905	5,092	5,802	6,010	1.04	1.09	5,124	676	53	43	633

県立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科	140	60	80	76	0.95	1.16	59	4	1	20

(注) 特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

市立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科	460	86	374	109	0.29	0.35	97	7	5	272
工 業 科	120	-	120	20	0.17	0.25	16			104
商 業 科	30	15	15	11	0.73	0.20	11			4
総合学科	120	52	68	19	0.28	0.27	17	3	0	51
計	730	153	577	159	0.28	0.32	141	10	5	431

(注) は、県立高校に準じない入学者選抜実施校（松山高校、宇治高校及び片上高校）を含む。
特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

公立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科	600	146	454	185	0.41	0.48	156	11	6	292
工 業 科	120	-	120	20	0.17	0.25	16			104
商 業 科	30	15	15	11	0.73	0.20	11			4
総合学科	120	52	68	19	0.28	0.27	17	3	0	51
計	870	213	657	235	0.36	0.41	200	14	6	451

第10表 公立高等学校特別入学者選抜の学校・科別の
志願者数及び合格内定者数等

県立全日制 (注)各欄の()は5～20%出願に係る数値である。
(人数については内書再掲)

学 校 名	科 ＜ [系 分 列] ＞	名 ＜ [系 分 列] ＞	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 一 宮	理 数	名	40	112	40
岡 山 城 東	普 通	名			
	[国 際 教 養]	名	30	63	30
	[音 楽]	名	25	35	25
西 大 寺	国 際 情 報 業	名	20	59	20
	商 業	名	64	127	64
瀬 戸	普 通	名	(16)	(27)	(7)
	理 数	名	80	163	80
高 松 農 業	農 業 科 学	名	32	30	29
	園 芸 科 学	名	32	36	31
	畜 産 科 学	名	32	42	32
	農 業 土 木 学	名	32	24	22
	食 品 科 学	名	32	43	32
興 陽	農 業 機 械	名	32	61	32
	農 業 機 械	名	32	39	32
	造 園 デ ザ イ ン	名	32	33	32
	家 政	名	32	51	32
	被 服 デ ザ イ ン	名	32	41	32
瀬 戸 南	生 物 生 産	名	32	55	32
	園 芸 科 学	名	32	44	32
	生 活 デ ザ イ ン	名	32	46	32
岡 山 工 業	機 械	名	64	82	64
	電 気	名	32	33	31
	情 報 技 術	名	32	62	32
	化 学 工 学	名	32	45	32
	土 木	名	32	51	32
	建 築	名	32	65	32
	デ ザ イ ン	名	32	77	32
東 岡 山 工 業	機 械	名	64	77	64
	電 子 機 械	名	64	76	64
	電 気	名	32	38	32
	設 備 シ ス テ ム	名	32	40	32
	工 業 化 学	名	32	51	32
岡 山 東 商 業	ビ ジ ネ ス 創 造	名	192	305	192
	情 報 ビ ジ ネ ス	名	64	113	64
岡 山 南	商 業	名	64	97	64
	国 際 経 済	名	32	44	32
	情 報 処 理	名	64	85	64
	生 活 創 造	名	64	67	64
	服 飾 デ ザ イ ン	名	32	32	31
岡 山 御 津	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	名	96	121	96
	特 別 進 学 系 列	名			
	教 養 ・ 自 然 ・ ス ポ ー ツ 系 列	名			
	ビ ジ ネ ス ・ 情 報 系 列	名			
	美 術 ・ デ ザ イ ン 系 列	名			
	保 育 ・ 福 祉 系 列	名			
倉 敷 天 城	理 数	名	20	29	20
倉 敷 中 央	普 通 < 子 ども >	名	20	48	20
	普 通 < 健 康 ス ポ ー ツ >	名	20	35	20
	家 政	名	32	67	32
	看 護	名	32	50	32
	福 祉	名	32	42	32
玉 島	理 数	名	20	60	20
倉 敷 鷺 羽	普 通	名	60	76	60
	ビ ジ ネ ス	名	32	29	24
倉 敷 工 業	機 械	名	64	92	64
	電 子 機 械	名	64	97	64
	電 気	名	64	79	64
	工 業 化 学	名	32	51	32
	テ キ ス タ イ ル 工 学	名	32	39	32
水 島 工 業	機 械	名	64	76	62
	電 気	名	64	83	64
	情 報 技 術	名	32	59	32
	工 業 化 学	名	32	36	32
	建 築	名	32	44	32

学 校 名	科 ＜ [系 分 列] ＞	名 ＜ [系 分 列] ＞	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
倉 敷 商 業	商 業	名	150	228	150
	国 際 経 済	名	30	36	30
	情 報 処 理	名	60	73	60
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	名	128	194	128
津 山	理 数	名	15	22	15
津 山 東	食 物 調 理	名	30	37	30
	看 護	名	30	33	30
津 山 工 業	機 械	名	28	40	28
	ロ ボ ッ ト 電 気	名	28	35	28
	工 業 化 学	名	28	33	28
	土 木	名	28	24	19
	建 築	名	28	31	28
	デ ザ イ ン	名	28	47	28
津 山 商 業	地 域 ビ ジ ネ ス	名	64	121	64
	情 報 ビ ジ ネ ス	名	64	90	64
玉 野 光 南	情 報	名	30	52	30
	体 育	名	80	100	80
笠 岡 工 業	電 子 機 械	名	32	55	32
	電 気 情 報	名	32	26	22
	環 境 土 木	名	32	47	32
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	名	96	145	96
井 原	普 通	名	(3)	(0)	(0)
	地 域 生 活 < グ リ ー ン ラ イ フ >	名	60	93	60
	地 域 生 活 < ヒ ュ ー マ ン ラ イ フ >	名	20	17	15
	地 域 生 活 < ヒ ュ ー マ ン ラ イ フ >	名	20	21	19
総 社	家 政	名	28	62	28
総 社 南	普 通	名			
	[国 際]	名	25	61	25
	[美 術 工 芸]	名	25	31	25
高 梁	普 通	名	60	139	60
	家 政	名	32	31	30
高 梁 城 南	電 気	名	32	36	32
	デ ザ イ ン	名	32	39	32
	環 境 科 学	名	32	34	32
新 見	普 通	名	40	36	36
	生 物 生 産	名	15	15	14
	工 業 技 術	名	17	25	17
備 前 緑 陽	総 合 学 科	名	96	103	91
	普 通 進 学 系 列	名			
	健 康 福 祉 系 列	名			
	情 報 ・ ビ ジ ネ ス 系 列	名			
	工 業 技 術 系 列	名			
邑 久	普 通	名	20	51	20
	生 活 ビ ジ ネ ス	名	64	103	64
勝 山	普 通	名	(3)	(2)	(1)
	普 通 (蒜 山 校 地)	名	60	86	60
	普 通 (蒜 山 校 地)	名	12	14	12
真 庭	食 農 生 産	名	32	25	23
	経 営 ビ ジ ネ ス	名	32	20	20
	看 護	名	32	11	10
林 野	普 通	名	60	95	60
鴨 方	総 合 学 科	名	72	102	72
	普 通 総 合 系 列	名			
	デ ザ イ ン ・ イ ラ ス ト 系 列	名			
	介 護 ・ 食 物 ・ 保 育 系 列	名			
	ビ ジ ネ ス 系 列	名			
和 気 閑 谷	普 通	名	40	47	38
	キ ャ リ ア 探 求	名	32	48	32
矢 掛	普 通	名	40	69	40
	地 域 ビ ジ ネ ス	名	32	28	24
勝 間 田	総 合 学 科	名	60	72	60
	森 林 系 列	名			
	園 芸 系 列	名			
	食 品 系 列	名			
	自 動 車 系 列	名			
	ビ ジ ネ ス 系 列	名			
計			(22) 4,674	(29) 6,740	(8) 4,558

市立全日制

学 校 名	科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡山後楽館	総合学科	40	122	* 76
玉 野 商 工	ビジネス情報	64	43	40
	機 械	32	39	31
計		136	204	147

(注) *岡山後楽館高校の特別入学募集人員は40名であるが、校長が特に必要と認めた場合には特別入学者選抜の募集人員に対して一定の範囲内であらかじめ示した人員を超えて合格内定とすることができ、また岡山後楽館中学校からの進学者に欠員がある場合補充を行うことができるため、合格内定者数は76名となっている。

県立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
烏 城	普通 (昼 間)	50	127	50
	普通 (夜 間)	12	12	10
計		62	139	60

市立定時制

学 校 名	科 名 (部 名 等)	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
精思露丘校	普通 (昼 間)	30	44	30
	商 業 (昼 間)	15	24	15
倉 敷 翔 南	総合学科 (昼 間)	47	73	47
	総合学科 (夜 間)	12	5	5
真 備 陵 南	普通 (昼 間) (3 修 科 ー ス)	20	38	20
	普通 (昼 間) (4 修 科 ー ス)	20	19	13
井 原 市 立	普通 (昼 間)	35	24	18
	普通 (夜 間)	35	6	5
計		214	233	153

第11表 県立高等学校海外帰国生徒のための入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 城 東	普 通	若干名	4	3
西 大 寺	国 際 情 報	若干名	0	0
總 社 南	普 通	若干名	0	0
計			4	3

第12表 県立高等学校連携型中高一貫教育に係る入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
勝 山	普通 (蒜 山 校 地)	40以内	9	8

第13表 県立高等学校フレックス制に係る入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 御 津	キャリアデザイン	24	10	9

第14表 公立高等学校定時制課程の特別な入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

県立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
烏 城	普通 (昼 間)	若干名	0	0
	普通 (夜 間)	若干名	0	0
計			0	0

市立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
精 思	普通 (夜 間)	若干名	0	0
倉 敷 市 立 業	機 械 (夜 間)	若干名	0	0
	電 気 (夜 間)	若干名	0	0
倉 敷 翔 南	総合学科 (夜 間)	若干名	0	0
松 山	普通 (夜 間)	若干名	0	0
計			0	0

(参考) 岡山県立中学校から併設高等学校への入学者数

学 校 名	科 名	入学者数
岡 山 操 山	普 通	115
	理 数	20
倉 敷 天 城	普 通	96
	理 数	25

第15表 公立高等学校の学校・科別の一般入学者選抜志願者数及び合格者数等

県立全日制

(注) 各欄の()は5～20%出願に係る数値である。(人数については内書再掲)

学 校 名	科 < コ ー ス >	募集定員	特別入学等 合格者数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
岡 山 朝 日	普 通	(16) 320	(-) -	(16) 320	(21) 313	0.98	1.13	(21) 311	9	1	1	8
岡 山 操 山	普 通	(8) 280	(-) * 115	(8) 165	(7) 203	1.23	1.23	(6) 165				0
岡 山 芳 泉	普 通	(16) 320	(-) -	(16) 320	(12) 371	1.16	1.03	(10) 320				0
岡 山 一 宮	普 通	(12) 240	(-) -	(12) 280	(5) 318	1.14	1.23	(5) 240				0
	理 数	80	40					40				0
岡 山 城 東	普 通	320	* 58	262	312	1.19	1.17	262				0
西 大 寺	普 通	(8) 160	(-) -	(8) 180	(6) 252	1.40	1.51	(4) 160				0
	国 際 情 報	40	20					20				0
	商 業	80	64	16	43	2.69	2.00	16				0
瀬 戸	普 通	(32) 160	(7) 80	(25) 80	(26) 82	1.03	1.01	(25) 80				0
高 松 農 業	農 業 科 学	40	29	11	1	0.09	0.88	3	8	0	0	8
	園 芸 科 学	40	31	9	3	0.33	1.25	2	7	2	1	6
	畜 産 科 学	40	32	8	5	0.63	1.00	5	3	1	0	3
	農 業 土 木	40	22	18	4	0.22	0.31	2	16	1	1	15
	食 品 科 学	40	32	8	11	1.38	2.25	8				0
興 陽	農 業	40	32	8	19	2.38	2.50	8				0
	農 業 機 械	40	32	8	11	1.38	1.25	8				0
	造園デザイン	40	32	8	6	0.75	2.13	8				0
	家 政	40	32	8	15	1.88	2.50	8				0
	被服デザイン	40	32	8	6	0.75	2.38	8				0
瀬 戸 南	生 物 生 産	40	32	8	16	2.00	0.88	8				0
	園 芸 科 学	40	32	8	7	0.88	1.75	8				0
	生活デザイン	40	32	8	6	0.75	1.13	6	2	1	0	2
岡 山 工 業	機 械	80	64	16	14	0.88	1.31	16				0
	電 気	40	31	9	5	0.56	1.13	9				0
	情 報 技 術	40	32	8	24	3.00	1.63	8				0
	化 学 工 学	40	32	8	10	1.25	1.63	8				0
	土 木	40	32	8	11	1.38	1.00	8				0
	建 築	40	32	8	25	3.13	1.38	8				0
	デ ザ イ ン	40	32	8	31	3.88	4.13	8				0
東岡山工業	機 械		64									
	電 子 機 械	200	64	40	38	0.95	1.60	38	2	1	1	1
	電 気		32									
	設備システム	40	32	8	5	0.63	1.75	5	3	0	0	3
岡山東商業	工 業 化 学	40	32	8	9	1.13	1.00	8				0
	ビジネス創造		192									
	情報ビジネス	320		64	144	2.25	2.08	64				0

(注) * 岡山操山高校の特別入学等合格者数は、岡山操山中学校からの入学者115名である。
* 岡山城東高校の特別入学等合格者数には、海外帰国生徒のための入学者選抜の合格者3名を含む。

学 校 名	科 < コ ー ス >	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
岡 山 南	商 業	80	64	16	20	1.25	2.56	16				0
	国 際 経 済	40	32	8	11	1.38	1.63	8				0
	情 報 処 理	80	64	16	15	0.94	1.19	16				0
	生 活 創 造	80	64	16	5	0.31	2.88	5	11	3	3	8
	服 飾 デ ザ イ ン	40	31	9	2	0.22	1.75	2	7	0	0	7
岡 山 御 津	キャリアデザイン	120	* 105	15	9	0.60	0.88	8	7	5	4	3
	特別進学系列											
	教養・自然・スポーツ系列											
	ビジネス・情報系列 美術・デザイン系列 保育・福祉系列											
倉 敷 青 陵		(16)	(-)	(16)	(14)			(13)				
	普 通	320	-	320	332	1.04	1.06	320				0
倉 敷 天 城		(5)	(-)	(5)	(7)			(5)				
	普 通	200	* 96	104	126	1.21	0.83	104				0
	理 数	40	* 40	0	-	-	-	-				0
倉 敷 南		(16)	(-)	(16)	(8)			(6)				
	普 通	320	-	320	344	1.08	1.05	320				0
倉 敷 古 城 池		(14)	(-)	(14)	(2)			(1)				
	普 通	280	-	280	341	1.22	1.09	280				0
倉 敷 中 央	普 通	80	-					80				0
	普 通	40	20	120	118	0.98	1.07	20				0
	普 通	40	20					11	9	0	0	9
	普 通	40	20									
	家 政	40	32	8	17	2.13	1.50	8				0
	看 護	40	32	8	10	1.25	0.88	8				0
	福 祉	40	32	8	9	1.13	0.50	8				0
玉 島		(10)	(-)	(10)	(15)			(13)				
	普 通	200	-	220	225	1.02	1.06	200				0
	理 数	40	20					20				0
倉 敷 鷺 羽	普 通	120	60	60	11	0.18	0.75	10	50	3	3	47
	ビ ジ ネ ス	40	24	16	3	0.19	0.44	3	13	0	0	13
倉 敷 工 業	機 械	80	64	16	20	1.25	0.69	16				0
	電 子 機 械	80	64	16	21	1.31	1.00	16				0
	電 気	80	64	16	14	0.88	0.81	16				0
	工 業 化 学	40	32	8	14	1.75	0.62	8				0
	テキスタイル工学	40	32	8	8	1.00	1.25	8				0
水 島 工 業	機 械	80	62	18	4	0.22	2.13	10	8	1	1	7
	電 気	80	64	16	11	0.69	1.13	16				0
	情 報 技 術	40	32	8	20	2.50	0.88	8				0
	工 業 化 学	40	32	8	6	0.75	1.63	8				0
	建 築	40	32	8	12	1.50	1.75	8				0
倉 敷 商 業	商 業		150									
	国 際 経 済	320	30	80	79	0.99	2.00	79	1	0	0	1
	情 報 処 理		60									
玉 島 商 業	ビジネス情報	160	128	32	54	1.69	1.53	32				0

(注) *岡山御津高校キャリアデザイン科の特別入学等合格者数には、フレックス制に係る入学者選抜の合格者9名を含む。
*倉敷天城高校の特別入学等合格者数には、倉敷天城中学校からの入学者116名を含む。

学 校 名	科 < コ ー ス >	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一 般 入 学 募 集 人 員 (a)	志 願 者 数 (b)	(b)/(a)	令 和 6 年 度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不 足 数
	系 列 名								募 集 人 員	志 願 者 数	合 格 者 数	
津 山		(7)	(-)	(7)	(2)			(2)				
	普 通	200	* 51	149	146	0.98	0.94	145	4	0	0	4
	理 数	40	* 40	0	-	-	-	-				0
津 山 東	普 通	120	-	120	127	1.06	1.20	120				0
	食 物 調 理	40	30	10	7	0.70	1.30	6	4	0	0	4
	看 護	40	30	10	3	0.30	1.50	3	7	0	0	7
津 山 工 業	機 械	40	28	12	13	1.08	0.92	12				0
	ロ ボ ッ ト 電 気	40	28	12	8	0.67	1.33	8	4	0	0	4
	工 業 化 学	40	28	12	8	0.67	1.50	7	5	2	2	3
	土 木	40	19	21	8	0.38	1.17	5	16	1	1	15
	建 築	40	28	12	4	0.33	1.50	4	8	0	0	8
	デ ザ イ ン	40	28	12	13	1.08	0.83	12				0
津 山 商 業	地域ビジネス	160	64	32	68	2.13	2.03	32				0
	情報ビジネス		64									
玉 野		(24)	(-)	(24)	(23)			(23)				
	普 通	160	-	160	157	0.98	1.09	156	4	0	0	4
玉 野 光 南	普 通	120	-	120	141	1.18	1.01	120				0
	情 報	40	30	10	7	0.70	1.30	10				0
	体 育	80	80	0	-	-	-	-				0
笠 岡		(16)	(-)	(16)	(4)			(4)				
	普 通	160	-	160	146	0.91	0.73	145	15	2	2	13
笠 岡 工 業	電 子 機 械	40	32	8	12	1.50	0.25	8				0
	電 気 情 報	40	22	18	1	0.06	0.10	7	11	0	0	11
	環 境 土 木	40	32	8	12	1.50	0.17	8				0
笠 岡 商 業	ビジネス情報	120	96	24	39	1.63	1.17	24				0
井 原		(6)	(0)	(6)	(0)			(0)				
	普 通	120	60	60	29	0.48	0.68	28	32	0	0	32
	地 域 生 活 <グリーンライフ>	20	15	5	1	0.20	-	0	5	0	0	5
総 社	地 域 生 活 <ヒューマンライフ>	20	19	1	1	1.00	-	1				0
	普 通	200	-	200	229	1.15	1.05	200				0
	家 政	40	28	12	14	1.17	1.88	12				0
総 社 南	普 通	240	50	190	269	1.42	1.37	190				0
高 梁	普 通	120	60	60	73	1.22	0.80	60				0
	家 政	40	30	10	2	0.20	0.88	5	5	2	2	3
高 梁 城 南	電 気	40	32	8	5	0.63	0.10	5	3	0	0	3
	デ ザ イ ン	40	32	8	7	0.88	1.43	7	*			0
	環 境 科 学	40	32	8	1	0.13	0.63	1	7	0	0	7
新 見	普 通	80	36	44	1	0.02	0.02	1	43	4	4	39
	生 物 生 産	30	14	16	2	0.13	0.53	2	14	1	1	13
	工 業 技 術	35	17	18	9	0.50	0.44	8	10	0	0	10

(注) * 津山高校の特別入学等合格者数には、津山中学校からの入学者76名を含む。
* 高梁城南高校デザイン科の全国募集を含めた合格者数は募集定員以上となるため、第2次募集は実施していない。

学 校 名	科 < コ ー ス >	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
備 前 緑 陽	総 合 学 科	120	91	29	20	0.69	0.50	16	13	2	1	12
	普通進学系列											
	健康福祉系列 情報・ビジネス系列 工業技術系列											
邑 久	普 通	40	20	20	28	1.40	1.50	20				0
	生活ビジネス	80	64	16	27	1.69	1.63	16				0
勝 山		(6)	(1)	(5)	(1)			(1)				
	普 通	120	60	60	28	0.47	0.35	27	33	2	2	31
	普通(蒜山校地)	40	* 20	* 17	2	0.12	0.13	2	14	1	0	14
真 庭	食 農 生 産	40	23	17	1	0.06	0.20	0	17	0	0	17
	経営ビジネス	40	20	20	1	0.05	0.06	1	19	2	2	17
	看 護	40	10	* 29	1	0.03	0.22	1	28	0	0	28
林 野	普 通	120	60	60	38	0.63	0.32	37	23	1	1	22
鴨 方	総 合 学 科	120	72	48	12	0.25	0.62	11	37	1	1	36
	普通総合系列											
	デザイン・イラスト系列 介護・食物・保育系列 ビジネス系列											
和 気 関 谷	普 通	80	38	* 35	14	0.40	0.58	9	25	4	4	21
	キャリア探求	40	32	8	4	0.50	0.54	2	6	1	0	6
矢 掛	普 通	80	40	40	28	0.70	1.25	28	12	0	0	12
	地域ビジネス	40	24	16	5	0.31	0.30	4	12	0	0	12
勝 間 田	総 合 学 科	120	60	60	15	0.25	0.87	14	46	3	2	44
	森 林 系 列											
	園 芸 系 列											
	食 品 系 列											
	自 動 車 系 列 ビジネス系列											
計		(222) 10,625	(8) 4,885	(214) 5,729	(171) 5,968	1.04	1.09	(149) 5,088	638	48	40	598

(注) * 勝山高校普通科(蒜山校地)の特別入学等合格者数には、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜の合格者8名を含む。
* 勝山高校普通科(蒜山校地)の一般入学募集人員は、全国募集において募集定員の10%を超えた特別入学等合格者3名を差し引いている。
* 真庭高校看護科の一般入学募集人員は、全国募集において募集定員の10%を超えた特別入学等合格者1名を差し引いている。
* 和気関谷高校普通科の一般入学募集人員は、全国募集において募集定員の10%を超えた特別入学等合格者7名を差し引いている。

追検査について、志願者は5名、合格者は3名であった(表には計上していない)。

市立全日制

学 校 名	科 名	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
岡山後楽館	総 合 学 科	160	* 136	24	29	1.21	1.63	25				0
玉 野 商 工	ビジネス情報	80	40	40	8	0.20	0.31	8	32	3	2	30
	機 械	40	31	9	5	0.56	0.38	3	6	2	1	5
計		280	207	73	42	0.58	0.78	36	38	5	3	35

(注) * 岡山後楽館高校の特別入学等合格者数には、岡山後楽館中学校からの入学者60名を含む。

県立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
烏 城	普 通 (昼 間)	100	50	50	70	1.40	1.40	50				0
	普 通 (夜 間)	40	10	30	6	0.20	0.70	9	21	4	1	20
計		140	60	80	76	0.95	1.16	59	21	4	1	20

(注) 特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

市立定時制

学 校 名	科 名 (部 名 等)	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
精 思	普 通 (夜 間)	80	0	80	15	0.19	0.24	13	67	1	1	66
精思霞丘校	普 通 (昼 間)	60	30	30	20	0.67	0.63	19	11	1	1	10
	商 業 (昼 間)	30	15	15	11	0.73	0.20	11	4	0	0	4
倉敷市立 工 業	機 械 (夜 間)	80	0	80	14	0.18	0.25	12	68	0	0	68
	電 気 (夜 間)	40	0	40	6	0.15	0.25	4	36	0	0	36
倉敷翔南	総合学科(昼間)	95	47	48	18	0.38	0.35	15	33	3	0	33
	総合学科(夜間)	25	5	20	1	0.05	0.05	2	18	0	0	18
真 備 陵 南	普通(昼間)(3修コ-ス)	40	20	20	17	0.85	0.95	15	5	1	1	4
	普通(夜間)(4修コ-ス)	40	13	27	8	0.30	0.17	8	19	0	0	19
玉 野 備 南	普 通 (昼 間)	40	-	40	28	0.70	0.65	25	15	3	2	13
井 原 市 立	普 通 (昼 間)	40	18	-	-	-	0.45	-	22	1	0	22
	普 通 (夜 間)	40	5	-	-	-	0.15	-	35	0	0	35
計		610	153	400	138	0.35	0.32	124	333	10	5	328

(注) 特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

(参 考) 県立高校に準じない入学者選抜実施校

学 校 名	科 名 (部 名)	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和6年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
松 山	普 通 (夜 間)	40	0	40	3	0.08	0.13	2	-	-	-	38
宇 治	普 通 (昼 間)	40	-	40	6	0.15	0.25	6	若干名	0	0	34
片 上	普 通 (夜 間)	40	-	40	12	0.30	0.30	9	-	-	-	31
計		120	0	120	21	0.18	-	17		0	0	103

(注) 特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

第16表 県立高等学校特別入学者選抜の学校・科別の全国募集志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 ＜ コ ー ス ＞	募集人員	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	4	4	1	1
笠 岡 工 業	電 子 機 械	8	8	1	0
	電 気 情 報	8	8	0	0
	環 境 土 木	8	8	1	0
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	12	12	3	2
井 原	普 通	24	16	1	1
	地 域 生 活 ＜グリーンライフ＞	8	8	2	2
	地 域 生 活 ＜ヒューマンライフ＞			2	2
高 梁 城 南	電 気	4	4	0	0
	デ ザ イ ン	4	4	2	2
	環 境 科 学	2	2	0	0
新 見	普 通	16	16	2	1
	生 物 生 産	6	6	1	1
	工 業 技 術	7	7	0	0
勝 山	普 通	12	12	0	0
	普通（蒜山校地）	8	8	8	7
真 庭	看 護	8	8	5	5
林 野	普 通	12	10	0	0
鴨 方	総 合 学 科	24	20	6	6
和 気 閑 谷	普 通	16	16	16	15
	キ ャ リ ア 探 求	8	8	2	2
矢 掛	普 通	8	6	1	0
	地 域 ビ ジ ネ ス	4	4	0	0
計		211	195	54	47

第17表 県立高等学校一般入学者選抜の学校・科別の全国募集志願者数及び合格者数等

学 校 名	科 ＜ コ ー ス ＞	一般入学 募集人員	志願者数	合格者数
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	3	0	0
笠 岡 工 業	電 子 機 械	8	0	0
	電 気 情 報	8	0	0
	環 境 土 木	8	0	0
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	10	0	0
井 原	普 通	23	0	0
	地 域 生 活 ＜グリーンライフ＞	4	0	0
	地 域 生 活 ＜ヒューマンライフ＞		0	0
高 梁 城 南	電 気	4	0	0
	デ ザ イ ン	2	1	1
	環 境 科 学	2	0	0
新 見	普 通	15	0	0
	生 物 生 産	5	0	0
	工 業 技 術	7	0	0
勝 山	普 通	12	0	0
	普通（蒜山校地）	1	1	1
真 庭	看 護	3	0	0
林 野	普 通	12	0	0
鴨 方	総 合 学 科	18	0	0
和 気 閑 谷	普 通	1	1	1
	キ ャ リ ア 探 求	6	0	0
矢 掛	普 通	8	1	1
	地 域 ビ ジ ネ ス	4	0	0
計		164	4	4

特別入学者選抜のための 学 力 検 査 の 概 要

特別入学者選抜のための学力検査の概要

第1 学力検査の結果の概要（全国募集を含む）

第1表 県立全日制学科別受検状況（完全受検者）

普通科	理数科	国際系 1	その他 普通系 2	体育科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	その他 3	総 学 科	計
1,123	210	55	137	97	430	1,707	1,704	412	92	52	39	72	353	6,483

（注） 1は、西大寺高校の国際情報科。
2は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
3は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

第2表 教科別最高、最低、平均点（100点法換算）

	国 語	数 学	英 語
最 高 点	100	100	100
最 低 点	3	0	3
平 均 点	59.0	60.4	58.7

（参 考）

	年 度	国 語	数 学	英 語
最近 5 年間の 平均点	令6	58.0	51.1	47.0
	5	66.5	58.8	54.5
	4	52.1	48.1	44.9
	3	50.3	50.3	53.3
	2	55.7	47.0	47.7

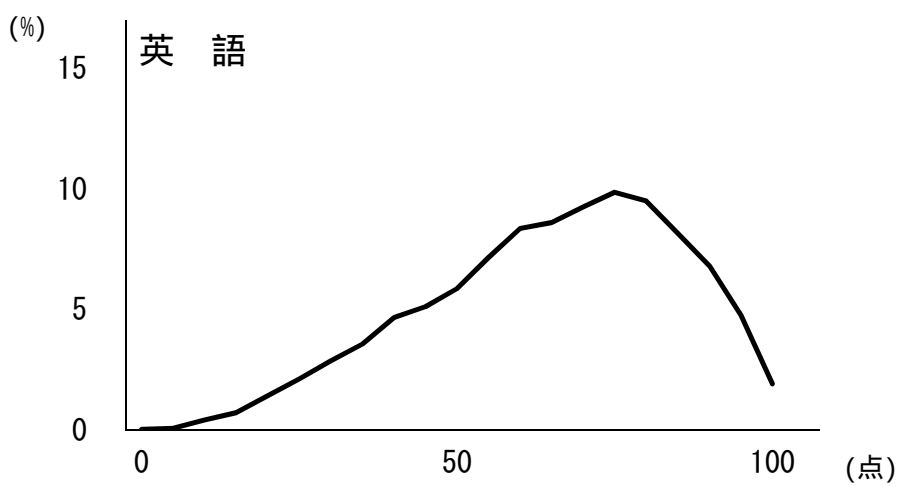
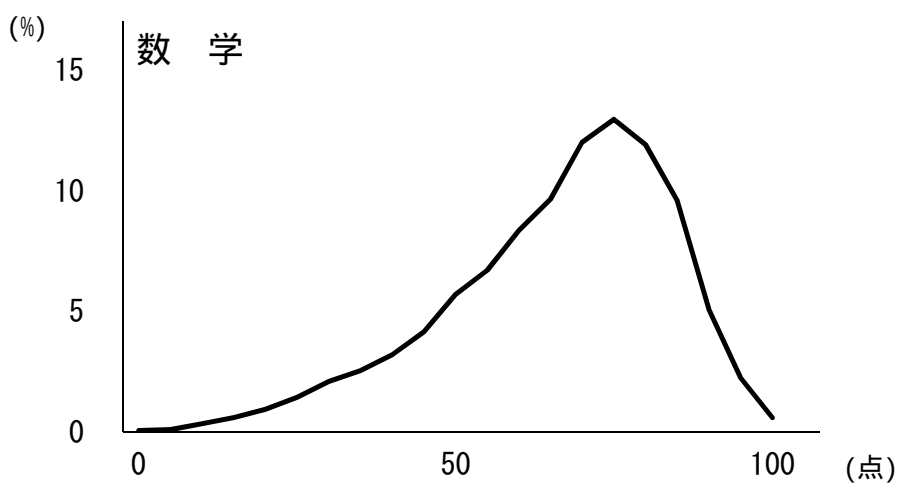
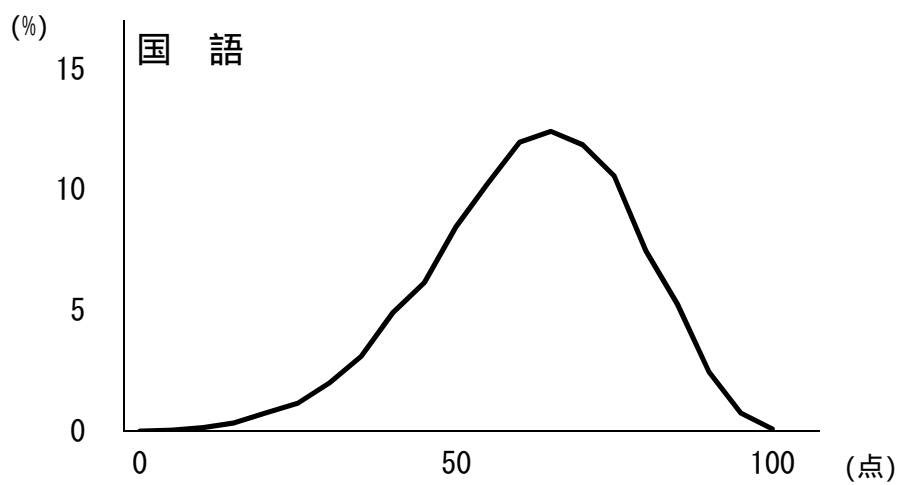
（注）学校による採点基準の違いは考慮していない。（第3表及び教科別素点分布曲線についても同様である。）

第3表 教科別素点分布一覽（100点法換算）

段階（点） 教 科	国 語	数 学	英 語
97.6 ~ 100	0.1%	0.6%	1.9%
92.6 ~ 97.5	1.4%	3.9%	7.6%
87.6 ~ 92.5	3.5%	6.3%	6.0%
82.6 ~ 87.5	7.0%	12.9%	10.3%
77.6 ~ 82.5	7.9%	10.9%	8.7%
72.6 ~ 77.5	13.2%	15.0%	11.0%
67.6 ~ 72.5	10.5%	9.0%	7.5%
62.6 ~ 67.5	14.3%	10.3%	9.7%
57.6 ~ 62.5	9.6%	6.4%	7.0%
52.6 ~ 57.5	10.9%	7.0%	7.3%
47.6 ~ 52.5	6.0%	4.4%	4.4%
42.6 ~ 47.5	6.3%	3.9%	5.8%
37.6 ~ 42.5	3.5%	2.5%	3.5%
32.6 ~ 37.5	2.7%	2.6%	3.6%
27.6 ~ 32.5	1.3%	1.6%	2.1%
22.6 ~ 27.5	1.0%	1.3%	2.1%
17.6 ~ 22.5	0.5%	0.6%	0.7%
12.6 ~ 17.5	0.2%	0.6%	0.7%
7.6 ~ 12.5	0.1%	0.1%	0.1%
2.6 ~ 7.5	0.0%	0.1%	0.0%
0 ~ 2.5	0.0%	0.0%	0.0%
計	100	100	100
平 均 点	59.0	60.4	58.7

令和7年度岡山県立高等学校特別入学者選抜学力検査

教科別素点分布曲線 (100点法換算)



第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、応答率及び問題

1 国 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 漢字を読むことや書くこと、品詞、行書の特徴、敬語、熟語、電話をかける際の留意事項等、国語の基礎的な知識や事項について理解の程度をみる。
- 2 古典を扱った説明的な文章及び生徒が調べた内容をまとめたノートによって、漢詩の形式や漢詩と大意の対応等、古典における基礎的事項について理解の程度をみる。また、文章から読み取った情報を適切に整理し、文章の展開に即して主題を理解する力をみる。
- 3 文学的な文章によって、文脈における語句の意味や、表現上の特徴とその効果について理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを端的に表現したりする力をみる。
- 4 説明的な文章によって、文脈の中における語句の意味や、文章の全体と部分との関係について理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを端的に表現したり、筆者の考えを正確に読み取ったりする力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字、品詞、行書の特徴、電話をかける際の留意事項、古典の知識等、国語の基礎的・基本的な知識や言語事項に関する設問では、全体的に正答率は高かった。また、文章の内容を整理して必要な情報を文章中から抜き出して解答する設問や、読み取った内容を選択肢によって解答する設問についても、正答率は概ね高かった。

一方で、敬語や熟語の構成に関する設問、文章中で使われた四字熟語に関する設問では、正答率が伸びなかった。また、読み取った内容を端的にまとめて記述する設問については、正答率が低かった。文学的文章においては、解答に盛り込むべき要素を吟味して適切に記述すること、説明的文章においては、問われている事柄を考えて適切な意味段落の内容を理解し、整理することに課題がみられた。

文章全体と部分の関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉え、理解を深めていくための指導の充実

〔大問2〕(3) 正答：東洋の国と地域の英知 正答率：31.0%〕

分析 大問2(3)は、筆者が漢文をどのようなものと考えているかを理解し、適切な言葉を出題条件に合う形で抜き出して答える設問である。「廬山煙雨浙江潮」という具体例そのものの理解にとどまり、具体例を通して筆者が主張していることを十分に理解できなかったことが、正答率が伸びなかった原因だと考えられる。

視点 日常の指導では、具体例が筆者の考えや論理の展開に果たす役割を確認して、主張がどのように組み立てられているかを考えるなど、文章全体と部分との関係を意識させたい。そのためには、筆者の主張と具体例が書かれている箇所を区別して整理し、理解したことについて個人でまとめたり、周囲の人々と説明し合ったりするなど、理解を深め、理解した内容を表現することにつながる活動を取り入れたい。

② 次の文章は、中国の詩人である蘇軾が、廬山という山と……および「解説」です。これを読んで、(1)～(4)に答えなさい。

茶道の茶人は「廬山煙雨浙江潮」と書いた掛け軸を茶室に掛け、学校の校長先生は修学旅行を前にした生徒の朝礼でこの漢文を引用したりします。生徒がネットのブログの旅行記で、この漢文を引用してもいい。

あなたも私も、それぞれ一度きりの人生を生きる個人であり、いわば「端末」です。漢文というツールを使うと、私たちのうえに広がる雲のような「古人」の世界と、いつでもつながれます。

(3) 「私たちの……つながれます」とありますが、これについて説明した次の文の□に入るのに適当なことを、「解説」から十字で抜き出して書きなさい。

私たちは、漢文を媒介とすることで、□に時空を超えて触れられるということ。

本文の表現に注意しながら、登場人物の行動と心情を的確に理解したり、理解したことに基づいて適切に説明したりするための指導の充実

〔大問3〕(5) 正答例：みがき部員だけが夕陽に輝く石を見ている 正答率：1.5%〕

分析 大問3(5)は、林先輩の心情について説明した文を完成させる設問である。部分点率は52.0%と高いものの、正答率は1.5%と低く、「誰が」、「何をしているのか」を具体的に表現できていない解答や、直前の林先輩の発言に着目し、みがき部員だけが周囲とは違う行動をとっていることを表現できていない解答が目立った。

視点 日常の指導では、登場人物の心情と言動とを結びつけて考え、全体の中でどのように変化したかを文章でまとめるなどの活動を取り入れたい。そのためには、登場人物の心情や言動の一つ一つを微視的に見るだけでなく、巨視的に見る活動が有効であろう。同時に、心情や言動を別の言葉で言い換えるなどして、語彙を増やし、豊かな表現力を身に付けることにつながる活動を取り入れたい。

③ 次の文章は、石やガラスなどを拾って磨く「みがき部」の「灯可理」が、……海岸までやってきました。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。

たしかに、防波堤を見ると、何人もの人たちが、海に沈もうとしている夕陽を眺めている。カメラを向けて写真を撮っている人もいる。その人たちの視線に逆らうように、夕陽を背にして立っているのは、みがき部の四人だけだ。

「ふふ、ぼくらって、変わってるの」

⑤ 林先輩は、灯可理を振り返って、笑った。灯可理もつられて、笑った。

⑤ 「林先輩は……笑った」とありますが、このときの「林先輩」の心情について説明した次の文の□に入るのに適当なことを、二十字以内で書きなさい。

今、この海岸で□ことに対する自分の喜びを、灯可理に伝えたいという気持ち。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)①	かっさい	1		○		85.0	0.0	11.5	3.5		
	(1)②	おろ(す)	1		○		69.5	0.0	23.5	7.0		
	(1)③	貯蔵	2		○		54.5	15.0	21.0	9.5		
	(1)④	額	1		○		68.5	0.0	15.0	16.5		
	(2)	イ	1	○			76.5	0.0	23.5	0.0		
	(3)	ウ	1	○			84.0	0.0	16.0	0.0		
	(4)	ア	1	○			85.0	0.0	14.5	0.5		
	(5)①	申す	2		○		30.5	14.5	54.0	1.0		
	(5)②	ウ	2	○			97.5	0.0	2.5	0.0		
	(5)③	ア オ	2	○			42.0	0.0	58.0	0.0		
	(5)④	エ	2	○			74.0	0.0	26.0	0.0		
2	(1)	イ	2	○			68.5	0.0	31.5	0.0		
	(2)	無別事	3		○		79.5	0.0	20.0	0.5		
	(3)	東洋の国と地域の英知	3		○		31.0	6.5	29.5	33.0		
	(4)	エ	4	○			61.0	0.0	38.0	1.0		
3	(1)X	自分の思い	2		○		47.0	0.5	46.0	6.5		
	(1)Y	いっしょにいられる	2		○		76.5	0.5	16.0	7.0		
	(2)	エ	3	○			89.5	0.0	10.5	0.0		
	(3)	イ	3	○			88.0	0.0	12.0	0.0		
	(4)	灯可理は息をのんで、 その光景を見つめた	3		○		62.5	1.0	24.5	12.0		
	(5)	みがき部員だけが夕陽 に輝く石を見ている	5		○	1.5	1.5	52.0	32.0	14.5		
	(6)	ウ	3	○			64.5	0.0	35.5	0.0		
4	(1)	ア	2	○			89.5	0.0	10.0	0.5		
	(2)①	視聴覚刺激	2		○		73.0	5.0	15.5	6.5		
	(2)②	ウ	3	○			54.0	0.0	43.5	2.5		
	(3)X	能動	2		○		36.0	0.5	58.5	5.0		
	(3)Y	受動	2		○		35.5	0.5	57.5	6.5		
	(3)Z	癒やし以上の効果を得 られる	4		○		11.5	16.5	46.0	26.0		
	(4)	エ	2	○			31.5	0.0	67.5	1.0		
	(5)	イ	4	○			78.0	0.0	20.0	2.0		

1 次の(1)～(5)に答えなさい。

- (1) ①～④の——の部分について、①、②は漢字の読みを書きなさい。また、③、④は漢字に直して楷書で書きなさい。
- ① すばらしい演奏に喝采を送る。
② 仕入れた商品を百貨店に卸す。
③ 米を冷暗所にチヨゾウする。
④ トタイに汗して働いている。

(2) 次の(例)の「の」と同じはたらきの「の」を含む文は、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (例) 私が欲しいのはあの黒いカバンだ。
ア 相手の蹴ったボールを止める。
イ 週末になるのを楽しみにする。
ウ このうさぎは雪のように白い。
エ 明日の気温が低いかわかる。

(3) 次の「ア」～「エ」にそれぞれ接続詞一語を入れて文章を完成させるとき、逆接の接続詞を入れるのが最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

その日、私は友達の家を訪れていた。「ア」、その友達の飼っているハムスターが子どもを生んだという話を聞いたからだ。友達は快くハムスターを見せてくれた。「イ」、一匹譲ろうかという提案までしてくれた。家に戻って親に相談するとき、私は反対されないか不安だった。「ウ」、親はあっさりとハムスターを飼うことを許可してくれた。「エ」、私は、ハムスターを新しい家族として迎えることができた。

(4) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたとき、総画数が最も多いのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 編 イ 穀 ウ 漁 エ 溶

(5) 地域の農業について探究的な学習をしている健太さんは、果樹園を営んでいる小川さんに取材依頼の電話をかけています。次の【電話での会話】を読んで、①～④に答えなさい。

【電話での会話】

健太 私、亀井中学校の坂本健太^④と言います。学習活動の一環でマスカットの栽培について調べているのですが、そちらに何ってお話を聞かせていただきたいと思います、連絡いたしました。取材時間は1時間程度と考えておりますが、ご協力いただけないでしょうか。

小川 ええ、構いませんよ。何日の何時ごろにいらつしやいますか。

健太 ありがとうございます。放課後に何うので16時以降になるのですが、来週の月曜日から金曜日のう、都合のよい日はありますか。

小川 それでは、来週12日水曜日の16時半はいかがですか。

健太 わかりました。その日時に、私を含めた3名で伺います。

小川 12日水曜日の16時半に、3名でいらつしやるんですね。わかりました。ところで、⑥。

健太 失礼しました、お伝えできていませんでした。マスカットを栽培するうえで気をつけていることや、やりがいを感じていることについて、具体的に聞かせていただきたいと思います。

小川 わかりました。それでしたら、おもな業務について説明する動画を新入社員向けに制作しているので、そちらを先に見ていただき、その後、農園を案内しながら具体的に説明したいと思います。

健太 ありがとうございます。当日は貴重なお時間をいただきますが、どうぞよろしくお願い致します。それでは、失礼いたします。

① 「言い」とありますが、「言ひ」を、ここで用いるのにふさわしい一語の敬語に直し、終止形で書きなさい。

② ⑥ に入れることはとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 当日は皆さんの帰宅時間が遅くなりませんか イ これまでどこか他の農園を訪問されていますか
ウ 私はどのようなことをお話しすればよいですか エ 坂本さん以外にはとどこがいらつしやいますか

③ 「貴重」と熟語の構成(組み立て)が同じものは、ア～オのうちではどれですか。すべて答えなさい。

- ア 創造 イ 前後 ウ 開会 エ 雷鳴 オ 収納

④ 【電話での会話】における健太さんについて説明したものとして適当でないのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア はじめに自分の氏名や所属を明言することで、自分が何者なのかはつきりさせてからやりとりしている。
イ 自分たちが果樹園に行くことや取材にかかる時間を伝え、相手に受け入れを検討する材料を与えている。
ウ 取材のために訪問する日時の候補を挙げて相手に選択してもらうことで、相手の都合に配慮している。
エ 話し合って決まったことを確認のためにくり返し言っており、お互いの認識の食い違いを防いでいる。

2 次の文章は、中国の詩人である蘇軾が、廬山という山と錢塘江（浙江）という河川を詠んだ漢詩とその【書き下し文】【大意】および【解説】です。これを読んで、(1)～(4)に答えなさい。

【書き下し文】

廬山煙雨浙江潮	廬山の煙雨 浙江の潮
未到千般恨不消	未だ到らざれば千般 恨み消せず
到得還来無別事	到り得て還り来れば別事 無し
廬山煙雨浙江潮	廬山の煙雨 浙江の潮

【大意】

霧雨にかすむ廬山、海から川へ大波が逆流する錢塘江。ぜひ一度は見ないと気が済まない名所だ。で、行って見てきたあとは、^①何ということはない。霧雨にかすむ廬山、逆流する錢塘江。

【解説】

一昔前までは、パソコンもスマホも、それぞれの端末にデータやアプリ、ソフトを搭載しなければなりませんでした。しかし今は「クラウド」(cloud computing)の普及により、個々の端末に、重いソフトやデータを入れずに済みます。(中略)

漢文は、いわばクラウドです。中国や日本を含め、過去、数千年におよぶ東洋の国と地域の英知を集めた、巨大なデータベースです。

日本に「名物にうまいものなし」ということわざがあります。「これがあの、有名な名物料理か。ん？ あれ？ あんまりおいしくないぞ」という経験は、誰でもあるでしょう。(中略)

とはいえ、やっぱり一度は名物を食べてみないと、なんか悔しい。

そんな人生の哲理を、漢文では、

廬山煙雨浙江潮

と表現します。「名物にうまいものなし」は日本語なので、日本語話者にしか通じません。「廬山煙雨浙江潮」は漢文なので、千年前の古人も、現代人も、そしておそらく千年後の未来人も、漢文が読める人はその含意を理解できます。

漢文の「端末」もさまざまです。太古の昔は木簡や竹簡。その後は紙の本。今はネットや電子書籍でも漢文を読めます。(中略)

茶道の茶人は「廬山煙雨浙江潮」と書いた掛け軸を茶室に掛け、学校の校長先生は修学旅行を前にした生徒の朝礼でこの漢文を引用したりします。生徒がネットのブログの旅行記で、この漢文を引用してもいい。

あなたも私も、それぞれ一度きりの人生を生きる個人であり、いわば「端末」です。漢文というツールを使うと、^②私たちのうえに広がる雲のような「古人」の世界と、いつでもつながれます。

(出典 加藤徹『漢文で知る中国 名言が教える人生の知恵』)

(注) クラウド——インターネット上にデータやソフトを保管し、利用できるようにする仕組み。

データベース——決まった形式で情報を集めて整理したもの。

木簡、竹簡——文字を書くために使われた木の札、竹の札。

(1) この漢詩の形式として適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 五言絶句 イ 七言絶句 ウ 五言律詩 エ 七言律詩

(2) ^③「何ということはない」とありますが、これに当たることを漢詩から漢字三字で抜き出して書きなさい。

(3) ^④「私たちの……つながれます」とありますが、これについて説明した次の文の□□に入れるのに適当なことを、【解説】から十字で抜き出して書きなさい。

私たちは、漢文を媒介とすることで、□□に時空を超えて触れられるということ。

(4) この漢詩について授業で学習した緑さんは、「廬山煙雨浙江潮」ということばについて調べ、分かったことをノートにまとめました。【ノートの一部】の□□に入れることばとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

【ノートの一部】

「廬山煙雨浙江潮」ということばについて調べたところ、蘇軾の別の漢詩から生まれた「廬山の真面目を識らず」ということばの存在を知りました。このことばは「廬山の中に入ると、位置によって廬山の見え方がどんどん変わり、かえって廬山の真の姿形がわからなくなる」という意味で、物事の当事者には客観的な真相や全体像がわからなくなることの比喩として使われるそうです。

また【解説】の筆者が「廬山煙雨浙江潮」ということばを「廬山の真面目を識らず」ということばと関連づけ、「目標がかなわなければ悔しいが、かなうと『なんだ、こんなものか』と思う。しかし、その後も『こんなもの』にくくり返し関わることで、誰も到達していない境地に至り、新しい発見をすることもある」という趣旨の考えを述べた文章を見つけました。筆者のこの考えに納得した私は、改めて【解説】を読みました。すると、「廬山煙雨浙江潮」ということばに対して、「□□」と感じられました。

(加藤徹『漢文で知る中国 名言が教える人生の知恵』を参考に作成)

ア このことばの歴史を認識することができた

イ このことばの哲理を体現することができた

ウ このことばの由来を究明することができた

エ このことばの含意を理解することができた

次の文章は、石やガラスなどを拾って磨く「みがき部」の「灯可理」が、同じ部活動の「真衣」、「信二」、「林先輩」とともに海岸で石を拾っている場面です。部員たちは、文化祭で展示・販売する石を探すため、「灯可理」が「ぼつん」と名付けていつも持ち歩いている石を見つけた海岸までやってきました。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

みんなが、てんでに好きな方へ歩き始める。

灯可理は、西に向かって浜を歩いた。少し行くと消波ブロックが波打ちきわまで置かれていて、そこを越えていくと、また向こうに浜が広がっている。そっちの方まで行ってみようかなと思った。

真衣が波に足を濡らしそうになって、悲鳴を上げて騒いでいるのが見える。信二は、一個一個の石を丁寧に観察しているのか、拾ってはじっと見つめ、ぼとりと落とす。だから、なかなか前に進まない。林先輩は、あらかじめ探すところを決めていたのか、あつという間に東の方へ、小さくなっていつてしまった。

じやり、じやりと、石を鳴らして、灯可理は波打ちきわを歩く。潮風が心地よく髪を揺らす。潮の匂いも、灯可理は好きだった。

みんなで、海岸に来ているのに、それぞれが行きたい方に向かってはらばらになる。いっしょに活動しているのだけれど、だれに気兼ねすることもなく、自分の思いで歩いていける。

③(なんかいいなあ)

灯可理は思った。

いっしょにいながら、みんな、それぞれ。それぞれなのに、いっしょにいられる。こんな感覚初めてだと思った。(中略)

みがき部の空気が、何なのだろう。部活動とはいえ、こんなゆつたりとした空気を味わえるなんて。やりたいことを、それぞれがやっている。それを、おたがいがわかり合っている。なんか、居心地がいい。灯可理は、心の底があつたかくなるのを感じていた。

(教室でも、一人でいたつていいのかな)

灯可理はスポンのポケットの上からぼつんを押さえた。相変わらず、ぼつんを持っている。ヒスイはなくなつて、ただの石ころになつてしまったけれど、④でも、そんなこと、どうでもいい。ぼつんは、ぼつん。世界にたった一つの石ころ。ヒスイでなくなつたからといって、ぼつんでなくなるわけではない。林先輩から拾ってもらったこの石のおかげで、みがき部に入ることができた。自分をみがき部に入れてくれた石。手みがきは、まだ途中だ。紙ヤスリの番手をさらに高めて、ぼつんをもっと磨いていこうと思つている。

(こんど、昼休み、ずつとぼつんを磨いて過ごしてみよかな)

潮風に当たって歩きながら、灯可理は、のんびりそんなことを思つた。

「いい模様が出そうな石かあ……」

灯可理は、ひとり言をつぶやいて、足もとの石ころを探した。波をかぶつた無数の石が、太陽の陽射しに反射して、まぶしく輝いている。

(おつ、これ、いいな)

白っぽくて茶色の波形の縞模様が入っている石が、目にとまった。灯可理は、身をかがめて、それを拾う。何という石かは知らないけれど、きれいな模様。まるで、丁寧に筆で描いたような波線が何本も走っている。これが、自然にできた模様だなんて、不思議だった。いや、自然でなければ、こんな模様は作り出せないのかもしれない。灯可理は、手にしているビニール袋の中に、その石を入れた。ビニール袋が、石の重みにずしうと伸びた。(中略)

消波ブロックのところを越えて、かなり遠くまでやつてきた。⑤いつのまにか、赤みを増した太陽が水平線近くまで傾いている。オレンジ色に染まった光の帯がキラキラと波にきらめきながら、沖から波打ちきわまで太さを増して延びてくる。

ビニール袋の中の石もけつこうな数になつた。手にぶら下げたビニール袋がびーんとはって、ずつしりと重い。そろそろ戻ろうかなと、灯可理はきびすを返した。

⑥「うわあっ」

思わず、灯可理は声を上げて、立ちつくした。

海岸がまぶしくらいに輝いていた。背中の方から差し込んでくる夕陽の光線に反射して、波に洗われた無数の石ころたちが、一粒一粒光っている。それぞれの色が違って見える。

(ぼつんもこの中の一つに選まないんだ)

ポケットの中のぼつんを、灯可理はきゅつと握つた。

宝石箱をひっくり返したように、波打ちきわに散りばめられた輝きが、ずつと遠くまで延びていた。灯可理は息をのんで、その光景を見つめた。海に沈む夕陽は何度も見たことはあるけれど、こんなふうに夕陽に照らされる波打ちきわの石たちを意識して見つめるのは初めてだった。

「シヨーに気づいたな」

いつの間にか、近くにやつてきていた林先輩が、灯可理を見て言つた。林先輩の顔も体も夕陽に照らされて、赤く染まっている。そして、夕陽に背中を向けて、海岸を見つめるようにした。そのすつと向こうには、真衣の背中も見えた。さらにその向こうに、信二の姿も小さく見えた。四人は、同じように波打ちきわに立つて、海岸を彩る光のシヨーを見つめていた。

「水平線に沈む夕陽もきれいだけど、沈む直前の夕陽に輝く波打ちきわの石ころたちは、それ以上だと思うよ」

林先輩の背中から声が聞こえた。

「多くの人は、夕陽を見てるけどね」

林先輩は、防波堤に目をやった。

たしかに、防波堤を見ると、何人もの人たちが、海に沈もうとしている夕陽を眺めている。カメラを向けて写真を撮っている人もいる。その人たちの視線に逆らうように、夕陽を背にして立っているのは、みがき部の四人だけだ。

⑦「ふふ、ばくらつて、変わつてるの」

林先輩は、灯可理を振り返つて、笑つた。灯可理もつられて、笑つた。

(出典 横沢彰『あしたをみがけ——姫川中学校みがき部』)

- (注) ぼつん——白色で、鮮やかな緑色の模様が透けて見える石。拾ったときはヒスイという宝石の原石かと思われたが、後に違うとわかった。
消波ブロック——防波堤などに設置されたコンクリート製のブロック。
紙ヤスリの番手——紙ヤスリの目の粗さのこと。番手の数字が大きいほど目が細かい。

- (1) ④「なんかいいなあ」とありますが、このとき「灯可理」が「みがき部」のどのような点を「いい」と思ったのかを説明した次の文の「X」、
「Y」に入れるのに適切なことばを、「X」は五字、「Y」は九字で、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。
みがき部の、「X」に行き先をゆだねて別々に行動していても、同じ部の仲間として「Y」と感じる点。

- (2) ④「でも、そんなこと、どうでもいい」とありますが、「灯可理」がそう考える理由を説明したものとして最も適切なのは、ア～エのうちでは
どれですか。一つ答えなさい。
ア ぼつんは他の石と見た目では区別できないが、灯可理が部活動に参加するために必要であり、みがき部で過ごした日々を象徴するものだから。
イ 宝石ではなかったぼつんでも、石を磨くこと自体に楽しさを見いだした灯可理にとっては、他の石と同じように磨いて作品にする対象だから。
ウ ぼつんはヒスイではないと判明したが、美しい石であることに変わりはなく、詳しく調べれば他の石よりも価値がある可能性がまだあるから。
エ 他の人にとってぼつんはただの石に過ぎなくても、灯可理にとっては入部するきっかけとなった石であり、他の石には代えがたいものだから。

- (3) ④「いつのまにか……傾いている」とありますが、この表現からわかることとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えな
さい。
ア 灯可理が林先輩を追いかけてながら石を拾っていくうちに、人が集まるような景色の良い場所までたどり着いていたこと。
イ 灯可理が自然の生み出した石の魅力に夢中になって石を拾っているあいだに、夕陽が沈むような時間になっていたこと。
ウ 灯可理が部員と協力して一生懸命に石を拾い続けたことで、ビニール袋がいっぱいになるほど多くの石が集まったこと。
エ 灯可理が根気よく吟味しながら石を拾っていた結果、周囲の様子がまるで違って見えるほど遠くに来てしまったこと。

- (4) ④「思わず……立ちつくした」とありますが、この表現と同様に、目の前の光景の美しさに驚く「灯可理」の様子を描いた表現を、文章中から
十九字で抜き出して書きなさい。

- (5) ④「林先輩は……笑った」とありますが、このときの「林先輩」の心情について説明した次の文の「」に入れるのに適切なことばを、二十字
以内で書きなさい。
今、この海岸で「」ことに対する自分の喜びを、灯可理に伝えたいという気持ちで。

- (6) この文章の表現や内容について説明したものとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 「ぼつんと落とす」という擬態語を用いた表現は、石を落として遊ぶ信二に対する灯可理からの親しみを表している。
イ 「いい模様が出そうなお石」という表現は、石は人間が磨いてはじめて美しくなるという灯可理の考えを反映している。
ウ 三人称による地の文をおもに用いることで、カッコ（ ）を用いて描かれた灯可理の主観的な心情を強調している。
エ 学校を離れて活動する様子を描くことで、学校生活と部活動とを切り離して考える灯可理の姿勢を印象づけている。

4

次の文章を読んで、①～⑤に答えなさい。

キャンプブームで、インターネットには焚き火の映像が溢れている。そして私を含め、a その映像を見入ってしまう人が少なくない。(中略)ヒーリング効果を期待して観ている人はもちろん、なかなかキャンプに行けない鬱憤をその動画視聴で晴らす人もいるかもしれない。しかし、^④映像の焚き火と本物の焚き火では、受ける刺激の豊かさや強さがまったく異なる。

映像の焚き火は、快適な室内空間の中で、目の前に置かれたモニタに映る視覚刺激とスピーカーから流れる聴覚刺激でしかない。大画面テレビで観れば、実際の焚き火よりはるかに大きく映せるが、スマホで観れば、手のひらサイズより大きくすることはできない。一般的なビデオカメラで撮影した映像なら、視点を変えることもできない。

逆に音は、静かな環境で高性能マイクを使って録音していれば、実際の焚き火よりノイズをカットし、パチパチ音を強調することができる。ミュートすることで音自体を完全に消すことも可能だ。その視聴覚刺激で癒やしの効果が得られるなら単純に凄^凄いと言えるかもしれないが、映像の焚き火で得られる感覚刺激は、本物の焚き火で得られるそれとは大きく異なっている。

本物の焚き火は、自然の中で視覚、聴覚、嗅覚、体性感覚(触覚、温熱感覚、痛覚)を刺激する超多感覚エンターテインメントだ。

樹種・状態によって異なる薪の匂い(松やヒノキなど針葉樹の薪は良い香りがする)、煙の匂い(黒煙も出やすいが、やはり針葉樹は良い香りがする。流木には独特の潮つばさもある)、素手で薪をつかんだ時の感触(針葉樹は軟らかくて軽い、広葉樹は硬くて重い。樹皮が付いていれば、ガサガサする)、薪バサミで燃えている薪をつかんだ時の感触(薪バサミのハンドルの感触と、薪の種類や燃焼状態によつて異なる重さや力加減)、輻射熱(焚き火の大きさや状態によつて大きく変わる。リフレクタを置く場合は、その素材やサイズ、形状によつても変わる)、煙を沿びると感じる目の痛みや、薪のささくれが指に刺さった時の痛み、焚き火台にうつかり触れてしまった時の火傷^{火傷}など、映像だけではc 得られない刺激が盛りたくさんなのだ。

もちろん、野外では周囲の環境の影響を直接受けるため、太陽の光、日没直後の空の深く青い色、風に揺られ擦れ合う木の葉の音、川を流れる水の音、鳥の声、可能な限り遭遇は避けたい獣のうめき声やバキバキと木をなぎ倒すような音、周囲のキャンパーの声、場合によっては交通騒音など、焚き火とは直接関係のないノイズも入ってしまう。

現地で拾うと決めて薪を買っていかなくったものの、現地では湿った新しか拾えなかつたとか、急に雨が降ってきたとかで火がつけられなかつた、というような不可抗力もある。だからこそ、野外で焚き火ができること自体に、喜びや価値を感じてしまうのかもしれない。

^④焚き火の効果を考える際には、体験の方向性も非常に重要な意味を持つ。映像の焚き火と本物の焚き火では、体験の方向性が真逆になっていて、前者が一方的に刺激を受ける受動的体験だけなのにに対し、後者は、着火から自分でやらなければ何も始まらない能動的体験となつている。

もちろん、着火、燃焼、消火までの過程には受動的体験も含まれるため、本物の焚き火は能動と受動のハイブリッドな体験と言える。

焚き火に感じる癒やしの本質は、受動的体験の延長であると私は考えている。そのため、映像の焚き火からは癒やし以上の効果は得にくい。

一方、本物の焚き火では、火を起こし、火をいじりながら刻一刻変化する火を観ることになる。私が焚き火をしている時には、無意識のうちにいろいろなことを考えていたり、思い出したりしていることが多い。

熾^熾火の状態(オレンジ色の炎を上げず、薪の芯の部分が赤くチロチロと燃えている状態。薪を追加するだけで比較的すぐに炎を上げ焚き火を延長することができる)になると、細かく火の世話をする必要がなくなるため、その前でウッドクラフト製作なんかもできてしまう。そして焚き火の前でやると、なぜか高い集中力を維持して作業に没頭でき、売り物になりそうな三つ又^{三つ又}アークを一晚で作り上げたこともある。

本物の焚き火は、まったく同じ状態になることが一度もない。どの瞬間もその瞬間のみという刹那^{刹那}的な展開をし、着火から消火まで毎回異なる「焚き火の一生」を見せてくれる。

実生活においても、厳密にはまったく同じことは起こらないが、独り野外で行う焚き火にはより強い「e」を感じてしまう。だから毎回新鮮であると同時に、手を抜くと失敗してしまうこともある。その緊張感のため成功時には安堵^{安堵}があり、単純な癒やしを感じる以上の何かを感じるのかもしれない。

(出典 岡本剛^{岡本剛}『焚き火の脳科学——ヒトはなぜ焚き火にハマるのか——』)

(注) ヒーリング——癒やし。

ノイズ——雑音。

薪バサミ——薪をはさんで位置を調整するための道具。持ち手のことを「ハンドル」とも呼ぶ。

輻射熱——放射熱。赤外線などによつて伝わる熱。

リフレクタ——反射板。風をよけたり火の粉を防いだりするために使う。

キャンパー——キャンプをする人。

ハイブリッド——異なった要素が混ざりあっていること。

ウッドクラフト——木を使う工作。

刹那的——瞬間的。

(1) a、c にそれぞれ入れることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア ① ついつい ② 決して イ ③ どうか ④ 少しも ウ ⑤ 思わず ⑥ まさか エ ⑦ まるで ⑧ なかなか

(2) ④「映像の……異なる」について、次の①、②に答えなさい。

① 筆者の考える、「映像の焚き火」を観ることで受ける「刺激」とはどのような刺激か、文章中から五字で抜き出して書きなさい。

② 筆者の考える、「本物の焚き火」をすることで受ける「刺激」について説明したものとして適当でないのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 針葉樹の薪の匂いや、それを燃やした時に出る煙の匂いなどの、心地よく感じる刺激だけでなく、薪のささくれが指に刺さった時などに受ける痛みといった刺激も含まれる。

イ 焚き火から発せられる熱の暖かさなど、焚き火の世話をすることによって受ける刺激だけでなく、日没直後の空の深く青い色などの焚き火とは直接関係ない刺激も含まれる。

ウ 煙が目に入った時の痛みや、薪バサミを使って薪をつかむ時の力加減など、その場で受ける刺激だけでなく、焚き火の燃える音を録音して後から聞いた時の刺激も含まれる。

エ 不注意で火傷を負ったときに感じる熱さや痛みなど、火がついた後に感じるものだけでなく、燃やす前の薪の手触りや重量感の違いのように準備段階で受ける刺激も含まれる。

(3) ④「焚き火……意味を持つ」とありますが、本物の焚き火の「効果」に対する筆者の考えを説明した次の文の「X」も「Z」に入れるのに適当なことを、「X」、「Y」は文章中からそれぞれ二字で抜き出して書き、「Z」は十五字以内で書きなさい。

筆者は、「X」的体験であり、「Y」的体験もする本物の焚き火を通して、人は「Z」のではないかと考えている。

(4) ⑥に入れることはとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 順風満帆 イ 深山幽谷 ウ 前代未聞 エ 一期一会

(5) この文章の論の進め方を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 映像の焚き火と本物の焚き火によるさまざまな刺激の具体例を挙げながら、本物の焚き火を映像の焚き火で代替する方法を検証している。

イ 映像の焚き火と本物の焚き火の違いを明らかにしながら考察を進め、筆者自身の実感をもとに本物の焚き火の魅力について解説している。

ウ 映像の焚き火と本物の焚き火それぞれの問題点を指摘し、複数の事例により裏付けることで、焚き火のあるべき姿について究明している。

エ 映像の焚き火と本物の焚き火に関してまとめた他者の論文を引用して、多角的な視点から分析し、本物の焚き火の優位性を主張している。

2 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度等をみる。
- 2 具体的な事象の中の数量の関係を考察する場面において、数量の関係を文字を用いた式で表現する力、文字を用いた式を具体的な場面で活用する力等をみる。
- 3 収集したデータを度数分布表や度数分布多角形に整理した場面において、四分位数、累積相対度数を求める力、相対度数についての理解の程度等をみる。
- 4 直線と放物線で囲まれた部分を三角形に分割しておおよその面積を考察する場面において、関数についての理解の程度、図形の性質を具体的な場面で活用する力等をみる。
- 5 円とその円に外接する正多角形の周の長さを考察する場面において、図形についての理解の程度をみるとともに、それらを活用して図形の特徴を考察し問題を解決する力等をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

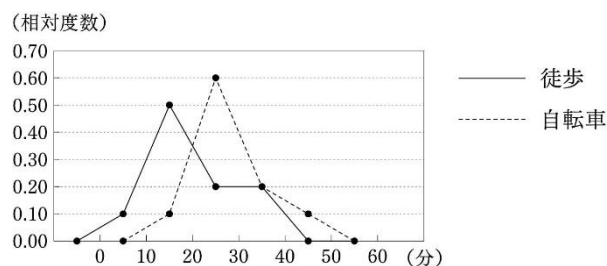
ア 結果の概要

1について、基本的な計算技能の習得の程度をみる設問では7割以上の正答率であったが、分数や分数式を含む設問、簡単な場合について確率を求める設問では正答率が低かった。「数と式」について、数量の関係を文字を用いた式で表す設問2(1)では、正答率が43.0%と低かった。「データの活用」について、相対度数に関する理解の程度をみる設問3(2)では、正答率が32.0%、誤答率が35.0%であった。「関数」について、4では(3)の一次関数を式で表す設問を境に正答率が下がった。「図形」について、円周の長さを求める設問5(2)では、正答率が53.0%と低かった。また、5では、(3)までの正答率が約50%であったのに対し、(4)の正答率が2.5%であったことから、「数学的な表現を用いた理由の説明」について課題がみられた。

相対度数の必要性和意味を理解するための指導の充実

〔大問3〕(2)③ 正答：正答例参照 正答率：32.0%〕

(2)



③ 図から、次のアとイは同じといえますか。解答欄の に「といえる」または「とは限らない」のいずれかを書きなさい。また、そのように判断した理由も答えなさい。

ア 「徒歩」と答えた生徒のうち、「30 分以上 40 分未満」と答えた生徒の人数

イ 「自転車」と答えた生徒のうち、「30 分以上 40 分未満」と答えた生徒の人数

分析 相対度数についての理解の程度をみることをねらいとしている。誤答率が35.0%であり、誤答の中には、「といえる」を選び、理由を「相対度数が同じだから」としている解答が目立った。相対度数についての理解が不十分であったと考えられる。

視点 指導においては、身近な事象を通して、大きさの異なる二つ以上の集団のデータの傾向を比較する場合、度数分布表の各階級の度数で単純に比べることができないことを経験できるようにすることが重要である。また、この学習内容は、確率の学習の基礎となることにも留意して指導することが大切である。

数学的な表現を用いて筋道を立てて説明し伝え合う活動の充実

〔大問5〕(4) 正答：正答例参照 正答率：2.5%〕

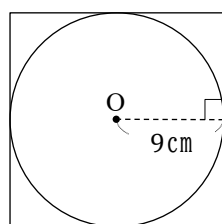


図1

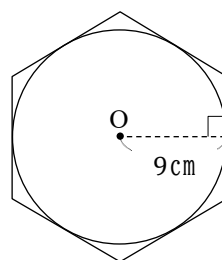


図2

(4) 次のア、イ、ウの長さを短い順に、その記号を左から並べなさい。また、そのような順に並べた理由を、 $3.1 < \pi < 3.2$ 、 $1.7 < \sqrt{3} < 1.8$ であることを使って答えなさい。

ア 円Oの円周 イ 図1の正方形の周 ウ 図2の正六角形の周

分析 大問5は、円周がその円の外部にある正多角形の周より短いことを確認し、判断の根拠を説明する力をみることをねらいとしている。理由では無答が多く、数学的な表現を用いて、筋道を立てて説明する力が十分に身に付いていないと考えられる。

視点 指導においては、数学的な表現を用いて筋道を立てて説明し伝え合う活動を充実させることが大切である。数量や図形などに関する問題場面について思考した過程や、その結果得られた事実や方法、判断の根拠などを数学的に表現するためには、言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて的確に表現する必要がある。その際、数学的に表現することと数学的に表現されたものを解釈することを対にして考えることが大切である。

(3) 応答率

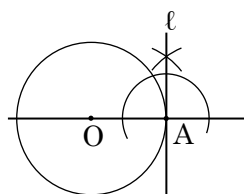
大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式		応 答 率 (%)					
				選 択	短 記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)	1	2	○		98.0		0.0	2.0		0.0
	(2)	-9	2	○		62.0		8.0	25.0		5.0
	(3)	$13a - b$	2	○		85.5		0.0	14.0		0.5
	(4)	$\frac{1}{2}a^2$	2	○		77.0		0.0	21.5		1.5
	(5)	$2\sqrt{3}$	2	○		79.5		1.0	16.5		3.0
	(6)	$(x+4)(x-4)$	2	○		83.0		0.0	13.5		3.5
	(7)	$x=1, y=-4$	2	○		73.5		2.0	14.0		10.5
	(8)	$x = \frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$	2	○		72.0		3.0	12.5		12.5
	(9)	$\frac{5}{6}$	2	○		59.0		0.0	40.5		0.5
	(10)	105	2	○		83.5		3.5	11.0		2.0
	(11)	$-8 \leq y \leq -2$	2	○		63.0		0.5	29.0		7.5
2	(1)①	79	2	○		86.0		0.5	12.5		1.0
	(1)②	$16n - 1$	2	○		43.0		19.0	30.5		7.5
	(1)③	11	2	○		79.0		1.0	12.5		7.5
	(2)①	203	2	○		47.5		0.0	44.0		8.5
	(2)②	$23ab + 8a + 16b + 1$	3	○		3.5		3.5	55.0		38.0
3	(1)①	第1四分位数 10分以上20分未満 中央値 20分以上30分未満	4	○		74.5		11.5	12.0		2.0
	(1)②	0.33	2	○		58.0		1.0	27.5		13.5
	(2)①	80	2	○		51.5		0.0	41.0		7.5
	(2)②	ア	2	○		84.5		0.0	14.0		1.5
	(2)③	※説明記述	3		○	32.0		25.5	35.0		7.5
4	(1)	点Bのx座標 -4 △OABの面積 16	4	○		48.5		36.0	9.5		6.0
	(2)	点Qのy座標 2 線分PQの長さ 1	4	○		65.0		16.0	9.5		9.5
	(3)	直線ℓの式 $y = x - 1$ 点Rのx座標 1	4	○		34.0		35.0	11.5		19.5
	(4)	2	2	○		27.0		0.0	37.0		36.0
5	(1)	※作図記述	3		○	49.0		12.5	29.0		9.5
	(2)	18π	2	○		53.0		0.0	39.5		7.5
	(3)	$6\sqrt{3}$	2	○		45.5		1.0	38.0		15.5
	(4)	※説明記述	3		○	2.5		23.5	50.0		24.0

3 (2)③ 説明記述

とは限らない

【理由】

「徒歩」と答えた生徒全体の人数と「自転車」と答えた生徒全体の人数が同じとは限らないから。



5 (4) 説明記述

【順番】ア、ウ、イ

【理由】アの長さは 18π cm、イの長さは 72 cm、ウの長さは $36\sqrt{3}$ cm

ここで、 $18 \times 3.1 = 55.8$ 、 $18 \times 3.2 = 57.6$

だから、 $55.8 < 18\pi < 57.6$

また、 $36 \times 1.7 = 61.2$ 、 $36 \times 1.8 = 64.8$

だから、 $61.2 < 36\sqrt{3} < 64.8$

よって、 $18\pi < 36\sqrt{3} < 72$

受 検 番 号	(算用数字)	志 願 校
------------	--------	----------

注意 1 答えに√が含まれるときは、√をつけたままで答えなさい。
その際、√の中の数は、できるだけ小さい自然数にしないさい。
2 答えに円周率を使うときは、πを用いなさい。

1

--

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	(°)
(11)	

2

--

(1)①	(cm)
(1)②	(cm)
(1)③	(個)
(2)①	(cm ²)
(2)②	(cm ²)

解 答 用 紙

※

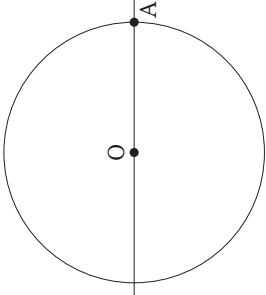
3

--

(1)①	第1四分位数	分以上	分未満
(1)②	中央値	分以上	分未満
(2)①		(%)	
(2)②			
(2)③	アとイは同じ		
	【理由】		

5

--

(1)	
(2)	(cm)
(3)	(cm)
(4)	【順番】 【理由】

4

--

(1)	点 B の x 座標	
	△OAB の面積	(cm ²)
(2)	点 Q の y 座標	
	線分 PQ の長さ	(cm)
(3)	直線 l の式 y =	
	点 R の x 座標	
(4)		(cm ²)

1

次の(1)～(5)の計算をなさい。(6)～(11)は指示に従って答えなさい。

(1) $5 + (-4)$

(2) $9 \times \left(-\frac{1}{6}\right) - 10 \times \frac{3}{4}$

(3) $3(5a - b) - 2(a - b)$

(4) $a^3b^2 \div 2ab^2$

(5) $-\sqrt{12} + \sqrt{48}$

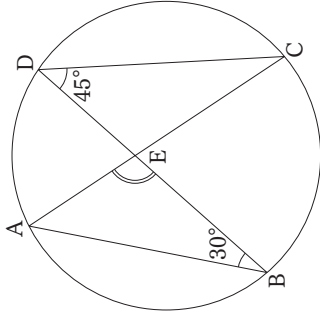
(6) $x^2 - 16$ を因数分解しなさい。

(7) 連立方程式 $\begin{cases} 3x + y = -1 \\ x - 2y = 9 \end{cases}$ を解きなさい。

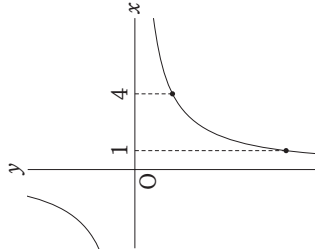
(8) 方程式 $x^2 + 5x + 2 = 0$ を解きなさい。

(9) あたりくじ2本、はずれくじ2本の合計4本が入った箱があります。この箱から、くじを同時に2本引くとき、少なくとも1本があたりくじである確率を求めなさい。ただし、どのくじが引かれることも同様に確からしいものとします。

(10) 図のように、円周上に4点A、B、C、Dがあり、弦ACと弦BDの交点をEとします。 $\angle ABD = 30^\circ$ 、 $\angle BDC = 45^\circ$ のとき、 $\angle AEB$ の大きさを求めなさい。



(11) 関数 $y = -\frac{8}{x}$ について、 x の変域が $1 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域を求めなさい。



2 太郎さんの家では、キッチンの壁に、横の長さが15 cm、縦の長さが7 cm の長方形のタイルを、等間隔に並べて貼り付けようとしています。(1)、(2)に答えなさい。

(1) 図1のように、タイルを1 cmの間隔をあけて、横一列に等間隔で並べます。①～③に答えなさい。

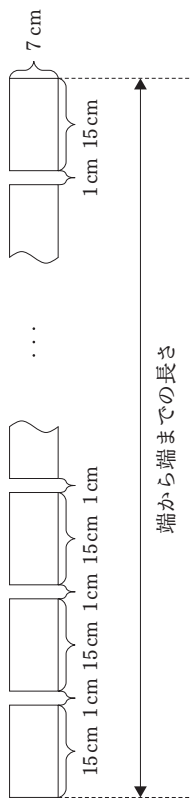


図1

ここで、一番左に並べたタイルの左端から一番右に並べたタイルの右端までの長さを「端から端までの長さ」と呼ぶことにします。
例えば、3個のタイルを並べるときの端から端までの長さは47 cmとなります。

- ① 5個のタイルを並べるとき、端から端までの長さを求めなさい。
- ② n 個のタイルを並べるとき、端から端までの長さを n を用いて表しなさい。
- ③ 端から端までの長さが175 cmとなるためには、タイルを何個並べればよいかを求めなさい。

(2) 長方形の壁に、タイルを縦横それぞれ1 cmの間隔をあけて等間隔に並べ、接着剤で貼り付けた後、タイルとタイルの隙間と周囲幅1 cmの部分を目地材で埋めます。①、②に答えなさい。

例えば、6個のタイルを縦に2行、横に3列並べるとき、目地材で埋める部分は、図2の斜線部分(斜線部分)になります。

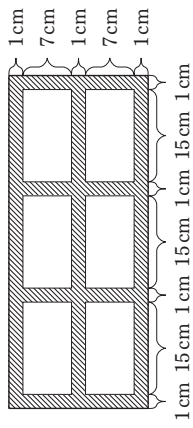
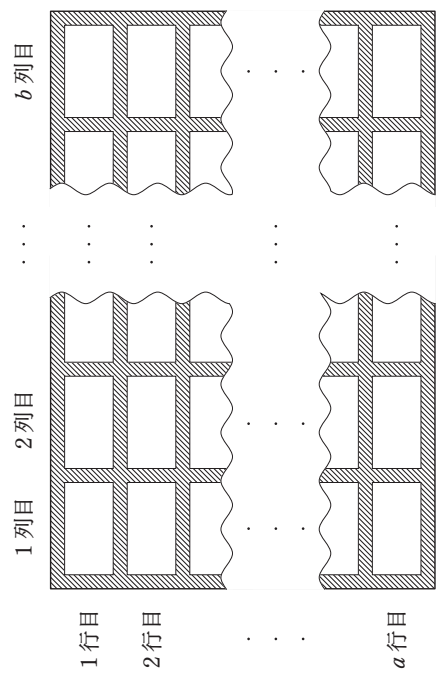


図2

※目地材とは、タイルとタイルなどの隙間である「目地」を埋めるための材料のこと。

- ① 6個のタイルを縦に2行、横に3列並べるとき、目地材で埋める部分の面積を求めなさい。
- ② ab 個のタイルを縦に a 行、横に b 列並べるとき、目地材で埋める部分の面積を a 、 b を用いて表しなさい。



3

ある学校で生徒90人に対し、通学時間および通学方法の調査を行いました。通学方法については、「徒歩」、「自転車」、「バス」、「その他」の4項目の中から、いずれか一つに回答しています。(1)、(2)に答えなさい。

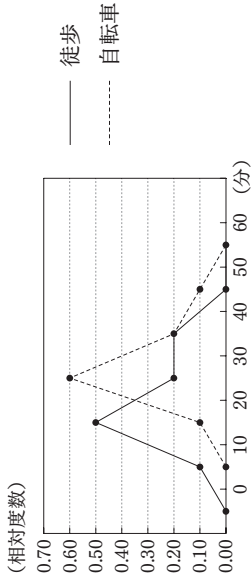
(1) 表は、通学時間の調査結果を度数分布表に整理したものです。①、②に答えなさい。

通学時間 (分)	度数 (人)
以上 未満	
0 ～ 10	5
10 ～ 20	30
20 ～ 30	28
30 ～ 40	18
40 ～ 50	6
50 ～ 60	3
計	90

① 第1四分位数および中央値は、それぞれの階級に含まれるかを答えなさい。

② 「10分以上20分未満」の階級の相対度数を、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで求めなさい。

(2) 図は、通学方法が「徒歩」と答えた生徒の通学時間と「自転車」と答えた生徒の通学時間について、相対度数をそれぞれ求め、折れ線に表したものです。①～③に答えなさい。



例えば、図から、「徒歩」について、「0分以上10分未満」の階級の相対度数が0.10であること、すなわち、「徒歩」と答えた生徒のうち、「0分以上10分未満」と答えた生徒の、「徒歩」と答えた生徒全体に対する割合が10%であることが読み取れます。

① 「徒歩」について、通学時間が30分未満の生徒の割合は、「徒歩」と答えた生徒全体の何%かを、図から読み取って答えなさい。

② 図から読み取れることとして、次のことがらは正しいといえますか。【選択肢】の ア～ウの中から最も適当なものの一つ答えなさい。

「自転車」については、「20分以上30分未満」と答えた生徒の人数が最も多い。

【選択肢】

ア

正しい

イ

正しくない

ウ

図からはわからない

③ 図から、次のアとイは同じといえますか。解答欄の□に「といえる」または「とは限らない」のいずれかを書きなさい。また、そのように判断した理由も答えなさい。

ア 「徒歩」と答えた生徒のうち、「30分以上40分未満」と答えた生徒の人数

イ 「自転車」と答えた生徒のうち、「30分以上40分未満」と答えた生徒の人数

太郎さんは、放物線と直線で囲まれた部分を
図1のように分割して、三角形の面積を足し合
わせることで、おおよその面積を、図2のよう
な設定で求めようとしています。(1)～(4)に答
えなさい。

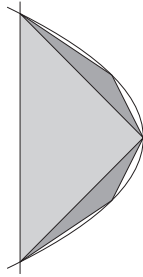


図1

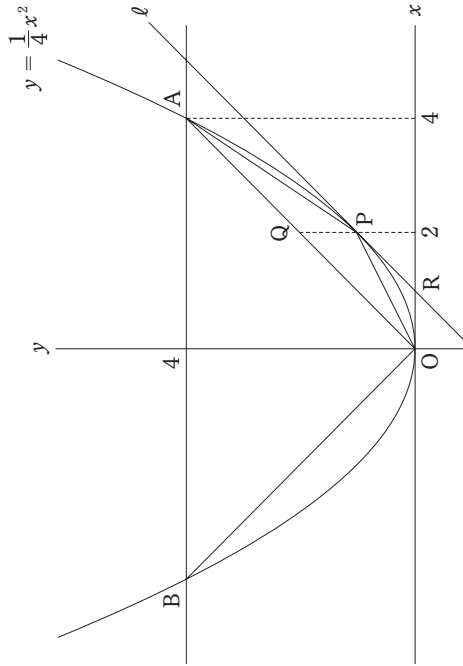


図2

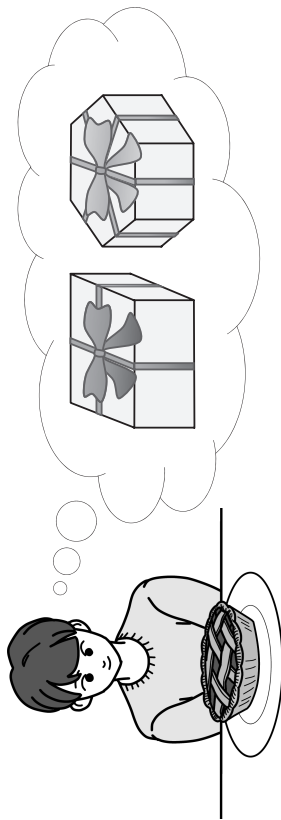
【図2の説明】

- 点Oを原点とする座標平面上に、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフと点A(4, 4)がある。
- 点Aを通りx軸と平行な直線が、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフと交わる点をBとする。
- 関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に、x座標が2である点Pをとる。
- 直線OA上に、x座標が2である点Qをとる。
- 点Pを通り直線OAと平行な直線をℓとする。
- 直線ℓとx軸との交点をRとする。
- 原点Oから点(1, 0)までの距離、原点Oから点(0, 1)までの距離をそれぞれ1 cm とする。

- (1) 点Bのx座標および△OABの面積を求めなさい。
- (2) 点Qのy座標および線分PQの長さを求めなさい。
- (3) 直線ℓの式および点Rのx座標を求めなさい。
- (4) △OPAの面積を求めなさい。

太郎さんは、手作りのアップルパイを箱に入れて、親にプレゼントしようと考えています。(1)～(4)に答えなさい。

太郎さんは、丸型でアップルパイを作りました。このアップルパイを入れる箱を厚紙で作ります。



そこで、太郎さんは、図1や図2のような、半径9 cm の円O がちょうど入る正方形や正六角形について、それらの周の長さを考えます。

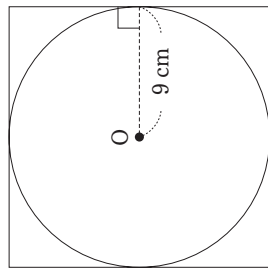


図1

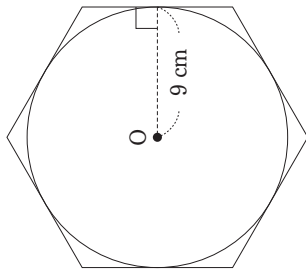
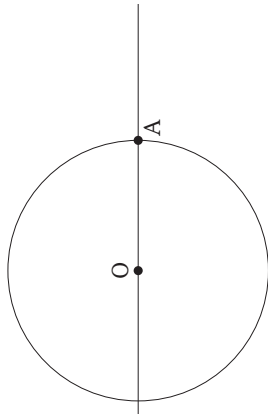


図2

ここで、図1の正方形について、一辺の長さが18 cm だから周の長さは72 cm となります。

(1) 円O上に点Aがあります。点Aを通り直線OAと垂直に交わる直線ℓを、定規とコンパスを使って作図しなさい。作図に使った線は残しておきなさい。



(2) 半径9 cm の円の円周の長さを求めなさい。

(3) 図2について、円Oの半径と正六角形の一辺の長さの比は、 $\sqrt{3} : 2$ になります。このとき、正六角形の一辺の長さを求めなさい。

(4) 次のア、イ、ウの長さを短い順に、その記号を左から並べなさい。また、そのような順に並べた理由を、 $3.1 < \pi < 3.2$ 、 $1.7 < \sqrt{3} < 1.8$ であることを使って答えなさい。

ア	円Oの円周	イ	図1の正方形の周	ウ	図2の正六角形の周
---	-------	---	----------	---	-----------

3 英 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 話される英語の内容を正しく聞き取る力や適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- 2 ホームステイの場면을素材として、基礎的・基本的な単語や文法事項等の理解の程度をみるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、それらを適切に活用する力や与えられた情報に基づいて適切に英語で表現する力をみる。
- 3 英語による発表や会話から、英語の内容を正確に理解したうえで、文章の概要や要点を捉える力をみる。
- 4 英語による会話及び会話の内容に関係する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や英文と資料を関連させて情報を整理し選択する力をみる。
- 5 まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、段落の概要や文章の要点を捉える力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

話される英語の内容を正しく聞き取る力や適切に応答する力をみる設問の正答率は高かった。また、英語による発表において、概要を捉える力をみる設問の正答率も高かった。

一方、ホームステイの場면을素材として、基礎的・基本的な単語や文法事項等を適切に活用する力や、与えられた情報に基づいて適切に英語で表現する力をみる設問では、正答率が低いものがあった。また、まとまりのある英語の文章の内容を正確に読み取る力をみる設問の正答率が低かった。英文と資料を関連させて情報を整理することについても課題がみられた。

話の流れを整理し、適切に表現するための力を育成する指導の充実

〔大問2〕(5) 正答例：he gave me a cup 正答率：11.5%

(5) Mary と Naoto が、ホームステイの最終日に話をしました。会話の流れと写真に合うように、
 に5語以上の英語を書き、Naoto の発言を完成させなさい。

Mary: What is your favorite memory of school in the U.K.?

Naoto: I made a lot of friends. One of them was John. On
 my last day of school, . That's my favorite
 memory. I'm sure that I'll use it in Japan. (省略)

Naoto が見せた写真



〈分析〉大問2(5)は、会話のやり取りと写真を踏まえて、登場人物のお気に入りの思い出を捉え、それを英語で適切に表現する力をみる設問である。会話中の の後に展開される話の流れを整理した上で、「I'm sure that I'll use it in Japan.」という文につながるように、適切な英語で表現することが求められている。写真の中で眼鏡をかけている人物が John であることを捉え損ねていたり、過去形と過去分詞形の区別や、能動態と受動態の区別ができていなかったりする解答が多かった。

〈視点〉コミュニケーションを支えるためには、文法の習得・定着が欠かせない。形式や意味は理解しているが、使い方は理解できていないということにならないよう、文脈や場面の中で言語材料を導入し、使うことができるようにすることが重要である。その際、当該の言語材料を明示的に伝えなくても自然に使わせることを意図した言語活動の工夫や、言語活動間に行う言語面からの指導において、使い方の理解を促したり、既習内容を想起させたりすることが考えられる。また、生徒の発話を取り上げるなどしながら、単語だけによる発話を文にさせることや、語順の誤りなどを修正させることなども考えられる。長いスパンで少しずつ正確さを高めようとするのが大切である。

要点を理解するために、話の構成を把握する力を育成する指導の充実

〔大問5〕(4) 正答：ウ 正答率：45.5%

(4) 次の英文を入れるのに最も適当なのは、本文中の ア ~ ウ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

This is the meaning of the rule.

〈分析〉大問5(4)は、まとまりのある文章を読んで、要点を捉える力をみることをねらいとしている。当該の段落では、熟練者たちの「Listen to the voice of the stones.」というルールが最初に示され、次にその意味が説明されている。その後、「This is the meaning of the rule.」という一文が結論となり、段落を締めるという流れになる。意味ある文脈の中で、話の構成を把握したり、指示語や定冠詞が何を指すのかを正確に理解したりすることができていなかったため、要点の理解につながらなかったと考えられる。

〈視点〉話の構成を把握することは、書き手が伝えようとしている要点の理解につながる。このことは、まとまりのある文章を読むことだけではなく、話すことや書くことにおいて、事実や自分の考えなどを正しく伝えるためにも重要である。例えば、スピーチにおいて自分が伝えたいことを端的に示してから、その具体的な内容を述べ、最後に主張のまとめを提示するという活動が考えられる。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)							
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの		部分点を 与えたもの		誤答としたもの		無 答	
1	A(1)	ウ	2	○			90.0		0.0		10.0		0.0	
	A(2)	ウ	2	○			69.5		0.0		30.5		0.0	
	A(3)	ア	2	○			88.0		0.0		12.0		0.0	
	B(1)	イ	2	○			87.0		0.0		13.0		0.0	
	B(2)	ウ	2	○			82.5		0.0		17.5		0.0	
	C(1)	ア	2	○			64.5		0.0		35.5		0.0	
	C(2)	エ	2	○			81.0		0.0		19.0		0.0	
	C(3)	watch birds	3			○	46.0		8.0		32.0		14.0	
2	(1)(あ)	ウ	2	○			85.0		0.0		15.0		0.0	
	(1)(い)	ア	2	○			70.5		0.0		29.5		0.0	
	(2)(う)	エ	2	○			62.5		0.0		37.5		0.0	
	(2)①(え)	spring	2		○		63.0		0.5		26.5		10.0	
	(2)①(お)	flowers	2		○		33.0		18.5		41.0		7.5	
	(2)②	Have you ever climbed the	2			○	71.0		6.0		22.5		0.5	
	(3)(き)	older	2		○		69.5		0.0		27.0		3.5	
	(3)(く)	am practicing	2			○	28.5		1.5		63.5		6.5	
	(4)	hours	2		○		39.5		6.5		44.5		9.5	
	(5)	he gave me a cup	3			○	11.5		14.0		50.0		24.5	
3	A(1)	ア	2	○			90.5		0.0		9.5		0.0	
	A(2)	イ	2	○			62.0		0.0		38.0		0.0	
	B(1)	ア	2	○			61.5		0.0		38.5		0.0	
	B(2)	a koala	2			○	56.5		1.5		38.0		4.0	
	B(3)	エ	2	○			40.5		0.0		59.5		0.0	
4	(1)	right	3			○	46.0		0.0		46.0		8.0	
	(2)	Friday	2			○	24.5		1.5		72.0		2.0	
	(3)	イ	2	○			68.5		0.0		31.5		0.0	
	(4)	エ	2	○			60.0		0.0		39.0		1.0	
5	(1)	イ	2	○			77.5		0.0		22.5		0.0	
	(2)	エ	2	○			84.0		0.0		15.5		0.5	
	(3)	イ	2	○			44.5		0.0		54.5		1.0	
	(4)	ウ	2	○			45.5		0.0		52.0		2.5	
	(5)	互いを助ける	2			○	54.0		12.5		23.0		10.5	
	(6)	ア イ オ	3	○			20.5		0.0		77.5		2.0	

受 検 番 号	(算用数字)	志 願 校
------------	--------	----------

解 答 用 紙



- 注意 1 英語で書くところは、活字体、筆記体のどちらで書いてもかまいません。
2 語数が指定されている設問では、「,」や「.」、「?」などの符号は語数に含めません。
また、「don't」などの短縮形は、1語とします。

1		A(1)	
		A(2)	
		A(3)	
		B(1)	
		B(2)	
		C(1)	
		C(2)	
		C(3)	

3		A(1)	
		A(2)	
		B(1)	
		B(2)	
		B(3)	

4		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	

		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	

2		(1)あ	
		(1)い	
		(1)う	
		(2)① え	
		(2)① お	
		(2)②	
		(3)き	My cat is four years old, so he is () than your cat.
		(3)く	I () for tomorrow's presentation now.
		(4)	
		(5)	

5		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	
		(6)	

この問題は聞き取り検査です。問題A～問題Cに答えなさい。問題Aでは、英語は1回だけ読めます。問題Bと問題Cでは、英語は2回読めます。途中でメモをとってもかまいません。

問題A (1)～(3)のそれぞれの英文で説明されている内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は1回だけ読めます。

(1)

ア

イ

ウ

エ

9

20

10

20

11

20

12

20

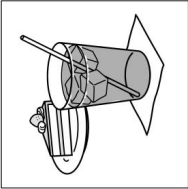
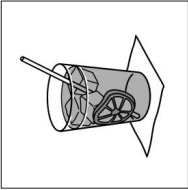
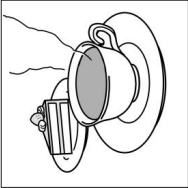
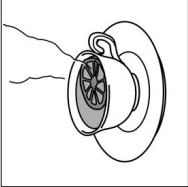
(2)

ア

イ

ウ

エ



(3)

ア

イ

ウ

エ

買い物リスト

ニンジン 1本

タマネギ 2個

買い物リスト

ニンジン 2本

タマネギ 1個

買い物リスト

ジャガイモ 1個

タマネギ 2個

買い物リスト

ジャガイモ 2個

ニンジン 1本

問題B (1)、(2)のそれぞれの会話の最後の文に対する応答部分でチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は2回読めます。

ア

イ

ウ

エ

It's Tuesday.

It's ten dollars.

It's on your desk.

It's a black T-shirt.

ア

イ

ウ

エ

I've also finished my math homework.

He was a science teacher.

My favorite is math.

There are two science rooms at their school.

問題C 留学中に、Kenjiは校外学習に行くことになりました。Kenjiはメモをとりながら、Brown先生からの説明を聞いています。(1)～(3)に答えなさい。英語は2回読めます。

Kenjiのメモの一部

集合場所：学校の (あ)

集合時刻：8時30分

Green Parkへの到着予定時刻： (い)

(1) (あ)、(い)に入れる内容の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア (あ) 体育館 (い) 10時15分

ウ (あ) 体育館 (い) 10時50分

イ (あ) 玄関 (い) 10時15分

エ (あ) 玄関 (い) 10時50分

(2) Brown先生が心配していたこととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 虫

イ 交通渋滞

ウ 野生動物

エ 天気

(3) 説明の最後にBrown先生がした質問に対して、どのように答えますか。あなたがKenjiになったつもりで、書き出しに続けて、()に2語以上の英語を書き、英文を完成させなさい。

I want to ().

イギリスに留学している Naoto は、Greg と Mary の家にホームステイしています。
(1)～(5)に答えなさい。

(1) Naoto と Greg が話をしました。□(あ)□～□(う)□に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。

Naoto : Your □(あ)□ looks heavy.

Greg : Yes. It is heavy. I have ten books in it.

(あ) ア pen イ umbrella ウ bag エ camera

Greg : Can you cook Japanese food for us ?

Naoto : Sure. I brought some □(い)□ from Japan. If I read them, I can cook for you.

(い) ア recipes イ vegetables ウ dishes エ chopsticks

Naoto : You have nice jogging shoes. When do you jog ?

Greg : I usually jog □(う)□ breakfast. First, I start to jog at six a.m. Next, I take a shower at home. Then, I have breakfast at seven thirty a.m.

(う) ア between イ after ウ at エ before

(2) Mary、Naoto、Greg が、次のウェブサイトの画面を見ながら話をしました。①、②に答えなさい。

ウェブサイトの画面

海外からの観光客にも
おすすめの日本の季節

春

たくさんきれいな花を楽しめる

Mary : We want to visit Japan. Which season is good ?

Naoto : Well, look at this website. It shows that □(え)□ is a good season in Japan. People can enjoy many beautiful □(お)□.

Mary : That's great. I also want to see Mt. Fuji.

Greg : Me, too. (お) you / the / ever climbed / have) mountain, Naoto ?

Naoto : No, I haven't. I want to try that someday.

① ウェブサイトの画面の内容に合うように、□(え)□、□(お)□に最も適当な英語1語をそれぞれ入れ、Naoto の発言を完成させなさい。

② 下線部(お)の語句をすべて用いて、意味が通るように並べ替えなさい。ただし、文頭にくる語もすべて小文字にしてあります。

(3) Naoto と Mary が話をしました。下線部(き)、(く)のそれぞれについて、() 内の語を適当な形に変えたり、必要があれば、不足している語を補ったりなどして、意味が通るように英文を完成させなさい。

Naoto : Your cat is cute.

Mary : Thank you. She is two years old.

Naoto : I have a cat in Japan, too. (き) My cat is four years old, so he is (old) than your cat.

Mary : What are you doing ?

Naoto : I (く) (practice) for tomorrow's presentation now.

Mary : Good luck.

(4) Greg と Naoto が話をしました。□(け)□に入れるのに最も適当な英語1語を書きなさい。

Greg : How long did you study last night ?

Naoto : Well, I started at seven p.m. and finished at about nine p.m.

Greg : So you studied for about two □(け)□.

(5) Mary と Naoto が、ホームステイの最終日に話をしました。会話の流れと写真に合うように、□(け)□に5語以上の英語を書き、Naoto の発言を完成させなさい。

Mary : What is your favorite memory of school in the U.K. ?

Naoto : I made a lot of friends. One of them was John. On my last day of school, □(け)□. That's my favorite memory. I'm sure that I'll use it in Japan.

Mary : That's nice.

Naoto : Oh, I have some photos to show you. My teacher took them on that day. In these photos, the boy wearing glasses is John. I'll also show these photos to my family in Japan, and tell them about my favorite memory of school here.

Naoto が見せた写真



問題A、問題Bに答えなさい。

問題A Miyuki が英語の授業でスピーチをしました。次の英文は、そのスピーチです。

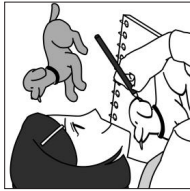
(1)、(2)に答えなさい。

Today, I want to talk about my dog. His name is Pochi. He often plays with a ball, can run very fast, and can also swim.

Pochi started to live with my family three years ago. Since then, . I will give you an example. I didn't get up early before. However, now I wake up at six a.m. and walk Pochi with my mother. I can start the day well.

(1) Miyuki がスピーチで述べた内容として、当てはまらないものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

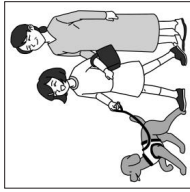
ア



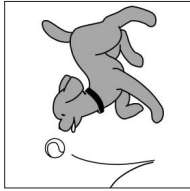
イ



ウ



エ



(2) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア my family has visited four countries

イ my life has changed

ウ my mother has studied French

エ my dog has eaten many kinds of dog food

問題B Saki が、留学生の Ben と話をしています。次の英文は、その会話です。(1)～(3)に答えなさい。

Saki : Look at this postcard. It has a picture of a koala.

Ben : It's cute. (ア)

Saki : My aunt did. She visited Australia last month.

Ben : Wow. What did she write on the postcard?

Saki : She wrote about her experiences in the country. She went to a zoo and swam at the beach. She was surprised to see kangaroos on the beach.

Ben : Really? Well, (イ) It's easy for me to send an e-mail.

Saki : Actually, I asked her to send a postcard to me. That's the reason.

Ben : I see.

Saki : When I got it, I was excited. It was my first postcard from abroad. Also, I was happy to see ^(ウ)the animal on the postcard. It is the animal that I like the best. I talked with her about that before.

Ben : Oh, she remembered that.

Saki : I think so. When I visit a foreign country someday, I want to send a postcard to her from that country.

[注] postcard 絵はがき

(1) (ア)、 (イ)に入れる英語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア (ア) Who sent the postcard to you? (イ) why did she send a postcard?

イ (ア) Who sent the postcard to you? (イ) where did she write the postcard?

ウ (ア) How many postcards do you have? (イ) why did she send a postcard?

エ (ア) How many postcards do you have? (イ) where did she write the postcard?

(2) 下線部(ウ)が具体的に指すものは何ですか。英語2語を会話から抜き出して書きなさい。

(3) 会話の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Ben showed a postcard from his aunt.

イ Saki's aunt visited a zoo in Australia three months ago.

ウ Saki was excited to get her second postcard from a foreign country.

エ Saki wants to send a postcard from abroad in the future.

海外旅行中の Taku がチラシ (flyer) を見せながら、通りすがりの女性と話をしています。次は、そのチラシと会話の英文です。(1)～(4)に答えなさい。

チラシ

Bakeries in Green City

Tom's Bakery

Judy's Bakery

convenience store

bookstore

Alice's Bakery

cafe

station

Tom's Bakery

Open: 8 a.m. ~ 4 p.m.
Closed: Thursdays
You can buy their special sandwiches only on Saturdays.

Judy's Bakery

Open: 7 a.m. ~ 3 p.m.
Closed: Thursdays
There are benches in front of this bakery.
You can use them.

Alice's Bakery

Open: 9 a.m. ~ 5 p.m.
Closed: Tuesdays
This bakery is famous for their curry breads.

Taku : Excuse me. Could you tell me the way to Tom's Bakery ? I don't know where I am on this flyer. I got off the bus at the wrong bus stop.

Woman : Sure. We are here on this street. We can see this cafe in front of us. First, go straight along this street. You will see a bookstore. Next, turn left at the second corner. Then, you will find Tom's Bakery on your (あ).

Taku : Thank you. It's a popular bakery, isn't it ?

Woman : That's (い). A lot of people like this bakery.

Taku : Good. I want to go there to buy their special sandwiches.

Woman : Oh, you can't buy them today. Look at the flyer. Today is (う). You should go to the bakery tomorrow if you want to buy them.

Taku : Oh, no. Then, I'll go to another bakery today.

Woman : How about my favorite bakery ? They sell delicious breads with local fruits. I want you to try them.

Taku : That sounds nice. Where is (2) that bakery ?

Woman : It's next to the convenience store on the flyer.

Taku : I see. Thank you for your help.

[注] bakery パン屋 closed 閉じた、休業の bus stop バス停 in front of ~ ~のすぐ前に

- (1) (あ)、(い) に共通して入る同じつりの英語 1 語を書きなさい。
- (2) (う) に入れるのに最も適当な曜日を英語 1 語で書きなさい。
- (3) 下線部 (2) が指すものとして最も適当なのは、ア～ウのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア Tom's Bakery イ Judy's Bakery ウ Alice's Bakery
- (4) チラシと会話からわかる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア Tom's Bakery is open from eight a.m. to four p.m. on Thursdays.
- イ Apple pies at Alice's Bakery are famous.
- ウ Taku told the woman how to get to the station.
- エ The woman recommended the breads of her favorite bakery.

Smith 先生 (Ms. Smith) が英語の授業でスピーチをしました。次の英文は、そのスピーチです。(1)～(6)に答えなさい。

I visited the castle in our city last week. I was happy to see a castle in Japan. It was one of my dreams. At the same time, I was surprised. Stones of different shapes and sizes were used for its stone wall. Look at ^(a) this photo. In it, I'm standing by the stone wall.

While I was looking at the stone wall, a man started to talk to me. "Hello. I'm Aoki, a volunteer guide. You look interested in the stone wall." I said, "Oh, you speak English. Yes, I'm interested in it. May I ask you a question? ^(b)" He answered, "About 400 years ago." Then, I had another question. How did people build the stone wall in those days?

I asked Mr. Aoki, "Could you tell me more about the stone wall?" Then, he told me ^(c) this story. When craftsmen built the stone wall in those days, they used stones of natural shapes and sizes. Some stones were round, some stones were big, and other stones were small. The craftsmen had to come up with a good combination of these different stones. It was difficult for them to do so, and they needed a lot of experience. In this way, the stone wall was built because of the craftsmen's skills and effort.

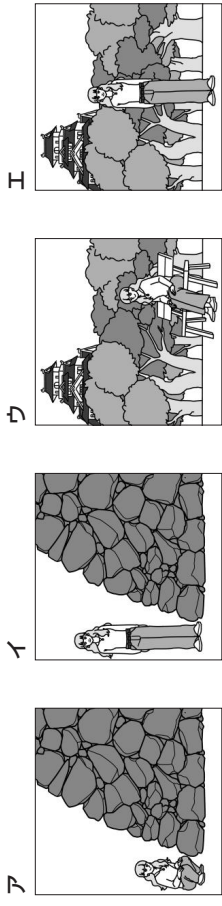
Mr. Aoki said, "This stone wall is very old, so you may think that this way of building the stone wall is not used today. ^(d) However, there are still some experts who can build stone walls in the same way. ^(e) Though they don't have a written plan, they have an important rule: *Listen to the voice of the stones.* I want to explain its meaning because it may be hard for you to understand. All stones are different and have good points. The experts' job is to find the good points and to give a different role to each stone. To do so, the experts need to look at the stones carefully. ^(f)"

When I listened to Mr. Aoki, I thought about the relationships between people. I said to myself, "Different people have different good points. We have our own roles and can help each other." I was glad to meet Mr. Aoki because he helped me come up with ^(g) this idea.

When you visit a castle next time, why don't you look at its stone wall carefully? You may look at the stone wall in a new way.

[注] at the same time 同時に stone 石 stone wall 石垣
guide ガイド、案内人 in those days その当時
craftsmen craftsman (職人) の複数形 round 丸い
combination 組み合わせ expert 熟練者 plan 設計図
role 役割 relationship 関係 say to myself ひとりごとを言う

(1) 下線部 (a) の写真として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



(2) ^(b) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア How tall is this stone wall?
イ Why did you become a volunteer guide?
ウ How many people have visited this castle?
エ When was this stone wall built?

(3) 下線部 (c) について、同じ段落中で説明されている内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア Stones of natural shapes and sizes were not used for building the stone wall.
イ It was not easy for the craftsmen to come up with a good combination of the stones.
ウ A lot of experience was not necessary for the craftsmen.
エ The craftsmen built the stone wall without their skills and effort.

(4) 次の英文を入れるのに最も適当なのは、本文中の ^(d) ～ ^(f) のうちではどれですか。一つ答えなさい。

This is the meaning of the rule.

(5) 下線部 (e) の具体的内容を説明する次の文の ^(e) に適当な日本語を入れなさい。

いろいろな人がいて、違う良さがある。みんなに自分自身の役割があり、^(e) ことができるという考え。

(6) 本文の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

- ア One of Ms. Smith's dreams was to see a castle in Japan.
イ Mr. Aoki thought that Ms. Smith was interested in the stone wall.
ウ When the volunteer guide talked with Ms. Smith, he did not use English.
エ The experts have a written plan and important rules.
オ Ms. Smith got the idea about the relationships between people by listening to Mr. Aoki.

1 聞き取り検査

問題A 次の英文が1回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

- (1) We are going to have a dinner party on November twentieth.
- (2) It's too hot today. I want to drink a cold glass of tea with lemon.
- (3) I'll cook curry and rice today. I have enough potatoes at home, so I need to buy one carrot and two onions.

問題B 次の会話が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

- (1) A : Look. This blue T-shirt is cool. I want to buy it. Nancy, what do you think ?
B : The color is nice. How much is it ?
A : (チャイム)
- (2) A : What subject do you like in school ?
B : I like science. How about you ?
A : (チャイム)

問題C 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

We are going to visit Green Park next Thursday. Please come to the school gym at eight thirty. The bus is going to leave the school at eight fifty, and we will arrive at Green Park at ten fifteen. First, we are going to cook lunch outside. I was worried about the weather, but it will be sunny. In the afternoon, you can do one activity. There are three activities, but you have to choose one from three activities. Now, I'll tell you about the activities. You can watch birds, go fishing, or ride a bike. Which do you want to do ?

一般入学者選抜のための 学力検査の概要

一般入学者選抜のための学力検査の概要

第1 学力検査の結果の概要（全国募集を含む）

第1表 県立全日制学科別受検状況（完全受検者）

普通科 1	普通科 理数科 2	普通科 国際系 3	その他 普通系 4	体育科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	その他 5	総 学 科	合 計
3,978	532	250	30	0	83	392	478	74	14	7	8	2	50	5,898

（注） 1は、岡山一宮高校、西大寺高校及び玉島高校の普通科を除く。
 2は、岡山一宮高校及び玉島高校の普通科と理数科のくくり募集。
 3は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。
 4は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
 5は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

第2表 教科別最高、最低、平均点（100点法換算）

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
最 高 点	97	97	97	100	100
最 低 点	0	3	0	0	0
平 均 点	64.6	55.4	56.2	63.3	54.6

（参 考）

	年 度	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
最近 5 年間 の 平均 点	令 6	64.0	56.6	53.2	62.5	47.1
	5	68.4	62.9	63.6	59.6	66.3
	4	54.9	59.4	59.7	62.0	51.4
	3	59.7	58.3	60.3	50.7	50.5
	2	56.2	58.8	56.6	59.6	51.2

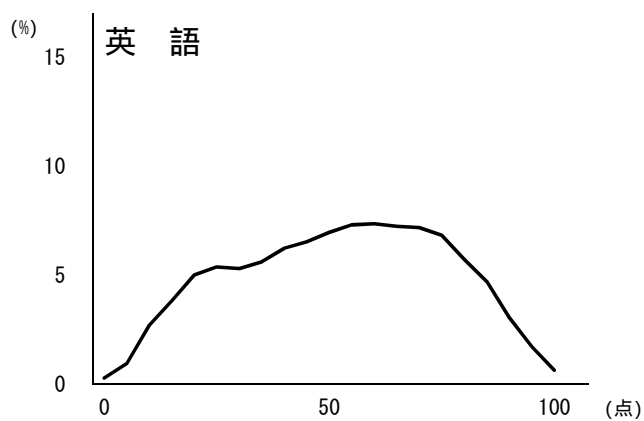
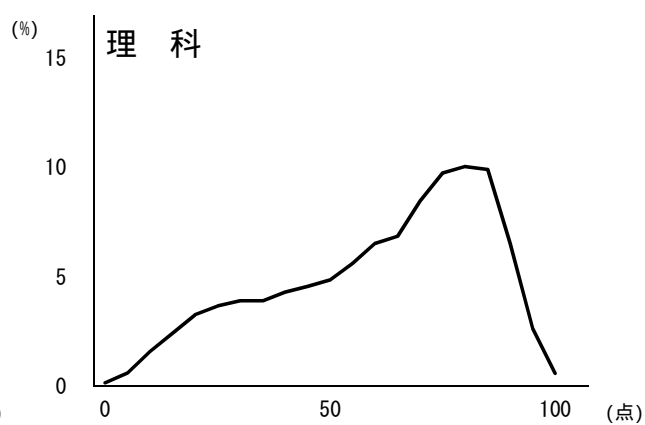
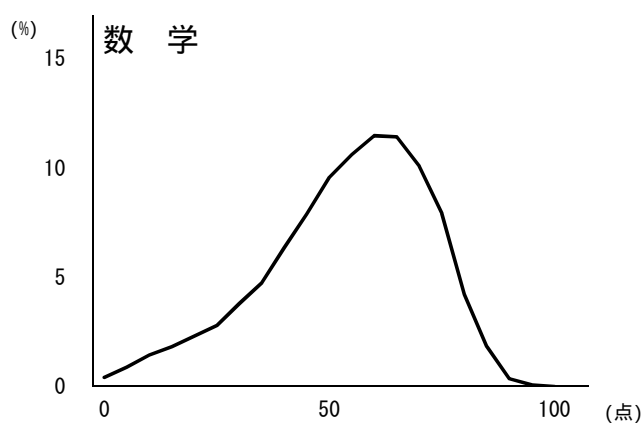
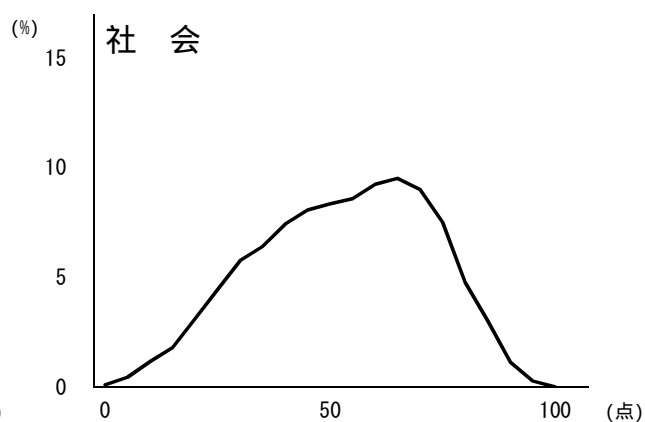
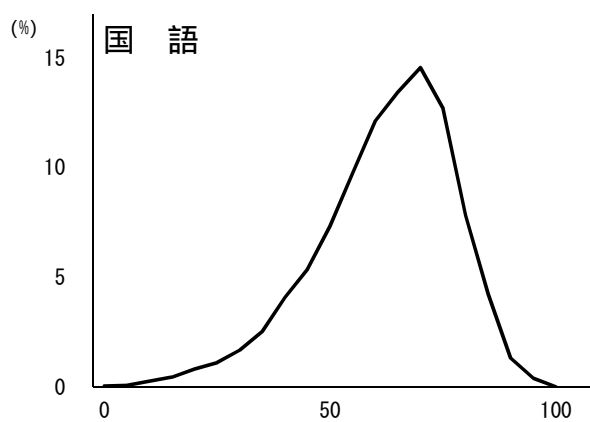
（注）学校による採点基準の違いは考慮していない。（第3表及び教科別素点分布曲線についても同様である。）

第3表 教科別素点分布一覽（100点法換算）

段階（点） 教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
97.6 ~ 100	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
92.6 ~ 97.5	0.8%	0.5%	0.1%	4.7%	2.8%
87.6 ~ 92.5	1.8%	1.7%	0.6%	8.4%	3.3%
82.6 ~ 87.5	6.6%	4.3%	3.1%	11.4%	6.1%
77.6 ~ 82.5	9.0%	5.2%	5.4%	8.7%	5.3%
72.6 ~ 77.5	16.3%	9.8%	10.5%	10.8%	8.3%
67.6 ~ 72.5	12.8%	8.2%	9.7%	6.1%	6.0%
62.6 ~ 67.5	14.1%	10.8%	13.2%	7.6%	8.4%
57.6 ~ 62.5	10.2%	7.6%	9.8%	5.5%	6.3%
52.6 ~ 57.5	9.3%	9.5%	11.4%	5.8%	8.3%
47.6 ~ 52.5	5.3%	7.2%	7.7%	4.0%	5.6%
42.6 ~ 47.5	5.4%	9.0%	8.1%	5.2%	7.4%
37.6 ~ 42.5	2.8%	5.9%	4.7%	3.4%	5.0%
32.6 ~ 37.5	2.3%	6.9%	4.8%	4.4%	6.2%
27.6 ~ 32.5	1.1%	4.6%	2.8%	3.4%	4.4%
22.6 ~ 27.5	1.2%	4.3%	2.8%	3.9%	6.4%
17.6 ~ 22.5	0.5%	2.0%	1.8%	2.6%	3.6%
12.6 ~ 17.5	0.4%	1.6%	1.8%	2.3%	4.0%
7.6 ~ 12.5	0.1%	0.7%	1.0%	0.9%	1.4%
2.6 ~ 7.5	0.0%	0.2%	0.7%	0.3%	0.4%
0 ~ 2.5	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
計	100	100	100	100	100
平 均 点	64.6	55.4	56.2	63.3	54.6

令和7年度岡山県立高等学校一般入学者選抜学力検査

教科別素点分布曲線 (100点法換算)



第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、応答率及び問題

1 国語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 文学的な文章によって、漢字を書くことや読むこと、語句の知識などの基礎的事項、表現の特徴とその効果に関する理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- ② 『徒然草』について解説した文章によって、古典における基礎的事項の理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。
- ③ 説明的な文章によって、漢字を書くことや読むこと、文法に関する知識などの基礎的事項、文章全体と部分との関係に関する理解の程度をみる。また、筆者の主張を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- ④ 日本語の特徴と魅力についての話し合いと、そこで用いられた資料によって、話題や展開を捉えて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことに関する理解の程度をみる。また、条件に従って意見文を書くことによって、複数の資料から目的に応じて必要な情報を読み取り、適切に表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字の読みや書き、表現技法の知識など基礎的事項を問う設問は概ね正答率が高かったが、文法の知識を問う設問は正答率が3割未満にとどまった。古典の内容や、古典にあらわれたものの見方や感じ方について適切なものを選択する設問は正答率が高かった。話し合い活動において、発言の根拠となる資料の内容について適切に読み取る設問や、相手の発言の意図を適切に選択する設問でも正答率が高かった。文学的な文章において、登場人物の心情を読み取る設問は正答率が高かった。説明的な文章において、筆者の主張を適切にまとめる設問は正答率が低く、無答率も3割程度あった。また、文章の構成や特徴について選択する設問も正答率が5割程度にとどまった。段落相互の関係や、文章全体と部分の関係について注意しながら読み取り、文章の展開に即して内容を理解することに課題がみられた。

単語の文法的な役割や働きについて理解し、ことばを吟味するための指導の充実

〔大問3〕(2) 正答：イ オ 正答率：25.0%〕

分析 大問3(2)は、動詞の活用の種類を選択する問題である。イとエを選択する解答が多く、正答率は25%にとどまった。「みて」、「着て」、「考えて」と、いずれも動詞の後に「て」が続いており、活用の種類と活用形の区別がついていないために誤答を選択したと考えられる。

視点 単語の類別や活用の理解は文法の基礎であり、その後の学習で助詞や助動詞の働きについて理解し、文の微妙なニュアンスを捉えるために、ことばを吟味する習慣を身に付けさせたい。指導事項の一例に自立語と付属語の識別や活用の理解があるが、単なる暗記の指導にならないように注意し、「書くこと」や「読むこと」の指導とことばの文法的な働きについての指導とを関連付けたい。様々な文章を読んだり、自他の書いた文章を推敲したりする中で、助詞や助動詞の働き、意味を考える活動が考えられる。

③ 次の文章を読んで、(1)～(6)に答えなさい。

ここで、農林水産省が出した「水とみどりの『美の里』プラン21」をみてみよう。美の里プランでは、農村を含む農山漁村の美しさを次のように説明している。

(2) 「み」と活用の種類が同じものは、ア～オのうちではどれですか。すべて答えなさい。

ア イ ウ エ オ

同窓会に出席する日に着ていく服を買いおくと考えていたが、兄に借りることにした。

目的や意図に応じて、様々な資料を用いて、客観的に物事を捉えながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現する指導の充実

〔大問4〕(3) 正答：正答例参照 正答率：25.0%〕

分析 大問4(3)は、日本語の特徴とことばの使い方について、与えられた条件に従って、根拠となる資料の内容を踏まえて適切に表現する設問である。二文で書くことや、資料の内容を踏まえることなどの条件を満たしていない解答が多く、正答率は伸びなかった。

視点 日常の指導では、「書くこと」の活動において多様なテーマや条件を設定し、書き手の主観だけでなく、客観的に物事を捉えながら自分の考えを書く活動が考えられる。また、評価の視点を明らかにした上で、読み手からの助言を踏まえて自分の文章のよい点や改善点を見いだすような指導の工夫を図りたい。例えば、複数の資料を比較したり、文章の型を活用したりして書いたものを相互評価した上で推敲するといった活動が効果的である。

④ 四人の中学生が、日本語の特徴とその使い方について考える授業の中で、(省略)話し合いをしています。次の「話し合い」を読んで、(1)～(3)に答えなさい。
(話し合いの文章と資料は省略)

(3) 「そのことについて……考えてみようか」とありますが、日本語の特徴とことばの使い方について、あなたはどのように考えますか。【資料Ⅰ】の項目B、Cのどちらか一つを選び、あなたの考えを条件に従って八十文字以上百字以内で書きなさい。

条件

1 二文で書き、一文目に、B、Cどちらかの項目を取り上げて、それに関することばを使うことが、どのようなよきにつながると考えられるかを、【資料Ⅱ】を踏まえて書くこと。

2 二文目を「一方で」と書き出し、【資料Ⅲ】を踏まえて、選んだ項目に関することばの使い方として気をつける状況と、必要な配慮について具体的に書くこと。

【資料Ⅰ】

【資料Ⅱ】

【資料Ⅲ】

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)㉔	浴(びせられた)	1		○		84.0	0.0	8.0	8.0		
	(1)㉕	りんかく	1		○		96.5	0.0	3.0	0.5		
	(2)	イ	3	○			96.5	0.0	3.5	0.0		
	(3)	お花みたいに美しい人間	3		○		94.5	1.5	3.5	0.5		
	(4)	エ	3	○			77.0	0.0	23.0	0.0		
	(5)	誰でも好きになる才能で、人の話を聞き、笑っているだけで周りを明るくする	6			○	1.5	82.0	9.0	7.5		
	(6)	エ	3	○			73.5	0.0	26.0	0.5		
2	(1)	おおく	2		○		95.5	0.0	3.5	1.0		
	(2)	鬼となった女が上京した	3		○		71.5	1.0	12.5	15.0		
	(3)X	面白く脚色	2		○		93.0	2.5	2.0	2.5		
	(3)Y	そうそう珍しいことがあるはずがない	3		○		81.0	3.5	8.0	7.5		
	(4)	ウ	2	○			79.0	0.0	21.0	0.0		
	(5)	エ	2	○			81.0	0.0	19.0	0.0		
3	(1)㉔	複雑	2		○		80.5	9.0	10.0	0.5		
	(1)㉕	か(り込んだ)	1		○		89.5	0.0	10.0	0.5		
	(2)	イ オ	3	○			25.0	0.0	74.5	0.5		
	(3)	ア	3	○			77.0	0.0	23.0	0.0		
	(4)	ウ	2	○			64.0	0.0	35.5	0.5		
	(5)X	価値観や倫理観	3		○		63.5	5.0	23.0	8.5		
	(5)Y	環境をベースとした美しい風景と、経済のためにも人が良いと思う風景を両立させる	6			○	5.5	20.0	44.0	30.5		
	(6)	ウ	3	○			52.0	0.0	46.0	2.0		
4	(1)	イ	3	○			90.0	0.0	9.5	0.5		
	(2)	エ	2	○			76.0	0.0	23.0	1.0		
	(3)	Bの季節や気候を表す多様なことばを使うことは、自然に対する美的感性や豊かな情緒を養うよさにつながる。一方で、難しい季節のことばが分からない幼い子には、意味が通じるように説明を加える配慮が必要である。	8			○	25.0	48.5	20.0	6.5		

受 検 号	
(算用数字)	
志願校	

解 答 用 紙

※

注 意 字 数 が 指 定 さ れ て い る 設 問 で は、「」 や「。」 も 一 ま す 使 い な さ い。

1

(6)									
(5)									
(4)									
(3)									
(2)									
(1)	f								
(1)	d								

びせられた

2

(5)									
(4)									
(3)	Y								
(3)	X								
(2)									
(1)									

とじ

3

(6)									
(5)	Y								
(5)	X								
(4)									
(3)									
(2)									
(1)	e								
(1)	d								

り込んだ

4

(3)									
(2)									
(1)									

80

1 次の文章は、高齢者向け集合住宅「ふあんホーム天王町」で介護士として働く「山田花」が、入居者の「大久保八重」のために同僚の「篠田」や入居者の「菊池サチ」、「篠」たちと協力して、施設の食堂でランチ会を行う場面です。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。

花はもじもじしながら、八重のベッドに歩み寄る。

「あ、大久保さん。これ、大久保さんみたいなお花を見つけたんです。八重咲きのコスモス」

差し出したのは、白からピンクのグラデーションの、優しい色合いのコスモスだ。八重咲きのコスモスがあるというのを、花は「八里浜花の国」の直売所で、初めて知った。

ふつうのコスモスは花びらが八枚で、すっきりとした愛らしさだが、このコスモスは花びらの枚数が多くて、レースのようにふわふわしている。この鉢植えを見つけた時、「大久保さんだ」と思った。

みんなが愛さずにはられない、特別にきれいで、優しくて、華やかな人。

八重は、鉢植えを両手で抱いてくれた。

お腹にのせた花を、きらきらと光る瞳で見つめて――、なにが唇を動かしている。花が耳を近づけると、

「花ちゃん。ありがとう」

たしかに、そう言った。

花が顔を離すと、彼女はまさに八重のコスモスみたいに笑っている。

――「すみませんね、悪いですね」じゃなかった。「ありがとう」だった。

花は身を震わせた。

彼女の瞳はまっすぐに花を見つめている。他のだれでもない山田花に、その瞳でも、「ありがとう」と言ってくれている。

――私は今、どこにでもいる「花子さん」じゃなく、ふあんホームのスタッフの中の一人でもなく、大久保八重にとって、たった一人の「花ちゃん」として、彼女の前に立っている。

⑤ 花は自分を特別にすてきなモノにしてもらえた気がして、目の奥がじんとしびれる。(中略)

花はごくつと涙を飲み込み、唇の両端を持ち上げ、歯を見せ、眉を下げて、思い切り笑った。

うるんだ視界の向こうで、八重が笑う。みずすも莉子も、見守ってくれているみんなも、笑っている。

「花笑う」そのまんまね」

お弁当をつつく手を止めて、サチが言った。

「花……私が笑う？ ですか？」

「お花が咲くことを『花笑う』っていうのよ。それにあなた、少しは、『カイゴの花』らしくなってきたんじゃないかしら」

「ええっ、本当ですか？ だったらうれしいな。私、真剣に『介護の花』を目指そうと決めたところだったんです。最終的には、『介護』の代名詞になれるような、りっぱなプロを目指そうって」

人前でこんな大それた目標を口にするのは恥ずかしい。けれど、今、サチと八重がいる前で宣言したかったのだ。

しかし、言われたサチのほうは、ばかんとして目を瞬いた。

「……ちょっと、あなたが何を言ってるかわからないんだけど。もしかして、『カイゴの花』の『カイゴ』を、介護士の『介護』だと思ってる？」

「ちがうんですか？」

「理解の『解』と国語の『語』で、『解語の花』。人の言葉がわかる花。お花みたいに美しい人間って意味よ。私はね、あなたに、その『解語の花』を目指しなさい」って言ったの」

「えっとつまり……、私に『美人になれ』と……？」

⑥ 本気でよまどう花に、サチは「まー、察しの悪いこと。やっぱり『解語の花』なんてまだまだね」とあきれて、顔を弁当のほうへ戻してしまう。

すると向かいの席の篠が、からかうように笑った。

「サチさん、照れて途中で逃げなさんな。つまりさ、ここで専らしてる俺達の言葉を聞いてくれてわかってくれる。それでもって、そこに咲いてるだけで、気持ちをパツと明るくしてくれる。花ちゃんには、そんなお花みたいな存在になってほしい——ってことだろ？」

「……まあ、そうよ。『人の言葉がわかる、心のある花』を目指しなさい、ということ」

サチはぶつきたらばうに答えて、タコ飯を口に運ぶ。その頬が如くでタコと同じくらい赤く染まっている。篠はそんなサチに目を細めてから、花に首を向けた。

「花ちゃんは、もう充分に『解語の花』だと思うぜ？ だつて見てもらんよ。今日、この部屋一面が、こんなに華やかなお花畑じゃないか。みんな、花ちゃんのおかげで咲いたんだぜ」

花は、みんなで作った「花畑」をぐるりと見回した。

みんな、花を見つめてにこにこ笑っている。(中略)

いきなり舞台の真ん中に引っぱり出されて、スポットライトをアびせられた黒子の気分だ。

花は呆然とするばかりで、言葉が何も出てこない。

すると篠田が、ばんと肩を叩いてきた。

「私、山田さんのこと、『介護に向いてない』って言うんだけど。そんなことないのかもって、最近思ってたよ。山田さんって、すぐに人を好きになるでしょ？」

「う、うん。ホレっほいとが、人懐っこいとは言われる」

考えてみれば、サチや篠、ケアに入れば入るほど、入居者達には感情移入しまくり、いや、むしろ好きだ。「運う生き物かもしれない」と思った篠田にだつて、同じだ。

「それって才能なのかもよ。目指してみれば？ 菊池さんのおっしゃる、『解語の花』」

篠田に言われて、八重の優しい瞳と視線を交わし、^⑤花は胸のあたりをギョッとつかんだ。

天王町駅から徒歩三分。

駅前の飲食店街を抜け、小さな川を渡ってすぐの、四階建てマンション。ぴったり五十名の入居者の暮らしを、総勢二十名のスタッフで支える、ふあんホーム天王町。

ここが、花が“人生の花を咲かせる”場所。

見つかった。見つけられた。

八重みたいに、華やかな花じゃないかもしれない。それでも、この場所で交わされる言葉に耳を傾けて、ポツと心を明るくするような「花」を咲かせたい。

体の底から湧き上がってきたモノが、花の爪先、指先までをしびれるほど熱くする。ずっとふわふわしていた自分の輪郭^⑥が、一息に、きゅっと確かな線で定まったような気がする。

(出典 あさひゆき『介護の花子さん』)

(注) 久里浜花の国——「八重」が以前、家族と出かけた場所。「花」と「篠田」がランチ会のためにコスモスの鉢植えを買いに行った。

花子さん——「花」は施設以外の友人からは「花子」と呼ばれている。

みすず——「八重」の娘。

莉子——「八重」の孫。

黒子——歌舞伎などの舞台で演者の手助けをする人。転じて、目立たないように仕事をする人のこと。

(1) ——の部分④を漢字に直して楷書で書きなさい。また、——の部分④の漢字の読みを書きなさい。

(2) 「花は自分を……じんとしびれる」とありますが、このときの「花」の心情を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「八重」に今まで気を使っていたと気づき、自分がふあんホームの一員として認められていなかったことが悲しい。

イ 「八重」が遠慮よりも感謝の気持ちを伝えてくれたことで、自分は大切な存在だと認められたように感じてうれしい。

ウ 「八重」の唇の動きだけで感謝の気持ちを察することができ、自分自身の介護士としての成長を実感できて喜ばしい。

エ 「八重」に予想以上に喜んでもらえたが、自分は施設のスタッフの一人に過ぎないため、目立つことが恥ずかしい。

(3) 「本気でとまどう花」とありますが、このときの「花」がとまどった理由を説明した次の文の□□に入れるのに適当なことを、文章中から十一字で抜き出して書きなさい。

「花」は、「サチ」に「カイゴの花」の意味を説明され、□□のことだと言われたが、その比喩の意味を取り違えてしまい、どのような人のことが理解できなかったから。

(4) 「目を細めて」のここでの意味として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 冷たい態度を取る

イ 驚きあきれてしまう

ウ 見て見ぬふりをする

エ ほほえましく感じる

(5) 「花は胸のあたりをギョッとつかんだ」とありますが、このときの「花」の心情を説明した次の文の□□に入れるのに適当なことを、三十五字以内で書きなさい。

これからの自分自身のあり方として、□□という、自分の強みを生かした目指す介護士の姿を自覚し、新たな決意が芽生えている。

(6) この文章の表現の特徴について説明したものとして適当でないのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「優しい色合い」や「レースのようにふわふわ」と表現された八重咲きのコスモスは、「花」が思う「八重」の愛される人柄を象徴している。

イ 「私が笑う？ ですか？」と「？」を連続して使用する表現は、「花」が「サチ」の発言したことばの内容を疑問に思う様子を強調している。

ウ 「その頬が如てダコと同じくらい赤く染まっている」という表現は、「花」への期待を素直に表せない「サチ」の照れた様子を印象づけている。

エ 「ほんと肩を叩いてきた」という表現は、「稔」の発言に返答せず、呆然としたままの「花」の様子をとがめる「篠田」の心情を暗示している。

2

次の文章は、『徒然草』についての解説文です。これを読んで、(1)～(5)に答えなさい。

兼好の鋭い洞察力は当時も今も変わらずに人々が惑わされる噂にも向けられている。そのきっかけとなったと思われるのが、第五〇段に見られる、鬼となった女が上京したという応長年間の噂である。都の人々が右往左往するなか、兼好も鬼が出没したという場所に見物に出かけたが、結局誰ひとり見た者はいなかったという顛末である。

これにより兼好は噂はあてにならないと痛感し、巷間にはびこる嘘と噂のメカニズムに興味を強くした。以後、研鑽を重ね、『徒然草』でもその考察が何度か登場する。その成果といえるのが第七三段だろう。

「世に語り伝ふる事、まことはあいなきにや、^⑥おほくは皆虚言なり」

まずは世間の噂というものがほとんど嘘であるとの断言から書き起こす。この言葉は、世相の不安から多くの流言蜚語が飛び交った時代を生きた兼好が痛感したものだ。

次に、嘘とそれを作る側による嘘のプロセスと定着、そしてその対応方法までが展開されていく。『徒然草』によれば、嘘の発生は、年月、場所とも離れたところで面白く脚色したものがほとんどで、その話を書き記され真実になつてしまうと、嘘の正体を解き明かす。(中略)

こうして嘘を分析したうえで、だまされないための対処法を語る。

「ただ、常にある、珍しからぬ事のままだに心得たらん、よろづたがふべからず」

物事は、そうそう珍しいことがあるはずがないと心得ていればよいのだという。(中略)

第一九四段では、「達人の人を見る眼は、少しも誤るところあるべからず」と述べたうえで、嘘に対する人々の反応の類型を、達人の眼という視点から分析する。

嘘に対して人々は様々な反応を見せる。嘘にすぐだまされてしまう人、半信半疑な人、深く信じ込みすぎ、新しい嘘を加える人、無関心な人、嘘と見抜いても黙っている人、嘘のねらいを見抜いて協力する人などがある。

これらは嘘のなかにある無知・鈍感・虚栄心などの人々の心性が見え隠れしており、嘘という形を通して本当の人間の姿を映し出したものだ。洞察力のある人は、態度や表情からそれを見抜いてしまうと語る。^④この達人とは兼好のことかもしれない。

(出典 三木紀人『図説「無常」の世を生きぬく古典の知恵！ 方丈記と徒然草』)

(注) 応長年間——鎌倉時代後期。

顛末——物事のはじめから終わりまでの事情。

巷間にはびこる——世間に広がる。

研鑽——学問などを深く研究すること。

流言蜚語——世間で飛び交う根拠のない噂。

虚栄心——自分を実際以上に見せようとみえを張る心。

(1) ^①「おほく」の読みを、現代かなづかいを用いてひらがなで書きなさい。

(2) 「世に語り伝ふる事」とありますが、その具体例を、解答欄に合うように解説文から十一字で抜き出して書きなさい。

(3) 「嘘のプロセスと定着、そしてその対応方法」とありますが、このことについて説明した次の文の X 、 Y に入れるのに適当なことは、 X は五字、 Y は十七字で、それぞれ解説文から抜き出して書きなさい。
ある話題が X されて書き記されることで真実のように伝わってしまうので、世の中には Y ものだと考えておけばよい。

(4) ^④「この達人とは兼好のことかもしれない」とありますが、ここでは筆者が兼好のどのような点を「達人」と考えているのか説明したものととして、最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 噂の真相を確かめるため、実際の現場に出向いて検証し、噂を広げた人物を特定した点。
イ 当時のできごとを記録しつつ、人々の様子を考察し、未来の社会にも思いを巡らせた点。
ウ 様々な章段で嘘や噂を取り上げ、人々の行動や反応を説明し、人間の内面を見抜いた点。
エ 「達人の眼」について説明した上で、世間の噂話を利用し、言葉巧みに人の心性を操る点。

(5) 解説文を授業で学習した鈴子さんは、考えたことを次のようにノートにまとめました。 X 、 Y に入れることはの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

【鈴子さんのノートの一部】

私はこの解説文を読んで、『徒然草』から読み取れる人の様子やものの考え方は現代にも通じていると感じました。まず、兼好が自分の体験をきっかけに、世の中の X する姿勢は、現代でも大切なことです。また、解説文で紹介されていた第七三段を読むと、次のような記述がありました。

道々の物の上手のいみじき事など、かたくななる人のその道知らぬは、そぞろに神の如くに言ひても、道知れる人はさらに信も起さず。

〈現代語訳〉 その道その道の名人の非凡なことなどについて、教養がなく、その道に疎い者は、神を語ることのように言うが、有識者は、そんな話を信じようとしない。

この内容を読んで、様々な物事を正しく判断するためには、 Y ことが必要だと感じました。だから、他の章段も読んで、当時のできごとや人に対する兼好の考え方を参考にしながら、物事を見極める力を身につけたいです。

(三木紀人『徒然草(二)』を参考に作成)

ア X：心得を比較して検討 Y：頑固にならず人々と協力する イ X：情報を整理して分析 Y：頑固にならず人々と協力する
ウ X：心得を比較して検討 Y：幅広い教養を身につける エ X：情報を整理して分析 Y：幅広い教養を身につける

次の文章を読んで、(1)～(6)に答えなさい。

景観法において「美しい風景」はどのように定義されているだろうか。

法第二条「基本理念」の第二項には「良好な景観は地域の自然、歴史、文化等と人びとの生活、経済活動等との調和により形成されるもの」と記載がある。こう書くと、良好な景観が定義されているように思えるが、実際には、景観法では、各自治体が景観計画を策定するさいに、公聴会など住民の意見を聞きながら目指すべき景観を決めることとなっている。つまり、法で一律に良好な景観を決めるのではなく、各地域で決めるという仕組みになっているといえる。

法制定時の国交省へのインタビューでも「景観というような主観的な美しさをだれが決めるのか、そもそも決めることができるのか、どのようにしてそれを担保していくのかなど国の法律でやろうとするといくつも解決しなければならない課題があつたわけです」と説明されている。その解決策として、^④地域ごとに美しさを考えるという「手続き」のみを定めたという。

しかし、はたして景観（風景の美しさ）は、本当に主観的なものと言い切れるだろうか。あるいは、主観的なものだとして、地域ごとに合意で決めてよいものだろうか。ここで、農林水産省が出した「水とみどりの『美の里』プラン21」^⑤をみてみよう。美の里プランでは、農村を含む農山漁村の美しさを次のように説明している。

農山漁村においては、自然の造形を背景とし、気候風土に適した形で農林漁業を営む中で編み出されてきた「生きるための技」や、人びとの生活の「息遣い」が感じられるような、それぞれの地域に固有の個性ある美しい風景が作られてきました。

自然の造形をベースに、気候風土に適した農業のかたちが生み出す風景を「美しい風景」とであると定義していることがわかる。これが主観ではないことは明らかである。それぞれの土地にはそれぞれの気候風土があり、それに即した農業の姿が美しいと言っているのである。

景観法で定められた手続きによる美しさの決め方は、人びと、しかも「現在、その地域」という限定された人びとの合意による美しさである。一方で、美の里プランで定義されている美しさは、もともと存在する環境がそのベースにある。つまり、景観法と美の里プランでは、人の判断にゆだねるのか、環境をベースにするのかという異なる評価軸を採用していると言える。議論を進めるうえで、^⑥前者の評価軸を「人本位」、後者の評価軸を「環境本位」と呼んでおこう。

美の里プランでは、気候風土に即した農業がつくる風景を美しいと定義しており、環境本位の評価軸である。一般的に、かつての農村では地域の気候風土に合うような生業を行っており、伝統的な農村風景は環境本位の評価軸で「美しい」とされる風景である。また、おそらく多くの人は実際にそうした風景を美しいと思うのではないだろうか。つまり、伝統的な農村風景は「人本位」の評価軸でも美しいとされていると言える。（中略）

持続可能な環境を目指すという観点からは、環境本位で評価される風景を重視するのが良いと考えられる。しかし一方で、農村の経済を活性化させるには観光という要素も重要で、これは人びとに良いと思ってもらえなければ成り立たない。どちらを優先すべきか？ と考えると難しいのだが、

第三の方法がある。それは、人本位の評価軸を環境本位の評価軸に近づけるという方法である。

どんな風景を良いと思うかを変えられるの？ とする人もいよう。たしかに、「これは環境に良い農業をしている風景なので、これを明日から良いと思ひましょう」と言われても戸惑うだろう。しかし実際には、風景の評価はもう少しフクザツである。景観工学では、何を良い風景とみるかには、個人の主観を超えたいくつかの理由があるとされている。

たとえば、身の安全を確保できるような場所は好意的な評価がなされるなど、生物としての生存本能に起因した評価がなされるとされる。あるいは、人間は馬などとは違って目が顔の正面についているため見える視野はほぼ共通しており、そこに収まりの良い風景が心地よいとされるなど、人間の体の構造からくる評価もある。

それ以外には、社会の価値観や倫理観がつくる美意識もあるとされている。樹木を刈り込んだ西洋の庭園と、自然を写したような日本の庭園とで、美意識が違ふというようなことは、わかりやすい例である。（中略）

そのほか環境意識に起因する例として、戦後の復興期には山を切り開きほとんど建設工事が進んでいく様子や、工場の煙突から煙がモクモクと出る様子が活気があつて良いとされていた。今はそういう風景を見ても頭の片隅に環境への心配がちらついてしまうだろう。

生存本能や体の構造からくる評価は不変であるが、社会の価値観や倫理観からくる評価は、その時代には普遍的なように思えて、案外簡単に変わっていくのだ。

農村風景は主に自然物から成り立っているので、環境への意識が左右する部分は多い。そして現在、人びとや社会の共通認識としての環境意識は急速に変化している。そうであるならば、風景に対する人本位の評価軸を環境本位の評価軸に近づけることは可能なのではないだろうか。

それはすなわち、現在私たちが思う「美しい風景」をいかにしてつくるかという発想ではなく、^①持続可能な環境にとつての「環境本位」での「美しい風景」を目標にして、それが「人本位」でも美しいとされる社会をつくる——という考え方である。そもそも、美の里プランで書かれている風景は環境本位と人本位、それぞれの評価での「美しい風景」が一致しているのだから、それは必ずしも無謀なものでもないだろう。

（出典 真田純子『風景をつくることは 都市と農村の真に幸せな関係とは』）

(注) 景観法——良好な景観の形成を目的とした、国土交通省（国交省）が管轄する法律。

公聴会——関係者や専門知識をもつ人などから意見を聞くために開くもの。

水とみどりの「美の里」プラン21——個性ある魅力的な農山漁村づくりの方向性を示したもの。

(1) ——の部分④を漢字に直して楷書で書きなさい。また、——の部分⑥の漢字の読みを書きなさい。

(2) 「^①み」と活用の種類が同じものは、ア～オのうちではどれですか。すべて答えなさい。

同窓会に出席する日に着ていく服を買おうかと考えていたが、兄に借りることにした。

- (3) ④「地域ごとに美しさを考えるという『手続き』のみを定めた」とありますが、その理由を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 景観法では、景観を主観的な美しさと捉えており、目指すべき景観を法で一律に決めるのは難しいと考えているため。
- イ 景観法では、景観計画の策定を求めているが、良好な景観を地域ごとに決めることは不可能であると考えているため。
- ウ 景観法では、各自治体の良好な景観を定義しているが、最終的には国が良好な景観を保証するべきと考えているため。
- エ 景観法では、景観の形成に各地域が協力することを求めている、景観について主観的な判断は不要と考えているため。

- (4) ④「前者の評価軸……呼んでおこう」とありますが、筆者が考える二つの評価軸について次の表のように整理したとき、**Ⅰ**、**Ⅳ**に入れることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

	関係する法律など	美しさのベース
人本位	Ⅰ	Ⅱ
環境本位	Ⅲ	Ⅳ

- ア Ⅰ：景観法 Ⅳ：現在、その地域に住む人びとの合意
- イ Ⅰ：美の里プラン Ⅳ：自然の造形や気候風土
- ウ Ⅰ：景観法 Ⅳ：自然の造形や気候風土
- エ Ⅰ：美の里プラン Ⅳ：現在、その地域に住む人びとの合意

- (5) ④「持続可能な……社会をつくる」とありますが、筆者がそのように考える理由を説明した次の文の**Ⅹ**、**Ⅺ**に入れるのに適当なことばを、**Ⅹ**は文章中から七字で抜き出して書き、**Ⅺ**は四十字以内で書きなさい。

筆者は、「美しい風景」を決める人本位の評価軸の中には、時代や社会における**Ⅹ**による評価のように変化するものもあるから、人本位の評価軸を環境本位の評価軸に近づけることで、**Ⅺ**ことができると考えているため。

- (6) この文章の構成と内容の特徴について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 国交省へのインタビューや農林水産省のプランの内容を引用することで、「美しい風景」を維持することが難しい根拠としている。
- イ 「美しい風景」について確認し、国が示す定義を否定する理由を論の中で展開することで、筆者の主張に正当性をもたせている。
- ウ 景観工学における風景の考え方や具体例を紹介することで、どのような風景を「美しい風景」とするかの判断材料を示している。
- エ 読者が「美しい風景」を想像しやすいように都市と農村の様子を対立的に書くことで、我々の生活を変える必要性を訴えている。

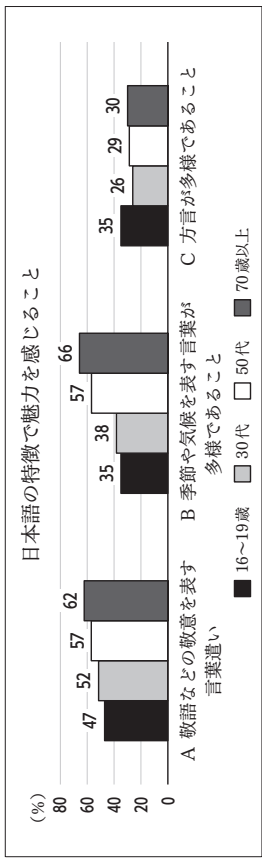
- 4 四人の中学生が、日本語の特徴とその使い方について考える授業の中で、**【資料Ⅰ】**と**【資料Ⅲ】**を見ながら話し合いをしています。次の**【話し合い】**を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

【話し合い】

実香	【資料Ⅰ】 で、何か気になるものはあるかな。
修治	僕は、 【資料Ⅰ】 に示された年齢層別の割合の違いに着目してみたよ。④がわかるね。これは僕の考えだけど、昔に比べて現代は、手紙を書く機会が少ないよね。そのため、比較的若い世代の人は時候の挨拶になじみが薄くなっていることが、上の年齢層より割合が低い理由の一つだと思うよ。
京子	たしかに、私もSNSなどで短いやりとりをすることがほとんどで、その時に時候の挨拶は入れないね。私は、手紙の書き方の授業で春の時候の挨拶に関することは調べて、「春陽」や「花冷え」などのことばを知ったよ。「花冷え」は、桜が咲く頃に一時的に寒くなることらしいよ。
実香	普段の生活ではなじみがないことばも、意味を知ると魅力が深まるね。勇紀さんは、何かあるかな。
勇紀	京子さんが言った、春に関することばを聞いて、沖縄県に住む祖母と話した時のことを思い出したよ。沖縄県では、春分から梅雨入り前までの時季を、「自然が潤い初める」という意味で「うりずん」と言うらしいんだ。これは 【資料Ⅰ】 のCの項目とも関連していると思うけど、どうかな。
修治	そうだね。地域によって気候や生活に様々な違いがあるから、それに合わせて、方言にもいろいろなことばが存在するんだね。 【資料Ⅱ】 と関連させると、いろいろなことばを使う意味やよさが見えてくるね。
京子	例えば、 【資料Ⅰ】 のAの項目は、 【資料Ⅱ】 の「相手の人格や考え方を尊重する態度」をことばで表すことに関連しているね。
勇紀	たしかに、いろいろなことばを使えるようになるのはいいことだね。また、 【資料Ⅲ】 では「言葉の使い方について気を使っていること」が挙げられているよ。つまり、日本語の特徴は様々な魅力や役割がある一方で、コミュニケーションを取る際には配慮も必要ということだね。
実香	では、次はそのことについて、 【資料Ⅰ】 のBやCの項目で考えてみようか。

- (1) **【資料Ⅰ】**から読み取れるものとして、④に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア Aの項目に魅力を感じる人は、すべての年齢層で半分を超えていて、70歳以上では62%になること
- イ Bの項目に魅力を感じる人は、50代以上は半分を超えるけれど、30代以下では40%未満であること
- ウ Bの項目に魅力を感じると思った16～19歳の人は、Cの項目にも同様に魅力を感じると答えたこと
- エ AとCすべての項目で、年齢層が高くなるほど、魅力を感じると答えた割合が高くなっていること

【資料Ⅰ】



(文化庁『令和5年度 国語に関する世論調査』を参考に作成)

【資料Ⅱ】

国語の果たす役割と国語の重要性	
1	個人にとつての国語 美しい日本語の表現やリズム、人々の深い情感、自然への繊細な感受性などに触れ、美的感性や豊かな情緒を養うことができる。 コミュニケーションの基本は、相手の人格や考え方を尊重する態度と言葉による伝え合いである。
2	社会全体にとつての国語 伝統的な文化を理解・継承し、新しい文化を創造・発展させるための基盤であり、社会生活を成立させ、発展させる手段として重要である。
3	社会変化への対応と国語 価値観の多様化、国際化、情報化などの、社会変化に対応するために大切である。

(文化庁 平成 16 年 2 月『これからの時代に求められる国語力について (答申)』を参考に作成)

【資料Ⅲ】

言葉の使い方について気を使っていること
・改まった場で、ふさわしい言葉遣いをする
・年齢が離れた人に意味が通じるように発言する
・日本語を母語としない人と適切に意思疎通を図る

(文化庁『令和 4 年度 国語に関する世論調査』を参考に作成)

- (2) ⑥ 「これは……どうかな」という勇紀さんの発言の意図として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア これまでの話し合いの中で出てきたことばの具体例は、季節や気候を表すことばであると確認している。
- イ 季節や気候を表すことばによって、方言が多様化するという根拠を資料から引用し、意見を求めている。
- ウ 沖縄県で、季節や気候を表すことばの方言として「うりずん」を使うことが信じられず、質問している。
- エ 季節や気候を表すことばの多様さは、方言の多様さにつながるかもしれないと考え、同意を求めている。

- (3) ⑥ 「そのことについて……考えてみようか」とありますが、日本語の特徴とことばの使い方について、あなたはどのように考えますか。【資料Ⅰ】の項目 B、C のどちらか一つを選び、あなたの考えを条件に従って八十字以上百字以内で書きなさい。

条件

- 1 二文で書き、一文目に、B、C どちらかの項目を取り上げて、それに関することばを使うことが、どのようなよさにつながると考えられるかを【資料Ⅱ】を踏まえて書くこと。
- 2 一文目を「二方で、」と書き出し、【資料Ⅲ】を踏まえて、選んだ項目に関することばの使い方として気をつける状況と、必要な配慮について具体的に書くこと。

2 社 会

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係などに関する基礎的・基本的な知識や技能の習得の程度をみるとともに、社会的事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察する力やその結果を表現する力をみるために、地理・歴史・公民の各分野にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 我が国の近世までの各時代で権力を持った一族とその背景を調べる学習場面を通して、古代から近世までの政治や文化などについて知識の習得の程度をみるとともに、歴史に関わる事象の意義や事象相互の関連について、資料をもとに考察する力をみる。
- ② 世界地図を素材として、地図の特色や宗教などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、気候と地形の関連について、図をもとに考察する力をみる。
- ③ 我が国の近代の特色を考察する学習場面を通して、主に近現代の我が国の政治や文化などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、歴史に関わる事象の意義や事象相互の関連、推移について、資料をもとに考察する力をみる。
- ④ 地形図に関する学習場面を通して、地形図の読み取りや我が国の自然環境と産業の関連などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、自然環境と発電について考察する力をみる。
- ⑤ 「いつまでも暮らしやすい私たちのまち」をテーマとした探究的な学習場面を通して、我が国の直接民主制や権利などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、地方自治や選挙制度の課題について、資料をもとに考察する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

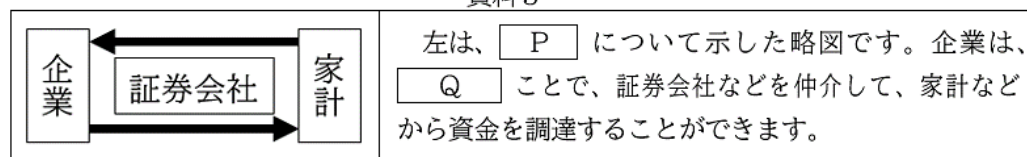
地理、歴史、公民の各分野において、基礎的・基本的な知識の習得をみる設問では、正答率が高かった。一方で、地形図の活用や統計資料の読み取りに関する設問、社会的事象の相互の関連や本質に関する理解の程度をみる設問の正答率が低かった。また、古代から近世の社会の様子や文化の特色に関する設問の正答率は高かったが、近代の社会の様子や文化の特色に関する設問の正答率は伸びなかった。

社会的事象の本質の理解と基本的な概念の獲得

〔大問5〕(4) 正答（Qは正答例）：P ア Q 株式を発行する 正答率：18.0%〕

- ① 下線部(d)に関して、資料3は、日本の企業や家計が資金を融通するしくみを示した略図と補足文です。P に当てはまることばとして適当なのは、アとイのどちらですか。一つ答えなさい。また、Q に当てはまる適当な内容を書きなさい。

資料3



ア 直接金融 イ 間接金融

分析 大問5(4) は、金融機関が仲介する間接金融と、株式などを発行して直接資金を集める直接金融の違いについて理解の程度をみる設問である。Qには、直接金融に関する記述をしているものの、Pをイと選択する誤答が見られた。

視点 地理、歴史、公民の各分野において、社会的事象を単に言葉の知識として教えるのではなく、事象の本質を理解させ、基本的な概念を獲得させることが必要である。例えば、金融の仕組みにおいては、企業の生産活動や金融機関の働きを模擬的に体験する活動が有効である。

社会的事象に関する適切かつ必要な資料や情報を調べまとめる技能の育成

〔大問5〕(5)② 正答：イ ウ 正答率：28.5%〕

- ② 太郎さんは話し合いの後に、下線部(f)について、日本の選挙制度の課題である一票の格差に関する、A市とB市の選挙区の資料を収集しました。A市とB市の選挙区における一票の格差を表すために必要となる資料として適当なのは、ア～オのうちではどれですか。二つ答えなさい。

ア 各選挙区の面積 イ 各選挙区の当選議員数 ウ 各選挙区の有権者数
エ 各選挙区の政党別得票率 オ 各選挙区の投票率

分析 大問5(5) は、一票の格差を表すために必要な資料を選択する設問である。選挙制度や一票の格差に関する知識と、そうした社会的事象に関する適切な資料や情報について考察する力が求められる。正答率は28.5%にとどまり、一票の格差という社会的事象の本質にある「一票の価値」の意義の理解が不十分であったと考えられる。

視点 社会的事象に関する資料や情報を調べまとめる技能を育成するため、コンピュータや情報通信ネットワーク等を活用し、社会的事象を表す様々な資料等を収集する活動を充実させることが大切である。その際、適切かつ必要な資料と、そうでないものを選別する合理的な基準を見いだす力を活動の中で養う工夫が重要である。例えば、大問3(4) で出題された、原敬内閣について、「原敬内閣が純粋な政党内閣となったことは、どのような意義があったのか」という課題（問い）を基に、「純粋な政党内閣とは」、「これまでの内閣とはどう異なるのか」等の問いを生徒から引き出し、「純粋な政党内閣であることを表すための資料を調べまとめよう」という活動が考えられる。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)	イ	2	○			81.0	0.0	19.0	0.0		
	(2)	生まれた子を天皇にする	2			○	37.0	8.5	52.0	2.5		
	(3)	エ	2	○			62.5	0.0	37.5	0.0		
	(4)	書院	2			○	84.5	0.0	14.0	1.5		
	(5)①	貨幣が輸入された	2			○	34.5	7.0	51.5	7.0		
	(5)②	ア	2	○			73.0	0.0	27.0	0.0		
2	(1)①	エ	2	○			56.5	0.0	43.5	0.0		
	(1)②	ウ	2	○			67.0	0.0	33.0	0.0		
	(2)①	ア	2	○			45.0	0.0	55.0	0.0		
	(2)②(あ)	ウ	2	○			79.0	0.0	21.0	0.0		
	(2)②(い)	山脈に、湿った風がぶつかって雨を降らせる	3			○	20.0	33.0	39.0	8.0		
3	(1)①	地券	2			○	59.0	1.5	27.0	12.5		
	(1)②	不安定であり、課税基準を地価にすることで、安定した財政収入を得るため。	3			○	23.0	26.5	47.5	3.0		
	(2)	イ	2	○			45.0	0.0	55.0	0.0		
	(3)	エ	2	○			77.0	0.0	23.0	0.0		
	(4)①	[A] ア [C] イ	3	○			38.0	8.0	54.0	0.0		
	(4)②	エ	2	○			65.5	0.0	34.5	0.0		
	(5)	安全保障理事会	2			○	45.0	0.0	48.5	6.5		
4	(1)	イ	2	○			92.0	0.0	8.0	0.0		
	(2)	ウ	2	○			7.5	0.0	92.5	0.0		
	(3)①	リアス海岸	2			○	94.5	0.0	3.5	2.0		
	(3)②	オ	3	○			38.0	0.0	61.5	0.5		
	(3)③	ア	2	○			60.5	0.0	39.0	0.5		
	(4)	自然環境の状況に左右される	2			○	76.5	5.0	17.0	1.5		
5	(1)	NPO	2			○	60.0	0.0	37.5	2.5		
	(2)	エ	2	○			66.0	0.0	33.5	0.5		
	(3)	イ	2	○			92.0	0.0	7.5	0.5		
	(4)①	[P] ア [Q] 株式を発行する	2			○	18.0	6.5	74.0	1.5		
	(4)②	地方交付税交付金	2			○	78.0	1.0	20.0	1.0		
	(4)③	地方税などの財政収入の格差を小さくする	3			○	52.5	6.5	31.5	9.5		
	(5)①	エ	3	○			12.5	0.0	86.0	1.5		
	(5)②	イ ウ	2	○			28.5	0.0	71.0	0.5		

受 検 番 号	志 願 校
(算用数字)	

解 答 用 紙

※

1		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	造
		(5)①	
		(5)②	

4		(1)	
		(2)	
		(3)①	
		(3)②	
		(3)③	
		(4)	

2		(1)①	
		(1)②	
		(2)①	
		(2)② (あ)	
		(2)② (い)	

5		(1)	
		(2)	
		(3)	
		P	
		(4)①	
		(4)②	
		(4)③	
		(5)①	
		(5)②	

3		(1)①	
		(1)②	資料 2 のように年貢の量は、
		(2)	
		(3)	
		(4)①	A C
		(4)②	
		(5)	

1 太郎さんは、我が国の近世までの各時代で権力を持った一族とその背景について調べ、表1を作成しました。(1)～(5)に答えなさい。

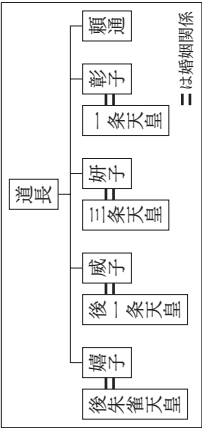
表1		
時代 区分	権力を 持った一族	権力を持ったおもな背景
古代	蘇我氏	渡来人の技術などを活用したり、対立する X 氏をほろぼしたりし、勢力を伸ばした。
	藤原氏	ほかの貴族を退けるとともに、天皇が幼少のあいだは政治を代行する摂政、天皇が成人後は天皇を補佐する Y という官職に続いた。
中世	源氏	(a) 平氏や、(b) 奥州藤原氏をほろぼし、源頼朝は征夷大將軍に任じられた。
	足利氏	(c) 足利尊氏が北朝から征夷大將軍に任じられたが、南北朝の動乱が続き、その後、足利義満は南北朝を統一させた。
近世	徳川氏	征夷大將軍に任じられた徳川家康は、幕府は、大名や天皇などを統制する法令を定めるとともに、(d) 貨幣を発行した。

(1) X 、 Y に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア X : 山名 Y : 関白 X : 物部 Y : 関白
- ウ X : 山名 Y : 管領 X : 物部 Y : 管領

(2) 次は、藤原氏に関する資料1を収集した太郎さんが、権力を持った背景について、下線部(a)との共通点をまとめた文章です。 に当てはまる適当な内容を書きなさい。

資料1 藤原氏の系図の一部



```
graph TD
    道長 --- 藤原 後朱雀天皇
    道長 --- 藤原 後白河天皇
    道長 --- 藤原 白河天皇
    道長 --- 藤原 堀河天皇
    道長 --- 藤原 鳥羽天皇
    道長 --- 藤原 崇徳天皇
    道長 --- 藤原 白河天皇
    道長 --- 藤原 堀河天皇
    道長 --- 藤原 鳥羽天皇
    道長 --- 藤原 崇徳天皇
```

藤原氏は、天皇家と資料1のような関係をづくり、 ことで摂政などの官職につき、権力を強め朝廷の政治の実権を握った。
平清盛が、安徳天皇との関係を利用して、権力を強めて朝廷の政治の実権を握ったことは藤原氏と共通している。

(3) 下線部(b)が勢力を持ち始めた11世紀後半の、我が国の政治の様子に関して述べた文として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 持統天皇のとき、藤原京が造られた。
- イ 桓武天皇は国司に対する監督を厳しくした。
- ウ 聖武天皇のとき、国分寺が建てられた。
- エ 白河天皇は上皇になってからも政治を行い続けた。



(4) 下線部(c)に関して、資料2は、足利義政が京都に建てた銀閣がある寺の敷地内にある東求堂の一部です。床の間の設けられた、このような住宅の様式を何造といいますか。

(5) 太郎さんは、作成した表1を先生に見てもらいました。①、②に答えなさい。

① 次は、下線部(d)の記述に対して、「中世の貨幣について調べてはどうですか。」とアドバイスを受けた太郎さんが、我が国の中世と近世の貨幣についてまとめた文章です。

P に当てはまる適当な内容を書きなさい。

中世は、交流のあった国の P ことにより、我が国の定期市などでの売買で使用され、大量に流通した。一方、近世では、豊臣秀吉や江戸幕府が金山や銀山を直接支配し、貨幣発行権という経済的な力も持っていたことがわかった。

② 太郎さんは、「古代から中世にかけての変化を、文化の側面からもまとめてみてはどうですか。」とアドバイスを受けた後に、表2を作成しました。 Q に当てはまる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

表2	
時代 区分	我が国の各時代の文化について
古代	中国や朝鮮などの外国との交流が文化に強く影響を与えていた。
中世	貴族を中心とした伝統文化がありながらも、武士の気風が文化に影響を与えた。例えば、鎌倉時代の文化において、 Q ことがあげられる。
〈まとめ・気づき〉 表を作成して、貴族や天皇が主体の政治から、武家が主体の政治へ変化したことが改めて理解できた。また、その変化が文化に影響を与えていたことも、文化の側面から古代と中世の特徴をまとめたことで気づくことができた。	

- ア 禅宗が広まった イ 人形浄瑠璃が发展した
- ウ 国学が盛んになった エ 浮世草子がかかれた

2 次の図1は、面積が正しい地図であり、緯線は赤道から、経線は本初子午線からいずれも30度間隔です。(1)、(2)に答えなさい。

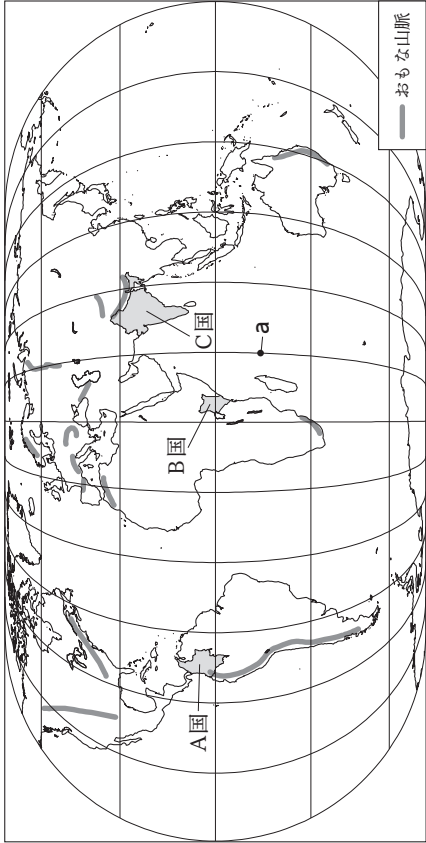


図1

- (1) 図1について、①、②に答えなさい。
- ① 図1中の点aを通る経線に沿って地球上を一周するとき、通過する経線の説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 大西洋とアフリカ州を通る。 イ 日本の排他的経済水域を通る。
ウ 南アメリカ大陸を通る。 エ ロッキー山脈を通る。
- ② 次の表は、図1中のA国とB国の農地面積を示しています。農地面積の割合と時差に関して述べた次のⅠとⅡの文について、内容の正誤を表したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- Ⅰ 国土面積に占める農地面積の割合は、B国よりA国の方が大きい。
Ⅱ B国の標準時は日本の標準時より、5時間以上遅い。
- ア Ⅰ、Ⅱのどちらも正しい。
イ Ⅰのみ正しい。
ウ Ⅱのみ正しい。
エ Ⅰ、Ⅱのどちらも誤っている。

表		農地面積 (千ha)
A国		4 883
B国		7 002

(注) 統計年次は2022年。
農地面積は耕地・樹園地の面積。
〔世界国勢図会2024/25〕から作成)

- (2) 図1中のC国について、①、②に答えなさい。
- ① C国で最も多くの人に信仰されている宗教に関して、最も適当なものを【説明文】と【資料】からそれぞれ選び、その組み合わせとして正しいのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

【説明文】

- Ⅰ カーストという身分制度による差別は、現在、憲法で禁じられている。
Ⅱ 聖地メッカへの祈りの方法や食事のしかたなど細かいきまりがある。

【資料】

P 街中にいる牛



Q 肌を見せない伝統的な服を着た女性



ア Ⅰ-P イ Ⅰ-Q ウ Ⅱ-P エ Ⅱ-Q

- ② 図2と図3は、C国を含むアジア州を中心とした地域を表した略地図に、C国の気候に影響を与える風の、1月と7月のいずれかの風向きを矢印で示したものです。C国の気候に関して述べた次の文章について、(あ)、(い)に答えなさい。なお、二つの略地図上の緯線と経線はいずれも20度間隔です。

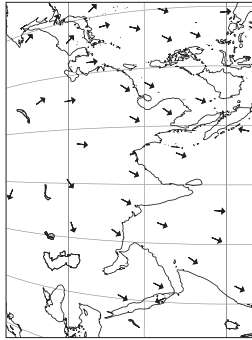


図2

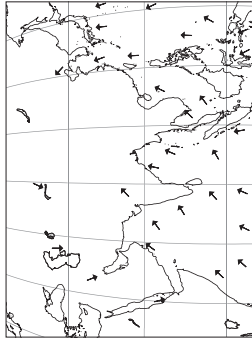


図3

C国の気候に大きく影響を与える風は、Xであり、7月の風向きを表しているのはYである。図1と、Yで示された風向きとを関連付けると、C国北部を中心とした地域における7月の気候は、C国の北側にあるZことで、降水量が多くなると考えられる。

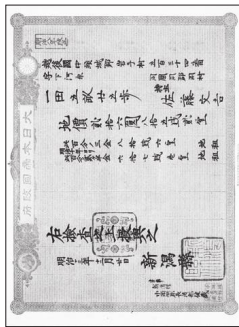
- (あ) X、Yに当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア X：季節風 Y：図2 イ X：偏西風 Y：図2
ウ X：季節風 Y：図3 エ X：偏西風 Y：図3
- (い) Zに当てはまる適当な内容を書きなさい。

3 良太さんは、我が国の近代の特色を考察するため、経済の側面から、時代の転換に関する我が国のできごとと、できごとによる国内外への影響や関連について、表1にまとめました。(1)～(5)に答えなさい。

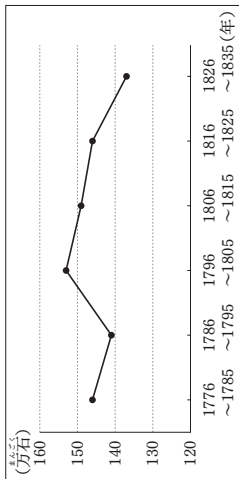
表1	
年代	時代の転換に関する我が国のできごと
1870	• 殖産興業が進められた。 • 地租改正が実施された。
1880	• 産業革命が進み、日清戦争後に官営のXが、福岡県に設立された。 • 第一次世界大戦中に、工業生産額が農業生産額を上回った。
1910	• 世界恐慌の影響により、深刻な不況となり、軍部の力が強まっていった。
1930	• イギリスやフランスなどによる自国経済回復を優先するYは、国際協調の体制をゆるがす一因となった。

(1) 下線部(a)に関する資料1と資料2について、①、②に答えなさい。

資料1



資料2 幕領から納められた年貢の量の推移



(注) 年貢の量は各期間の平均。
(「角川日本史辞典 第二版」から作成 一部改変)

① 下線部(a)に関して、資料1のような、土地の所有者に交付された証書を何といいますか。
② 資料2から読み取れることをふまえて、明治政府(新政府)による下線部(a)の目的を、解答欄の書き出しに続けて、「地面」ということばを用いて書きなさい。

(2) 下線部(b)の風潮がみられた、明治時代初期の我が国の社会の様子に関して述べた次のIとIIの文について、内容の正誤を表したのとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

I それまで使用されていた曆に代わり太陽曆が採用された。
II 五街道が整備されたことで、飛脚による通信が発達した。

ア I、IIのどちらとも正しい。 イ Iのみ正しい。
ウ IIのみ正しい。 エ I、IIのどちらとも誤っている。

(3) 表1中のX、Yに当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア X:富岡製糸場 Y:ニューディール政策
イ X:八幡製鉄所 Y:ニューディール政策
ウ X:富岡製糸場 Y:ブロック経済
エ X:八幡製鉄所 Y:ブロック経済

表2

年	おもなできごと
1914	第一次世界大戦が始まる。
1917	ロシア革命がおこる。
1918	第一次世界大戦が終わる。
1922	ソビエト社会主義共和国連邦が成立する。

(4) 良太さんは、下線部(c)に関連して、第一次世界大戦開始からソ連の成立までのおもなできごとを、表2にまとめました。①、②に答えなさい。

① 表2中のAとCの期間に当てはまるできごととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。それぞれ一つずつ答えなさい。

ア 日本が、中国に対して、二十一か条の要求を示した。
イ ドイツで、男女普通選挙などを定めたワイマール憲法が制定された。
ウ 日本で、労働時間の制限などを定めた工場法が制定された。
エ アメリカで、サンフランシスコ平和条約が結ばれた。

② 資料3は、表2中のBの期間に我が国で成立した内閣について記したものです。この内閣を組織した内閣総理大臣として適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

資料3

…次の顔振れのもとに政友会内閣を組織した。…(中略)…依って所謂純粹の政党内閣が生れた訳である。

ア 大隈重信 イ 犬養毅 ウ 伊藤博文 エ 原敬
(「日本国史年表」から抜粋して作成)

(5) 次は、表1と表2を作成した後に、良太さんが、我が国の近代の特色についてまとめた文章です。□に共通して当てはまる適当なことばを書きなさい。

私は、我が国の近代の特色を、「資本主義の発展による工業化や都市化が進む中で、世界的な不況から国際協調体制が崩れた時代」だと考えた。次は、国際協調の観点から、「国際連合の機関の一つである□は世界の平和と安全のために、どのような取組を行っているのか」や「なぜ、□の常任理事国は拒否権を持っているのか」という問いをもとに、現代の特色を考察していきたい。

4 滋賀県彦根市に住む敬子さんは、彦根城と自然環境との関連について学習しています。敬子さんは、図1の滋賀県彦根市中心部の2万5千分の1地形図を収集し、調べたことをメモしました。(1)～(4)に答えなさい。



図1 地形図「彦根東部」から作成。一部改変。(国土地理院令和2年発行2万5千分の1地形図「彦根東部」から作成。一部改変)

敬子さんのメモ

彦根城は、徳川家康が勝利した1600年のX後から、彦根山の地形を利用して築城が始まった。城の東には佐和山があり、西の琵琶湖から水路が築かれて堀となっている。城の南にある本町から栄町にかけて、Yが多く見られる。琵琶湖からの水路は、現在、観光産業として効果をもたらしている。

- (1) X、Yに当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、A～Iのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- A X: 戊辰戦争 Y: 寺院
I X: 関ヶ原の戦い Y: 寺院
U X: 戊辰戦争 Y: 田
I X: 関ヶ原の戦い Y: 田
- (2) 図1から読み取れる内容に関して述べた次のIとIIの文について、内容の正誤を表すものとして最も適当なのは、A～Iのうちではどれですか。一つ答えなさい。ただし、地点bと地点cの間の距離は図1上で3cmです。
- I 図1の地点aから、南西方向を眺めると彦根城跡を見ることが出来る。
II 図1の地点bと地点cとの間の、実際の直線距離は750mとなる。
- A I、IIのどちらも正しい。 I Iのみ正しい。
U Iのみ正しい。 I I、IIのどちらも誤っている。

(3) 彦根城と自然環境との関連や、彦根城跡が現在は産業へ活用されていることを知った敬子さんは、滋賀県とその近隣府県の地域的特色について、自然環境と産業を関連付けるために、図2の略地図と資料1を作成しました。①～③に答えなさい。

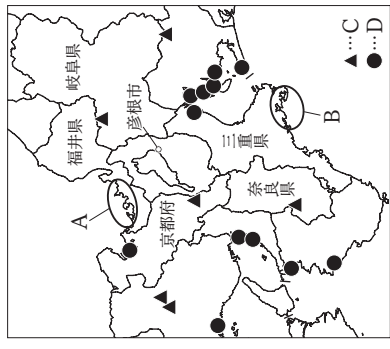


図2

資料1

	林業産出額 (千万円)	漁業生産量 (t)	
			うち内水面漁業
A	753	1 433	1 433
I	465	144 968	329
U	232	10 680	20
I	230	13	13
福井県	155	12 402	35
オ	81	1 122	1 122

(注) 統計年次は2020年。内水面漁業は河川や湖、沼で行われる漁業。
(「データでみる県勢 2023」から作成)

- ① 図2中のAとBには、小さな岬と湾が入り組んだ、複雑な海岸線をもつ地形がみられます。このような地形を何といいますか。
- ② 資料1中のA～オは、岐阜県、滋賀県、三重県、京都府、奈良県のいずれかです。滋賀県が当てはまるのは、A～オのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ③ 敬子さんは、日本の水力発電と火力発電について、図2中における発電設備の分布をまとめた後、発電設備に関する資料2を収集しました。図2中のCとD、資料2中のPとQは、それぞれ水力発電、火力発電のいずれかです。水力発電を示したものの組み合わせとして最も適当なのは、A～Iのうちではどれですか。一つ答えなさい。

資料2 発電設備の推移 (千kW)

年	P	Q
1905	18	56
1925	1 814	954
1945	6 435	3 950
1965	16 275	24 717
1985	34 337	110 161
2005	47 357	175 779

(「数字でみる日本の100年」から作成)

A C-P I C-Q U D-P I D-Q

(4) 次は、敬子さんが、今後の学習に向けて書いた文章です。に当てはまる適当な内容を書きなさい。

自然環境と発電について考えると、太陽光や風力による発電は、火力発電に比べて二酸化炭素の排出量を抑えられる。しかし、これらの発電は、ことから時間帯や日によって発電量が変動し、現在の日本の技術では電力の供給が安定しないという課題がある。自然環境への負担が少ない持続的な発電方法について調べ、環境保全のため、私たちができることを考えていきたい。

5 中学生の洋子さんは、「いつまでも暮らしやすい私たちのまち」というテーマの探究的な学習で、洋子さんが住むまち（A市）の市役所職員の方へ、情報収集のためのインタビューを予定しています。次は、洋子さんの班での話し合いの様子です。(1)～(5)に答えなさい。

班での話し合い

洋子：来週市役所職員の方へのインタビューで、どんなことを質問しますか。

健太：人口減少による影響のなかで、特に何を課題と考えているかということや、私たちの地域の課題解決のために活動する^(a)非営利組織などの民間団体と、どんな協働活動を行っているのかについて聞くのはどうでしょうか。

美里：いいですね。私は、地方自治では^(b)直接民主制を取り入れた権利が認められていると学んだので、そのような権利の行使の事例などを聞いてみたいです。

太郎：それなら、インタビューの前にもう一度、地方自治や^(c)私たちに認められている権利などについて、学習内容を確認しておいた方がいいですね。

洋子：では、役割を決めて質問事項を作成しましょう。

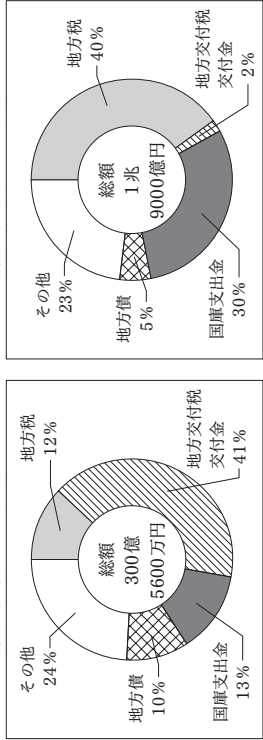
- (1) 下線部(a)をアルファベットの略称で書きなさい。
- (2) 下線部(b)に関して、日本における直接民主制について述べたものとして適当でないのは、A～Iのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- A 最高裁判所裁判官の国民審査
- I 地方議員の解職請求後の住民投票
- ウ 日本国憲法改正時の国民投票
- エ 国政全般に対する国政調査

- (3) 下線部(c)に関して、洋子さんたちのような16歳未満の中学生が、日本で認められている権利として適当でないのは、A～Iのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- A 裁判所において、公正な裁判を受けることができる。
- I 地方公共団体の首長の選挙において投票することができる。
- ウ ひとしく、適切な教育を受けることができる。
- エ 地方公共団体に条例の制定を請願することができる。

- (4) 洋子さんは、インタビューをした際に配られたA市に関する資料1と比較するために、B市に関する資料2を収集しました。また、洋子さんは、インタビューをした際の記録と、資料1、資料2から気づいたことをノートにまとめました。①～③に答えなさい。

資料1 A市の一般会計における歳入総額とその内訳

資料2 B市の一般会計における歳入総額とその内訳

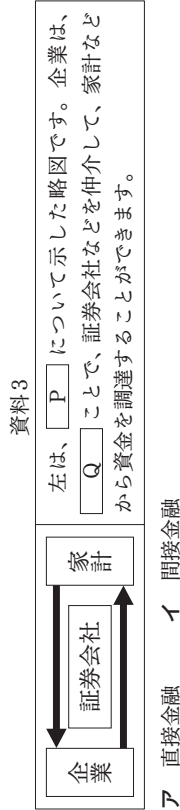


洋子さんのノートの一部

- ・A市は人口減少が進んでいることもあり、財政が大きな課題。
- ・企業への^(d)金融相談や支援、地方の金融機関との連携は重要。
- ・暮らしやすいまちづくりのために、民間団体も含め、住民の皆さんと課題解決を進めたい。

資料1と資料2を見ると、歳入総額における^(d)Xの割合は、B市よりA市の方が大きい。これは、日本政府が、地方公共団体の自主財源である^(d)Yのために、^(d)Xを配分しているから。

- ① 下線部(d)に関して、資料3は、日本の企業や家計が資金を融通するしくみを示した略図と補足文です。^(d)Pに当てはまることばとして適当なのは、AとIのどちらですか。一つ答えなさい。また、^(d)Qに当てはまる適当な内容を書きなさい。



- ② ^(d)Xに共通して当てはまる適当なことばを書きなさい。
- ③ ^(d)Yに当てはまる適当な内容を、資料1中の内訳の項目名を用いて書きなさい。

(5) 次は、インタビュー後に行った、洋子さんの班での話し合いの様子です。①、②に答えなさい。

班での話し合い

洋子：「いつまでも暮らしやすい私たちのまち」にするために、私たちが考える解決策を市役所へ提案するのはどうですか。

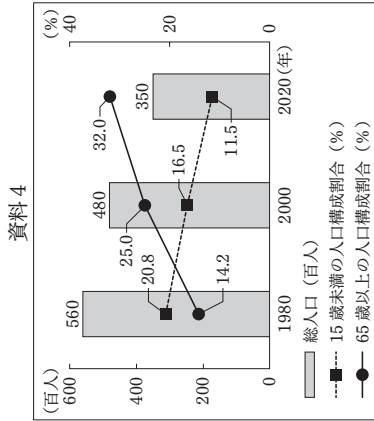
美里：いいですね。私は、地域の住民や企業の方が、もっと地域のことや行政の取組について話すことが、^(e)現状の把握や課題の解決につながると思います。そこで、小規模な地区ごとによる、まちづくりに関する会議の開催を提案してみたいです。

健太：その会議に、私たちのような学生が、学生リーダーとして加わるのはどうですか。

太郎：提案に向けて、私たちは市のことだけでなく、^(f)日本全体の課題について、もっと学習しておく必要がありますね。

洋子：では、地区ごとのまちづくり会議と学生リーダーの参加を市役所へ提案するために、具体的な内容を考えていきましょう。

① 美里さんは、下線部(e)に関連して、A市の総人口の推移とともに、A市の15歳未満と65歳以上の人口構成割合の推移を示した資料4を作成しました。資料4に関して述べた次のⅠとⅡの文について、内容の正誤を表したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



- Ⅰ 1980年、2000年、2020年にかけて、A市の総人口は減り続けているが、A市の65歳以上の人口は増え続けている。
- Ⅱ 資料4中のすべての年で、A市の生産年齢人口の割合は50%を下回っており、2020年にかけて、A市では少子高齢化が進んでいる。

- ア Ⅰ、Ⅱのどちらも正しい。 イ Ⅰのみ正しい。
- ウ Ⅱのみ正しい。 エ Ⅰ、Ⅱのどちらも誤っている。

② 太郎さんは話し合いの後に、下線部(f)について、日本の選挙制度の課題である一票の格差に関する、A市とB市の選挙区の資料を収集しました。A市とB市の選挙区における一票の格差を表すために必要となる資料として適当なのは、ア～オのうちではどれですか。二つ答えなさい。

- ア 各選挙区の面積 イ 各選挙区の当選議員数 ウ 各選挙区の有権者数
- エ 各選挙区の政党別得票率 オ 各選挙区の投票率

3 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度等をみる。
- 2 具体的な事象の中の数量の関係を考察する場面において、数量の関係を文字を用いた式で表す力、二元一次方程式の解の意味についての理解の程度等をみる。
- 3 収集したデータを箱ひげ図やヒストグラムに整理した場面において、四分位範囲の意味についての理解の程度や、データの分布の傾向を読み取る力等をみる。
- 4 関数 $y = ax^2$ のグラフ上の点を結んでできる二つの三角形の間の関係を考察する場面において、関数 $y = ax^2$ の特徴から二つの三角形の間の関係を見いだす力等をみる。
- 5 一つの頂点を共有する二つの正方形からなる図形を考察する場面において、図形の性質を演繹的に確かめ、論理的に考察し表現する力等をみる。

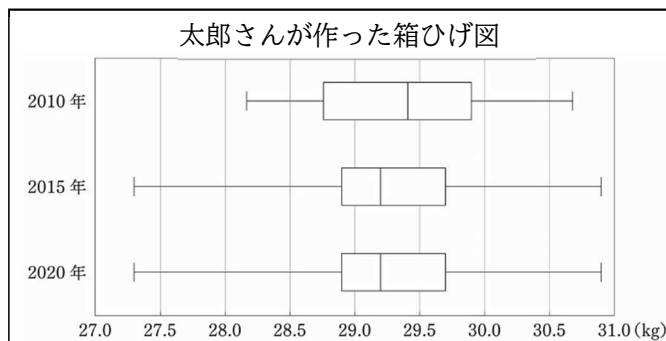
(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

1について、基本的な計算技能の習得の程度をみる設問では7割以上の正答率であったが、確率の設問は正答率が59.5%とやや低かった。「数と式」について、二元一次方程式の解の意味を問う設問2(2)では、正答率が45.0%とやや低かった。「データの活用」について、箱ひげ図とヒストグラムの特徴に関する設問3(4)では、正答率が74.5%と高かった。「関数」について、座標を文字を用いて表す設問4(2)では、正答率が49.0%とやや低かった。「図形」について、文字式と三平方の定理を活用する設問5(4)では、正答率が2.5%と低かった。また、4(3)(あ)の正答率が75.5%であったのに対し、(3)(い)の正答率は25.5%であったことから、「関数の特徴を式やグラフと関連付けて考察すること」に課題がみられた。

データの傾向を捉え考察し問題解決に取り組む学習活動の充実

〔大問3〕(2) 正答：正答例参照 正答率：26.0%〕



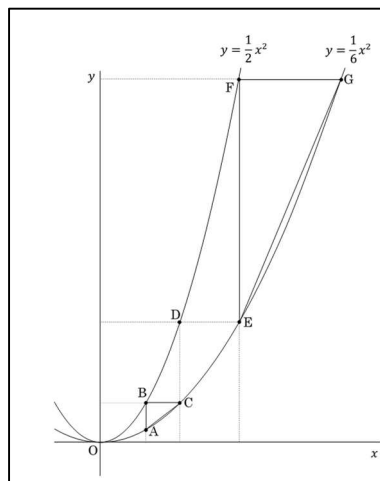
(2) 四分位範囲は、データの散らばりの度合いを表す指標です。太郎さんが作った箱ひげ図の2010年と2015年では、それぞれの年のすべてのデータのうち、真ん中に集まる約半数のデータについて、散らばりの度合いが大きいのはどちらですか。解答欄の に「2010」または「2015」のいずれかを書きなさい。また、そのように判断した理由を答えなさい。その際、四分位範囲が箱ひげ図のどの部分を表しているかにふれて答えなさい。

〔分析〕大問3(2)は、データの散らばりの度合いを箱ひげ図から説明する設問で、正答率が26.0%であった。四分位範囲が箱ひげ図のどの部分を表しているかを書けていない解答や、四分位範囲とデータの散らばりの度合いを関連付けられていない解答が多く、箱ひげ図の意味の理解が不十分であったと考えられる。

〔視点〕身近な問題を取り上げ、それを解決するために必要なデータを収集・処理し、データの傾向を捉え説明するという一連の活動を充実させることが大切である。その際、基本統計量等を求めることができるということだけでなく、生徒が自分の予測や判断について根拠を明らかにして説明する学習機会を設けることが大切である。

関数関係に着目し、その特徴を式やグラフと関連付けて考察する学習活動の充実

〔大問4〕(3)(あ)(い) (4) 正答：(3)(あ)3 (い) $\sqrt{3}$ (4)27
正答率：(3)(あ)75.5% (い)25.5% (4)6.0%〕



図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと関数 $y = \frac{1}{6}x^2$ のグラフがあります。二つのグラフ上の点を結んでできる二つの三角形について、それらの間の関係を考えます。

(3) 次のことがらは、3点A、B、Cの座標について述べています。
〔あ〕、〔い〕に適当な数を書きなさい。

点Bのy座標は、点Aのy座標の〔あ〕倍になっている。
点Cのy座標も、点Aのy座標の〔あ〕倍になっている。
yはxの2乗に比例するので、
点Cのx座標は、点Aのx座標の〔い〕倍になっている。

(4) $\triangle EFG$ の面積は、 $\triangle ABC$ の面積の何倍かを求めなさい。

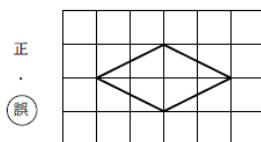
〔分析〕大問4(3)の正答率は(あ)が75.5%であるのに対し、(い)は25.5%と低かった。yはxの2乗に比例することから考えるのではなく、文字式で考えた受検者が多かったのではないかと考えられる。そのため、(4)でも、(3)で考えた線分の長さの比から面積比を求める設問であるが、正答率は6.0%と低かった。

〔視点〕関数 $y = ax^2$ について学ぶ際、具体例として、既習の円の面積を求める公式 $S = \pi r^2$ を扱い、「Sはrの2乗に比例する関数」と読み取り、「半径が2倍になると面積は4倍になる」ということが、数値を求めなくても分かるという経験をすることで、相似比と面積比の関係の理解を深めることができる。このように、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する学習活動を充実させたい。

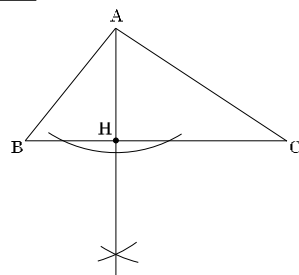
(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式		応 答 率 (%)						
				選 択	短 答 記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答			
1	(1)	1	2		○	98.0		0.0		2.0		0.0
	(2)	$-4ab^2$	2		○	91.0		0.5		8.5		0.0
	(3)	$13a-6b$	2		○	92.5		0.0		7.5		0.0
	(4)	7	2		○	81.0		0.0		17.5		1.5
	(5)	$x=-2$ 、 $x=3$	2		○	72.0		2.5		22.5		3.0
	(6)	13	2		○	50.0		0.0		40.5		9.5
	(7)	ウ	2	○		90.5		0.0		9.5		0.0
	(8)	イ ウ	2	○		72.0		0.0		27.5		0.5
	(9)	※説明記述	3		○	44.0		13.5		41.5		1.0
	(10)	$\frac{1}{3}$	3		○	59.5		1.5		34.5		4.5
	(11)	※作図記述	3		○	65.0		4.0		17.5		13.5
2	(1)①	$x+y=160$ $3x+5y=700$	3		○	92.5		1.5		4.5		1.5
	(1)②	商品A 50 商品B 110	2		○	88.0		1.0		8.5		2.5
	(2)①	4	3		○	45.0		0.0		38.0		17.0
	(2)②	商品A 4 商品B 10	2		○	50.0		1.0		24.0		25.0
3	(1)	ア	2	○		95.0		0.0		4.5		0.5
	(2)	※説明記述	3		○	26.0		41.5		29.5		3.0
	(3)	イ エ	2	○		15.5		0.0		84.0		0.5
	(4)	オ	2	○		74.5		0.0		25.0		0.5
4	(1)	ウ	2	○		42.5		0.0		57.0		0.5
	(2)	$\frac{1}{2}t^2$	3		○	49.0		1.5		38.0		11.5
	(3)(あ)	3	2		○	75.5		0.0		21.0		3.5
	(3)(い)	$\sqrt{3}$	3		○	25.5		0.0		64.0		10.5
	(4)	27	3		○	6.0		0.0		65.5		28.5
5	(1)	$2\sqrt{5}$	2		○	74.5		0.0		23.0		2.5
	(2)	※証明記述	4		○	32.0		41.5		15.5		11.0
	(3)	90	2		○	71.0		1.0		17.5		10.5
	(4)	$\frac{2\sqrt{2}}{3}$	2		○	2.5		0.0		61.5		36.0
	(5)	$\frac{5\sqrt{2}}{3}$	3		○	0.5		0.0		43.0		56.5

1 (9) 説明記述



1 (11) 作図記述



3 (2) 説明記述

2010
【理由】
四分位範囲は、箱ひげ図の箱の横の長さを表しており、2010年と2015年の箱の横の長さを比較したとき、2010年の方が長く、四分位範囲が大きいといえるから。

5 (2) 証明記述

△AHFと△EHCにおいて、
対頂角は等しいから、
∠AHF=∠EHC … ①
△AEF、△ABCは、
直角二等辺三角形だから、
∠AFH=∠ECH=45° … ②
①、②から、
2組の角がそれぞれ等しいので、
△AHF≡△EHC

受 検 番 号	(算用数字)	志 願 校
------------	--------	----------

解 答 用 紙

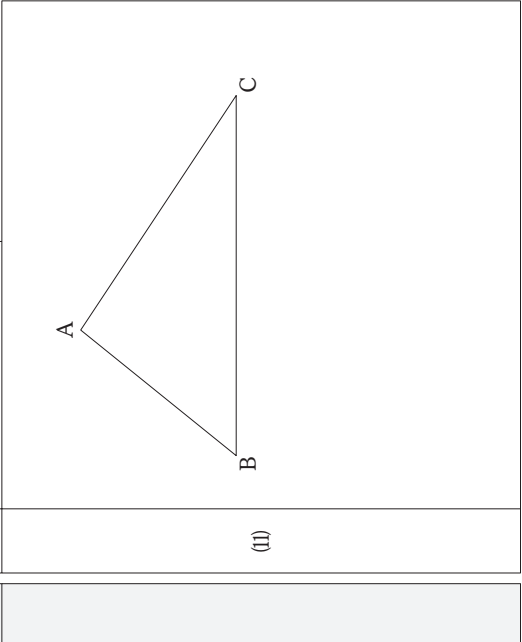
※

- 注意 1 答えに√が含まれるときは、√をつけたまままで答えなさい。
その際、√の中の数は、できるだけ小さい自然数にしないさい。
2 答えに円周率を使うときは、 π を用いなさい。

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	$n =$
(7)	
(8)	

(9)	正 ・ 誤
(10)	



2

(1)①	{
(1)②	商品 A (個) 商品 B (個)
(2)①	(個)
(2)②	商品 A (個) 商品 B (個)

4

(1)	
(2)	
(3)あ	
(3)い	
(4)	(倍)

5

(1)	(cm)
(2)	
(3)	(°)
(4)	(cm)
(5)	(cm)

3

(1)	
(2)	年の方が散らばりの 度合いが大きい。 【理由】
(3)	
(4)	

次の(1)～(4)の計算をしなさい。(5)～(11)は指示に従って答えなさい。

(1) $-3 - (-4)$

(2) $(-6ab) \times \frac{2}{3}b$

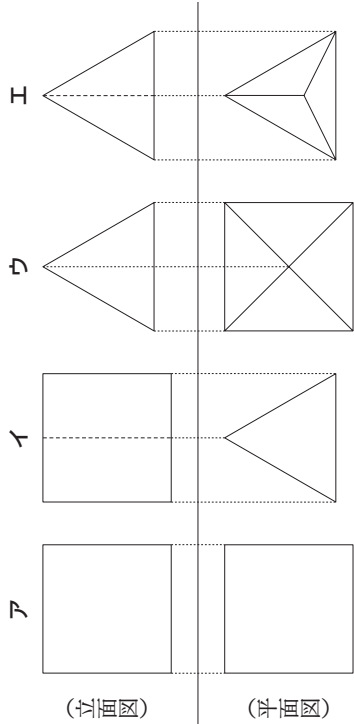
(3) $5(a-2b) + 4(2a+b)$

(4) $(3 + \sqrt{2})(3 - \sqrt{2})$

(5) 方程式 $(x+3)^2 = 7x + 15$ を解きなさい。

(6) n は 2 以上 20 以下の自然数とします。 $\sqrt{3(2n+1)}$ の値が自然数となるような n の値を求めなさい。

(7) 四角錐の投影図として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



※上の投影図では、実際に見える辺を実線——で、見えない辺を破線-----で示している。

(8) y が x に反比例するものは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア 分速 x m で 30 分歩いたときに進んだ道のり y m

イ 面積が 20 cm^2 の三角形の底辺 $x \text{ cm}$ と高さ $y \text{ cm}$

ウ 100 cm のひもを x 等分したときの 1 本の長さ $y \text{ cm}$

エ 半径が $x \text{ cm}$ の円周の長さ $y \text{ cm}$

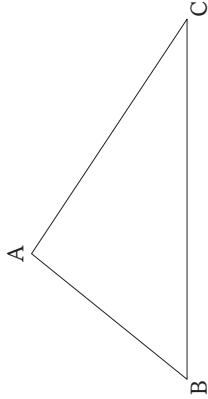
(9) 次のことがらについて、内容の正誤を判断しなさい。正しい場合には、解答用紙の「正」を○で囲み、方眼には何もかかないようにしなさい。誤っている場合には、解答用紙の「誤」を○で囲み、方眼を利用して反例となる四角形を一つかきなさい。

四つの辺がすべて等しい四角形は、正方形である。

(10) 大小二つのさいころを同時に投げるとき、出た目の数の和が 12 の約数となる確率を求めなさい。ただし、さいころの 1 から 6 までの目の出方は、同様に確からしいものとします。

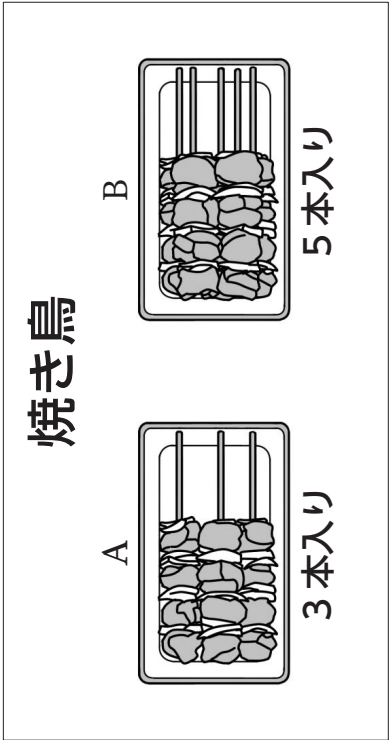


(11) 図のような $\triangle ABC$ において、辺 BC を底辺とみたときの高さを AH とするとき、辺 BC 上の点 H を定規とコンパスを使って作図しなさい。作図に使った線は残しておきなさい。



2

花子さんの家の近所にある焼き鳥屋では、図に示すように、焼き鳥 3 本入りの商品 A と 5 本入りの商品 B の 2 種類の商品が販売されています。(1)、(2) に答えなさい。



- (1) 焼き鳥 3 本入りの商品 A と 5 本入りの商品 B を合わせて 160 個用意したとき、焼き鳥の本数の合計が 700 本でした。①、② に答えなさい。
- ① 用意した商品 A の個数を x 個、商品 B の個数を y 個として、連立方程式をつくりなさい。
- ② 用意した商品 A と商品 B の個数は、それぞれ何個であるかを求めなさい。

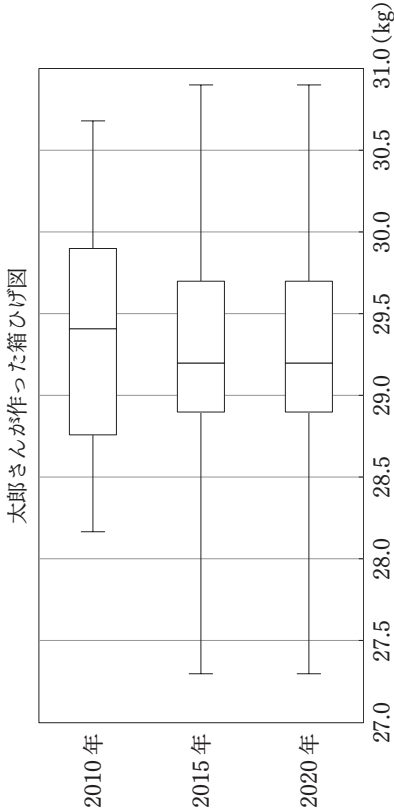
(2) 焼き鳥 3 本入りの商品 A と 5 本入りの商品 B をそれぞれ何個か用意したとき、焼き鳥の本数の合計が 62 本でした。①、② に答えなさい。

- ① 次の数量の間の関係から、二元一次方程式をつくることができます。

用意した商品 A の個数を a 個、商品 B の個数を b 個とするととき、焼き鳥の本数の合計は 62 本である。

- $a = 19$ 、 $b = 1$ は、この方程式の解の一つです。
- a 、 b の値が、ともに 0 以上の整数のとき、この方程式の解は、 $a = 19$ 、 $b = 1$ を含めて、全部で何個あるかを求めなさい。
- ② 用意した商品 A と商品 B の個数の合計が最も少ないのは、商品 A と商品 B の個数がそれぞれ何個のときであるかを求めなさい。

3 体育委員の太郎さんは、中学生の握力について調べています。図は、太郎さんの中学校で実施した2010年、2015年、2020年の2年生の握力測定記録をもとに作った箱ひげ図です。いずれの年もデータの個数は47個です。(1)～(4)に答えなさい。



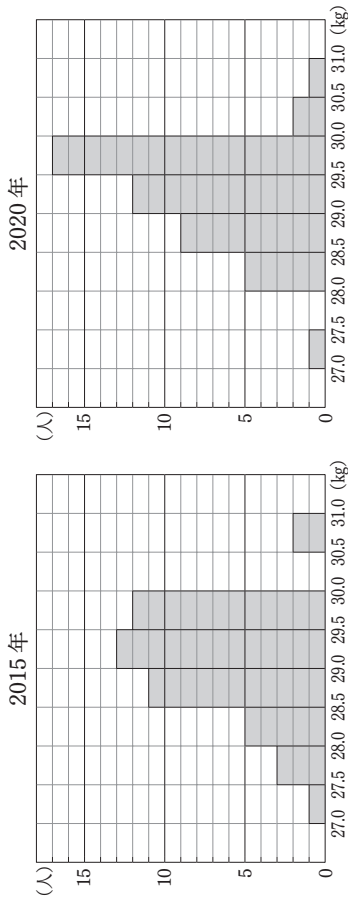
- (1) 太郎さんが作った箱ひげ図から読み取れることとして、次のことがらは、正しいといえますか。【選択肢】のア～ウの中から最も適当なものを一つ答えなさい。

第3四分位数は、2010年が最も大きい。

- 「【選択肢】
- ア 正しい
 - イ 正しくない
 - ウ 太郎さんが作った箱ひげ図からはわからない

- (2) 四分位範囲は、データの散らばりの度合いを表す指標です。太郎さんが作った箱ひげ図の2010年と2015年では、それぞれの年のすべてのデータのうち、真ん中に集まる約半数のデータについて、散らばりの度合いが大きいのはどちらですか。解答欄の□に「2010」または「2015」のいずれかを書きなさい。また、そのように判断した理由を答えなさい。その際、四分位範囲が箱ひげ図のどの部分を表しているかにふれて答えなさい。

太郎さんは、2015年と2020年の箱ひげ図が同じなので、箱ひげ図を作るときにともにしたデータを使って、ヒストグラムを作りました。



※例えば、27.0～27.5の区間は、27.0 kg以上27.5 kg未満の階級を表す。

- (3) 2015年、2020年の二つのヒストグラムから読み取れることを正しく説明しているのは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

- ア 30.0 kg以上30.5 kg未満の階級には、どちらの年もデータが含まれている。
- イ 度数が最も多い階級の階級値は、2015年より2020年の方が大きい。
- ウ 中央値が入っている階級の度数は、どちらの年も同じである。
- エ 28.0 kg以上28.5 kg未満の階級の累積相対度数は、2020年より2015年の方が大きい。

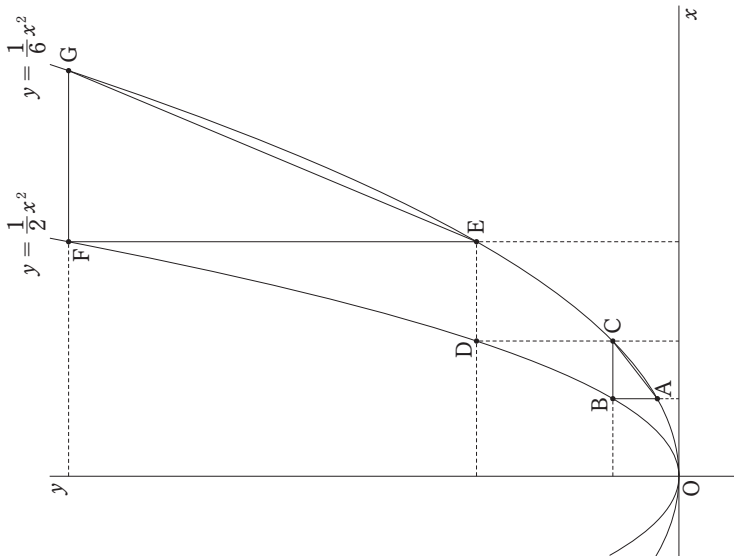
- (4) 次の文章は、握力について調べた後の太郎さんの振り返りです。＜太郎さんの振り返り＞について、□(あ)～□(う)に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～カのうちではどれですか。一つ答えなさい。

＜太郎さんの振り返り＞

箱ひげ図は、□(あ)という特徴がある。また、四分位数や四分位範囲などを読み取りやすく、□(い)などを読み取りにくいという特徴がある。一方、ヒストグラムは、□(い)や□(う)などを読み取りやすいという特徴があるため、目的に応じて二つを合わせて用いることが必要な場面もある。

- ア (あ) 一つのデータの分布を詳細に読み取ることができる (い) 最大値 (う) 範囲
- イ (あ) 一つのデータの分布を詳細に読み取ることができる (い) 最大値 (う) 分布の形
- ウ (あ) 複数のデータの分布を一度に比較しやすい (い) 最大値 (う) 範囲
- エ (あ) 一つのデータの分布を詳細に読み取ることができる (い) 最頻値 (う) 分布の形
- オ (あ) 複数のデータの分布を一度に比較しやすい (い) 最頻値 (う) 分布の形
- カ (あ) 複数のデータの分布を一度に比較しやすい (い) 最頻値 (う) 範囲

図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと関数 $y = \frac{1}{6}x^2$ のグラフがあります。二つのグラフ上の点を結んでできる二つの三角形について、それらの間の関係を考えます。
(1) ～ (4) に答えなさい。



【図の説明】

- 点 O を原点とする座標平面上に、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと関数 $y = \frac{1}{6}x^2$ のグラフがある。
- 点 A、C、E、G は、関数 $y = \frac{1}{6}x^2$ のグラフ上にある。
- 点 B、D、F は、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上にある。
- 点 A、B、C、D、E、F、G の x 座標は正である。
- 点 A と点 B、点 C と点 D、点 E と点 F の x 座標はそれぞれ等しい。
- 点 B と点 C、点 D と点 E、点 F と点 G の y 座標はそれぞれ等しい。
- 点 A、B、C を結び、三角形 ABC をつくる。
- 点 E、F、G を結び、三角形 EFG をつくる。

(1) a を正の定数とすると、関数 $y = ax^2$ に関して述べたⅠ、Ⅱ、Ⅲの文について、内容の正誤を表したものととして最も適当なのは、ア～カのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- Ⅰ x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域は $a \leq y \leq 4a$ である。
 Ⅱ 変化の割合は常に一定である。
 Ⅲ グラフは y 軸について対称である。
- ア Ⅰのみ正しい。 イ Ⅱのみ正しい。 ウ Ⅲのみ正しい。
 エ ⅠとⅡのみ正しい。 オ ⅠとⅢのみ正しい。 カ ⅡとⅢのみ正しい。

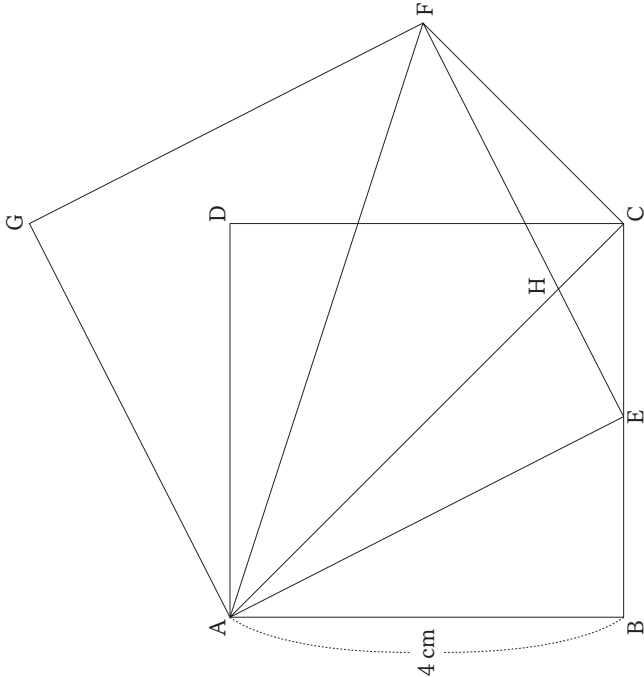
(2) 点 A の x 座標を t とすると、点 C の y 座標を t を用いて表しなさい。

(3) 次のことがらは、3 点 A、B、C の座標について述べています。□(あ)、□(い)に適当な数を書きなさい。

点 B の y 座標は、点 A の y 座標の □(あ) 倍になっている。
 点 C の y 座標も、点 A の y 座標の □(あ) 倍になっている。
 y は x の 2 乗に比例するので、
 点 C の x 座標は、点 A の x 座標の □(い) 倍になっている。

(4) $\triangle EFG$ の面積は、 $\triangle ABC$ の面積の何倍かを求めなさい。

図のように、1 辺の長さが 4 cm の正方形 ABCD があり、辺 BC の中点を E とし、線分 AE を 1 辺とする正方形 AEFG をかきます。点 A と点 C、点 A と点 F、点 C と点 F をそれぞれ結び、線分 EF と線分 AC の交点を H とします。(1)～(5)に答えなさい。



- (1) 線分 AE の長さを求めなさい。
- (2) $\triangle AHF \sim \triangle EHC$ を証明しなさい。
- (3) $\angle ACF$ の大きさを求めなさい。
- (4) 線分 CH の長さを求めなさい。
- (5) 3 点 A、E、F を通る円の中心を P、3 点 C、F、H を通る円の中心を Q とします。
このとき、線分 PQ の長さを求めなさい。

4 理 科

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な概念や原理・法則についての知識・理解の程度と、観察・実験などを通しての科学的な思考力、判断力、表現力等を見るために、第1分野、第2分野にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 各分野の基礎的・基本的内容についての知識・理解の程度をみるとともに、身近な事物・現象について科学的に判断する力をみる。
- 2 岩石や火山、地層の成り方に関する内容についての知識・理解の程度をみるとともに、火成岩のもととなるマグマの性質と火山の形との関連性を見いだして表現するなど、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 3 食事と栄養に関する会話をもとに、食物に含まれる物質の分解や吸収についての知識・理解の程度をみるとともに、実験の条件設定や結果予想を行う過程を通して、科学的に思考する力や判断する力をみる。
- 4 酸化物の還元に関する実験を通して、酸化と還元に関する知識・理解の程度をみるとともに、反応する物質の量的な関係について規則性を見いだすなど、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 5 実験や会話をもとに、物体にはたらく力と物体の運動に関する知識・理解の程度をみるとともに、実際に身の回りで起こる現象を学習した事項と関連付けて、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

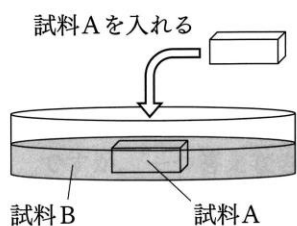
自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な知識・理解の程度をみる設問では、全般的に正答率が高かった。

表やグラフのデータを利用して計算をする力をみる設問や、現象を科学的な視点で捉え、既習の知識を組み合わせる現象を説明する力をみる設問では、正答率が低いものもあった。全体的に無答率は低かった。

見通しをもって観察、実験を行うなど、理科の見方・考え方を働かせて、科学的に探究する力を養うための指導の充実

〔大問3〕(3)② 正答：a ○ b × c × d × 正答率：50.5%〕

- (3) 下線部(c)について、図のように試料Aを試料Bの中に入れ、試料Aに変化が起こるかを調べる実験を計画しました。表のように条件を考え、対照実験として条件Ⅲと条件Ⅳを設定しようとしています。①、②に答えなさい。ただし、ショウガの絞り汁は加熱していないものを使用し、ゼラチンのゼリーやラードの塊に影響を与えない温度で実験を行うものとします。



図

表

	条件Ⅰ	条件Ⅱ	条件Ⅲ	条件Ⅳ
試料A	ゼラチンのゼリー	ラードの塊	ゼラチンのゼリー	ラードの塊
試料B	ショウガの絞り汁 + 水			
結果	a	b	c	d

- ① 対照実験である条件Ⅲと条件Ⅳの試料Bとして、何を準備すればよいと考えられますか。表の に入る適当な内容を答えなさい。
- ② 結果のa～dには、「変化あり」、「変化なし」のどちらかが入ります。ショウガの絞り汁に含まれる消化酵素がタンパク質のみを分解している場合、どのような結果が予想されますか。予想される結果が、「変化あり」の場合は「○」を、「変化なし」の場合は「×」を、それぞれ書きなさい。

分析 大問3(3)は、酵素の性質を調べる実験を通して、科学的に探究する力をみる設問である。対照実験の条件を設定する大問3(3)は、正答率が81.0%であるのに対し、その結果を予想する大問3(3)は50.5%と正答率が伸びなかった。このことから、対照実験の意義についての理解とともに、仮説を立て、見通しをもって実験を計画するなど、科学的に探究する力の育成に課題があると考えられる。

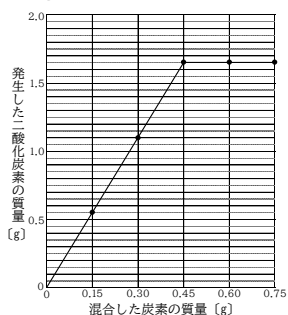
視点 観察、実験を行う際には、生徒に結果のみについて考察させるのではなく、あらかじめ、何のために観察、実験を行うのか、観察、実験ではどのような結果が予想されるのかを考えさせるといった、行う実験の意義を生徒に理解させ、学習を進めることが重要である。

対照実験の設定については、どのような条件であれば対照実験として成立するのかを考えさせるために、例えば、いくつかの実験条件を提示し、それぞれの条件を比較して分かることを考えさせる場面を設定する指導が考えられる。また、生徒が学習を通じて、理科の見方・考え方をより豊かで確かなものにしていくために、観察、実験を行う際に、生徒自身が仮説を立て、その仮説を検証するための方法を立案できるようにする。その上で、仮説や観察、実験の方法を生徒同士で互いに評価させたり、教師が科学的な視点から指摘を行って、生徒に観察、実験の方法を再検討させたりするなどの活動を取り入れることも考えられる。

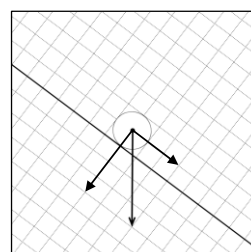
(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)	ウ	2	○			57.0		0.0		43.0	0.0
	(2)	イ	2	○			88.5		0.0		11.5	0.0
	(3)	イ	2	○			91.5		0.0		8.5	0.0
	(4)	ア	2	○			61.0		0.0		39.0	0.0
	(5)	エ	2	○			74.0		0.0		26.0	0.0
	(6)	エ	2	○			54.5		0.0		45.5	0.0
	(7)	日食 ウ 月食 ア	2	○			65.5	2.5			32.0	0.0
	(8)	55	2	○			61.0	0.0			34.0	5.0
2	(1)①	斑状組織	2	○			69.5	6.0			21.5	3.0
	(1)②	イ	2	○			64.5	0.0			35.0	0.5
	(2)	特徴 ウ 90%と大きいので、岩石の もととなるマグマの粘り気 が非常に大きく、溶岩が流 れにくい。ため。	4			○	28.5	35.0			33.5	3.0
	(3)	ウ ア エ オ イ	2	○			47.5	0.0			52.0	0.5
	(4)	ウ	3	○			75.5	0.0			24.0	0.5
3	(1)①	エ	2	○			89.5	0.0			10.5	0.0
	(1)②	脂肪酸	2	○			71.5	1.0			23.5	4.0
	(2)①	P 柔毛 Q 表面積が大きく	3			○	77.0	14.0			6.0	3.0
	(2)②	イ	2	○			40.0	0.0			59.5	0.5
	(3)①	水	2	○			81.0	0.5			15.0	3.5
	(3)②	a ○ b × c × d ×	2	○			50.5	0.0			49.0	0.5
4	(1)	イ	2	○			83.5	0.0			16.5	0.0
	(2)	還元	2	○			85.5	5.5			8.5	0.5
	(3)	$2\text{CuO} + \text{C} \rightarrow 2\text{Cu} + \text{CO}_2$	2			○	65.5	2.5			29.0	3.0
	(4)	空気中の酸素により、再び 酸化する	2			○	71.0	5.5			21.5	2.0
	(5)①	エ	2	○			41.5	0.0			58.5	0.0
	(5)②	※グラフ記述	3			○	41.0	3.0			48.5	7.5
	(5)③	6.4	2	○			25.0	0.0			65.0	10.0
5	(1)	慣性	2	○			88.0	0.5			9.5	2.0
	(2)	50	2	○			61.5	0.0			34.0	4.5
	(3)	※作図記述	2			○	76.5	0.5			22.5	0.5
	(4)	ウ	2	○			65.5	0.0			34.5	0.0
	(5)①	位置エネルギーをもっており、それが運動エネルギー に変換される	2			○	66.5	2.5			26.5	4.5
	(5)②	X b Y c Z d	3	○			47.0	4.5			47.5	1.0

4 (5)② グラフ記述



5 (3) 作図記述



受 検 番 号	志 願 校
(算用数字)	

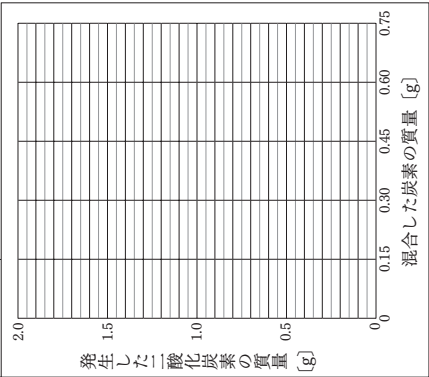
解 答 用 紙

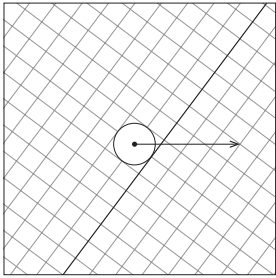


1		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	
		(6)	
		(7) 日食	月食
		(8)	(%)

3		(1)①	
		(1)②	
		(2)① P	Q
		(2)②	
		(3)①	
		(3)② a	b c d

2		(1)①	
		(1)②	
		(2)	特徴
			火成岩 I に含まれる無色鉱物の割合は、
		(3)	
		(4)	

4		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)①	
		(5)②	
		(5)③	(g)

5		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)①	
		(5)② X	Y Z

1 次の(1)～(8)に答えなさい。

(1) 図1のように北の方角をさす磁針を、図2の棒磁石のまわりに置きます。磁針が図3のようになる位置は、図2の $\text{ア} \sim \text{オ}$ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

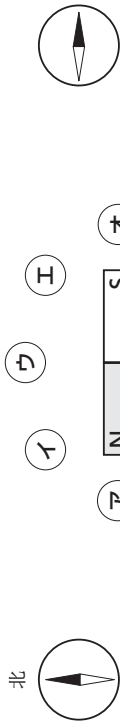


図3

図2

(2) 図4のように、半円形のガラスに向かって空気を進む光があります。この光が半円形のガラスに入射した後の、光の進み方を表すものとして最も適当なのは、図4の $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

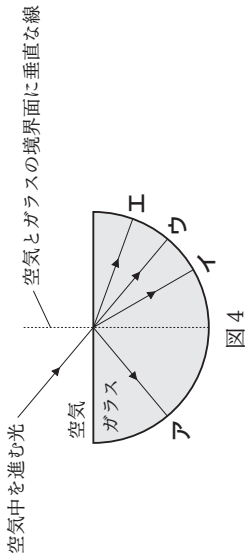


図4

(3) ポリエチレン袋に液体のエタノールを入れて、できるだけ空気が入らないようにして袋の口を閉じ、袋に90℃の湯をかけると、ポリエチレン袋が大きく膨らみました。ポリエチレン袋が膨らんだ理由として最も適当なのは、 $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア エタノール粒子の大きさが大きくなったから。
 イ エタノール粒子の運動が激しくなり、粒子どうしの間隔が広がったから。
 ウ エタノール粒子の数が増えたから。

(4) 原子について説明した文として正しいものは、 $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 身の回りにあるすべての物質は、原子からできている。
 イ 同じ元素であれば、原子核に含まれる中性子の数は必ず等しい。
 ウ 原子が電子を1個失うと、マイナスの電気を帯びた陰イオンになる。
 エ 原子は、化学変化によって他の種類の原子に変化する。

(5) 単子葉類と双子葉類の特徴について、図5の A と B は茎の横断面を、 C と D は根のようすを示しています。双子葉類の特徴を示す組み合わせとして最も適当なのは、 $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちのどれですか。一つ答えなさい。

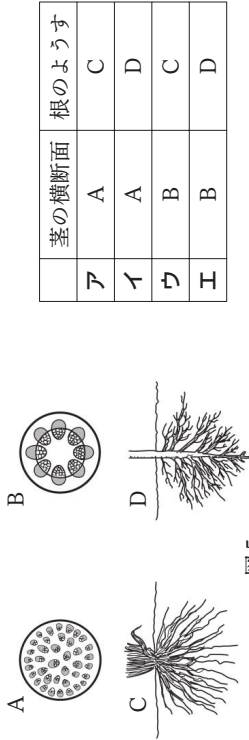


図5

(6) 次の文章の $\square \text{X} \square \sim \square \text{Z} \square$ に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、 $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちではどれですか。一つ答えなさい。

ソラマメの種子を発根させて根の細胞を観察すると、種子に近い根もと側よりも、根の先端付近の方が、細胞の大きさは $\square \text{X} \square$ 。これは、根の先端付近で細胞分裂が行われ、 $\square \text{Y} \square$ 後、 $\square \text{Z} \square$ からである。

- ア X 大きい Y それぞれの細胞が成長した Z 細胞の数が増える
 イ X 大きい Y 細胞の数が増えた Z それぞれの細胞が成長する
 ウ X 小さい Y それぞれの細胞が成長した Z 細胞の数が増える
 エ X 小さい Y 細胞の数が増えた Z それぞれの細胞が成長する

(7) 地球と太陽と月が一直線上に並ぶとき、日食や月食が観測できる場合があります。地球から日食が観測できるときと、月食が観測できるときの、地球と太陽と月の並び順として最も適当なのは、 $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。

- ア 太陽 地球 月 イ 月 太陽 地球 ウ 太陽 月 地球

(8) 表は、気温とその気温における飽和水蒸気量を示しています。気温が25℃で、空気1m³に含まれる水蒸気の質量が12.8gであるとき、湿度は何%ですか。小数第1位を四捨五入して、整数で答えなさい。

表

気温 [°C]	飽和水蒸気量 [g/m ³]
15	12.8
20	17.3
25	23.1
30	30.4

2

火成岩と火山の特徴および、地層のつき方について、(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 図1は、ある火成岩の組織をスケッチしたものです。①、②に答えなさい。
- ① 図1のような火成岩のつくりを何といいますか。
- ② 図1の火成岩のつき方を説明した次の文章の□S～□Uに当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- 地下深くのマグマの中で鉱物が成長し、比較的大きな□Sができる。そのマグマが地表の近くに上昇すると、□T冷やされるため、□Sを取り囲むように小さな鉱物やガラスの部分である□Uができる。

- ア S 斑晶 T ゆっくり U 石基
イ S 斑晶 T 急に U 石基
ウ S 石基 T ゆっくり U 斑晶
エ S 石基 T 急に U 斑晶

(2) 表は、特徴の異なる三つの火山で採集した3種類の火成岩Ⅰ～Ⅲに含まれる無色鉱物と有色鉱物の割合をまとめたものです。図2に示す三つの火山の特徴は、それぞれ表の火成岩Ⅰ～Ⅲを採集した火山の特徴のいずれかに対応しています。表の火成岩Ⅰを採集した火山の特徴は、図2のア～エのうちのどれですか。一つ答えなさい。また、火成岩Ⅰを採集した火山がそのような特徴をもつ理由を、解答欄の書き出しに続けて説明しなさい。

表

火成岩	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
無色鉱物の割合 (%)	90	80	60
有色鉱物の割合 (%)	10	20	40

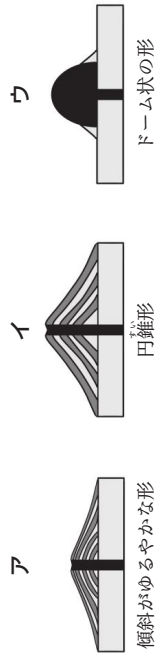


図2

(3) 図3は、ある露頭で観察できる地層のようすを模式的に示したものです。図3の地層ができるまでに起こったア～オのできごとを、起こった年代が古い順に左から並べなさい。ただし、図3の地層では地層の上下の逆転はないものとし、X面は、過去に風化、侵食の影響を受けた不規則な凹凸面です。

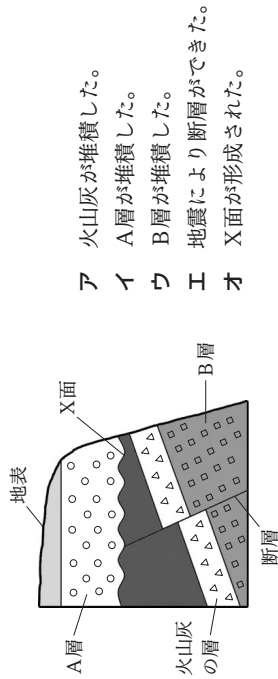


図3

(4) 図4は、ボーリング調査が行われた地点A～Cの位置を示した略地図であり、曲線は等高線を、数値は標高を示しています。また、図5は、図4の地点Aと地点Cで行ったボーリング調査の結果を、柱状図にまとめたものです。図4の地点Bで行ったボーリング調査の結果を、柱状図にまとめたものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。ただし、図4の地域の地層は水平であり、地層の上下の逆転やしゅう曲、断層はないものとしします。

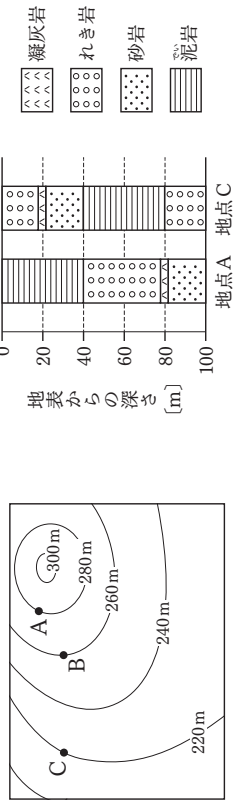
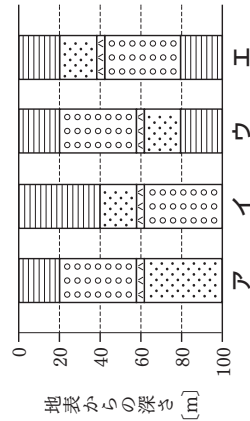


図4

図5



3 奈津さんと栄一さんは、食事と栄養についてのポスター作成のために話し合っています。(1)～(3)に答えなさい。

<話し合い>

奈津：理科の授業で、^(a)食物中に含まれる物質は、消化酵素によって体内に吸収されやすい物質に分解され、^(b)小腸などで吸収されると学んだよ。食物に含まれる物質によって、分解や吸収のされ方が違っていたよね。

栄一：よし、家庭科の調理実習でつくったブタ肉のショウガ焼きを題材にして、食物に含まれる物質がどのようにからだに取り込まれるかをまよめてみよう。

奈津：ブタ肉に含まれるおまな成分は、タンパク質と脂肪だね。調理法や食物の組み合わせによって、栄養素の吸収効率が変わると聞いたよ。

栄一：調理実習のときに先生が、ショウガには消化酵素が含まれていて、ブタ肉を柔らかくするはたらきもあると言っていたよ。ショウガの絞り汁に含まれる消化酵素は、タンパク質や脂肪の分解に影響するのかな。

奈津：^(c)ブタのタンパク質からできているゼラチンのゼリーと、ブタの脂肪からできているラードの塊を使って、ショウガの絞り汁に含まれる消化酵素について、実際に調べてみよう。

(1) 下線部(a)について、①、②に答えなさい。

① だ液に含まれる消化酵素と、それによって分解される物質の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

	消化酵素	物質
ア	トリプシン	タンパク質
イ	トリプシン	デンプン
ウ	アミラーゼ	タンパク質
エ	アミラーゼ	デンプン

② 脂肪は、すい液に含まれるリパーゼによって二つの物質に分解されます。脂肪がリパーゼによって分解されてできるのは、モノグリセリドと何という物質ですか。

(2) 下線部(b)について、①、②に答えなさい。

① 次の文章の□P□と□Q□に当てはまる適当な語や内容を答えなさい。

消化酵素により分解された物質は、小腸内側の壁から吸収される。小腸内側の壁にはひだがあり、その表面には□P□という小さな突起がみられる。

ひだや□P□があることで、小腸内側の壁の□Q□なるため、生命活動に必要な物質を効率よく吸収することができる。

② 吸収された物質が、どのようにに運搬されたり、利用されたりするのかを説明した文として誤っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 血管を通して細胞に運ばれたブドウ糖などから、細胞呼吸（細胞による呼吸）によってエネルギーが取り出される。

イ ブドウ糖の一部は、腎臓でグリコーゲンという物質に合成されて蓄えられる。

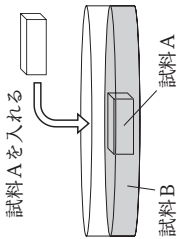
ウ アミノ酸の一部は、タンパク質に合成されて必要な場所に送られる。

エ 脂肪がリパーゼによって分解されてできた二つの物質は、吸収された後、再び脂肪になってリンパ管に入る。

(3) 下線部(c)について、図のように試料Aを試料Bの中に入れ、試料Aに変化が起こるかを調べる実験を計画しました。表のように条件を考え、対照実験として条件Ⅲと条件Ⅳを設定しようとしています。①、②に答えなさい。ただし、ショウガの絞り汁は加熱していないものを使用し、ゼラチンのゼリーやラードの塊に影響を与えない温度で実験を行うものとしす。

表

	条件Ⅰ	条件Ⅱ	条件Ⅲ	条件Ⅳ
試料A	ゼラチンのゼリー	ラードの塊	ゼラチンのゼリー	ラードの塊
試料B	ショウガの絞り汁＋水			
結果	a	b	c	d



図

① 対照実験である条件Ⅲと条件Ⅳの試料Bとして、何を準備すればよいと考えられますか。表の□に入る適当な内容を答えなさい。

② 結果のa～dには、「変化あり」、「変化なし」のどちらかが入ります。ショウガの絞り汁に含まれる消化酵素がタンパク質のみを分解している場合、どのような結果が予想されますか。予想される結果が、「変化あり」の場合は「○」を、「変化なし」の場合は「×」を、それぞれ書きなさい。

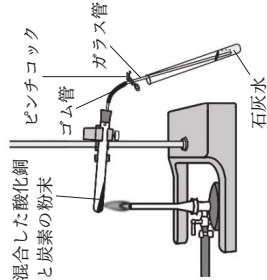
次は、科学部に所属する太郎さんのレポートの一部です。(1)～(5)に答えなさい。

<太郎さんのレポートの一部>

生活に欠かせない^(a)金属の多くは、自然界において単体ではなく酸化銅などの化合物として鉱石中に存在している。鉱石から金属の単体を取り出す製錬では、^(b)酸化銅から炭素を取り除く反応が利用されている。そこで、酸化銅 (CuO) から炭素を取り除く、次のような【実験】を行った。

【実験】

- 1 図のような装置を用意し、表のように、黒色の酸化銅の粉末 6.00 g と黒色の炭素粉末を混合して入れた試験管 A～E をガスバーナーで加熱する。
- 2 各試験管内の反応が完全に止まった後に、石灰水からガラス管を取り出して加熱をやめ、^(c)ピンチコックでゴム管を閉じて、密閉する。
- 3 試験管が十分に冷えてから、試験管の中に残った固体の質量を測定する。



表

試験管	A	B	C	D	E
加熱前の酸化銅の質量 [g]	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
混合した炭素の質量 [g]	0.15	0.30	0.45	0.60	0.75
加熱後の試験管の中に残った固体の質量 [g]	5.60	5.20	4.80	4.95	5.10

【結果と考察】

試験管の中には赤色の銅ができており、発生した気体により石灰水が白くにごったことから、二酸化炭素が発生したことも確認できた。
加熱後の試験管の中に残った固体の質量は、表のようになった。質量保存の法則が成り立つことを前提に考えると、加熱後の試験管 A の中に残る固体の質量は、反応前後で変わらず 6.15 g となるはずであったが、実際に残った固体の質量は 5.60 g であった。これは、反応により生じた物質の一つが二酸化炭素だったためだと考えられる。試験管に入れた酸化銅と炭素を合わせた質量から、加熱後の試験管の中に残った固体の質量を差し引くと、発生した二酸化炭素の質量が得られる。

- (1) 下線部 (a) について、金属の元素はア～オのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア H イ Zn ウ O エ C オ Cl

- (2) 下線部 (b) のような化学変化を何といいますか。

- (3) 酸化銅 (CuO) と炭素が反応して銅と二酸化炭素が生じるときの反応を、化学反応式で表しなさい。

- (4) 【実験】において、下線部 (c) の操作を行わなかった場合、試験管の中にできた銅の一部が再び黒くなります。その理由を説明した次の文の□□に適当な内容を書きなさい。

試験管の中の銅が、□□ため。

- (5) 【結果と考察】をもとに、①～③に答えなさい。ただし、【実験】では酸化銅と炭素の間でのみ反応が起こり、どの試験管でも酸化銅と炭素の少なくとも一方は、完全に反応したものとなります。

- ① 加熱後の試験管 A の中に残った固体として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 銅のみ イ 炭素のみ ウ 炭素と銅 エ 銅と酸化銅

- ② 混合した炭素の質量と発生した二酸化炭素の質量の関係を表したグラフをかきなさい。

- ③ 酸化銅の粉末 8.00 g と炭素粉末 0.60 g を混合して、同様の【実験】を行ったとき、加熱後の試験管の中に残る固体の質量は何 g になりますか。

花子さんは、物体にはたらく力と物体の運動について調べるために、実験Ⅰと実験Ⅱを行いました。(1)～(5)に答えなさい。ただし、力学台車と球が受ける摩擦や空気の抵抗、および記録テープの重さや摩擦は考えないものとします。

実験Ⅰ

- 図1のように、水平な机に力学台車を置き、記録タイマー（1秒間に60回打点するもの）に通した記録テープを力学台車にとりつけた。
- 力学台車を手で押し、しばらくしてから手を離れた。
- 力学台車の運動が記録された記録テープを6打点ごとに区切り、長さを図2のようにまとめた。

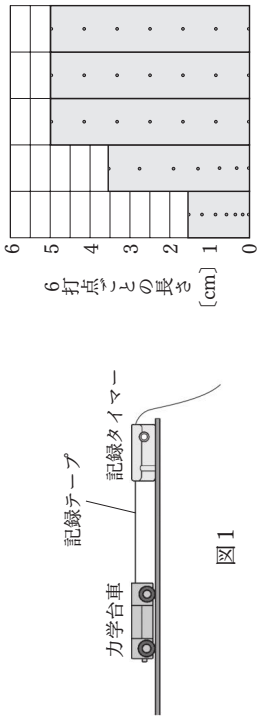


図1

実験Ⅱ

- 図3のようなレールを用いた装置を作成し、レールの水平部分に木片を置いた。
- レールの斜面上に、球を静かに置いて手を離すと、球はレールに沿って移動し、木片と衝突して木片を動かしたのち、木片とともに静止した。
- レールの斜面上の点A～Dの位置に、同じ球を静かに置いて手を離し、球の衝突によって、木片が動いた距離をそれぞれ測定した。

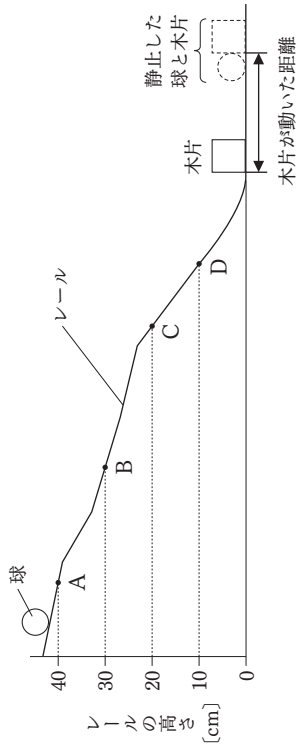


図3

- (1) 物体に力がはたらいていないか、力がはたらいていても、はたらいている力がつり合っているとき、運動している物体は等速直線運動を続け、静止している物体は静止し続けます。この法則を何といいますか。

- (2) 実験Ⅰにおいて、力学台車が等速直線運動をしているときの、力学台車の速さは何 cm/s ですか。

- (3) 図4の矢印は、斜面上の球にはたらく重力の大きさと向きを模式的に表したものです。球にはたらく重力を、斜面に平行な方向と斜面に垂直な方向に分解したときの分力を、解答欄に矢印でそれぞれかきなさい。

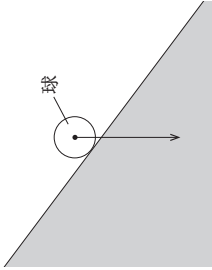
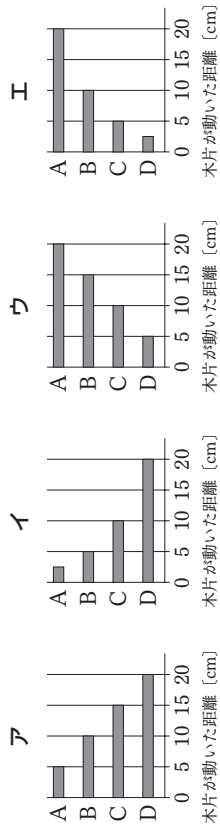


図4

- (4) 実験Ⅱについて、点A～Dの位置で球を離したときの、木片が動いた距離を表しているものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



- (5) 自転車専用のコース（トラック）を走る自転車トラックレースを観戦した花子さんが、先生と会話をしています。①、②に答えなさい。
- <会話>

花子：自転車トラックレースを観戦していて疑問に思ったのですが、走路の傾斜にはどんな意味があるのでしょうか。

先生：自転車トラックレースの走路の傾斜を模式的に表すと、図5のようにトラックの内側は低く、外側になるほど高くなっています。トラックの外側を走る選手は、内側を走る選手よりも高い位置にいることになりますね。

花子：高い位置にいるということは、低い位置へ移動するとき、内側の選手よりも大きな から、速さが大きくなるのですね。そういえば、外側から内側へ下って、内側の選手を追いこす場面がありました。

先生：傾斜をそのように利用することができます。

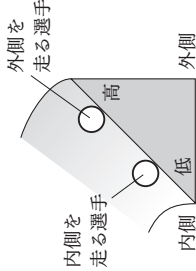


図5

- ① <会話>の に適当な内容を、「変換」と「エネルギー」という語を用いて答えなさい。

先生：他にも、自転車トラックレースでは、スピードを維持したままコーナーを曲がる必要があります。図6の模式図のように、トラックを進む物体(○)を上から見てみましょう。傾斜がない場合、コーナーに入ると、物体はAの方向に進み続けようとするため、トラックの外側の方へと進み、コースから外れそうになります。

花子：もしかして、傾斜があるとコースから外れにくくなるのですか。図6において、Bの向き、つまりトラックの内側に向けて力がはたらいていれば、スピードを維持したままコーナーを曲がることでできそうです。

図6

先生：良いところに着目しましたね。図7の模式図のように、走路を進む物体(○)を進行方向の真後ろから見ましょう。物体が同じ高さのまま前方に進んでいるとき、傾斜がない場合とある場合における、物体にはたらく垂直抗力の向きに注目して、考えてみてください。

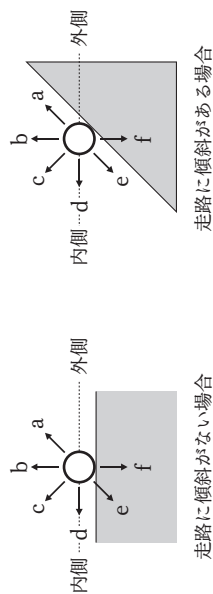


図7

② 花子さんは、走路上を進む物体にはたらく力について、図7を使って次のように考えました。 $\square X \sim \square Z$ に入る最も適当な力の向きは、図7の矢印a～eのうちのどれですか。それぞれ答えなさい。

- 走路に傾斜がない場合
垂直抗力は $\square X$ の向きにはたらく、fの向きの力とつり合っている。
- 走路に傾斜がある場合
垂直抗力は $\square Y$ の向きにはたらく、 $\square X$ の向きと $\square Z$ の向きに分解することができる。物体が同じ高さのまま前方に進むとき、 $\square X$ の向きの力とfの向きの力はつり合っている。結果として、垂直抗力を分解した $\square Z$ の向きの力が、トラックの内側にはたらく力として残るので、コーナーを曲がりやすくなる。

5 英 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 話される英語の内容を正しく聞き取る力、適切に応答する力、必要な情報を正確に書き取る力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- 2 英語による会話と会話の内容に関する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や会話の目的に応じて情報を整理する力をみる。
- 3 英語で日記を書く場面において、状況に応じて適切に表現する力をみる。
- 4 英語で話し合う場面を素材として、英語の内容を正確に理解し、話し合いの論理展開や概要を把握する力をみる。
- 5 まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、登場人物の心情変化や文章の要点を把握する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

話される英語の内容を正しく聞き取る力をみる設問の正答率は高かった。また、英語で話し合う場面を素材として、英語の内容を正確に理解し、話し合いの論理展開や概要を把握する力をみる設問の正答率も高かった。

一方、まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、登場人物の心情変化や文章の要点を把握する力をみる設問では、正答率が低かった。また、英語で日記を書く場面において、状況に応じて適切に表現する力をみる設問も正答率が低かった。

必要な情報を正しく聞き取り、応答する力を育成する指導の充実

〔大問1〕 B(1) 正答：エ 正答率：51.5%〕

(1)、(2)のそれぞれの会話の最後の文に対する応答部分でチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。(省略)

〔放送文〕 A : My brother is studying in London now.
B : Really? That sounds cool.
A : He won't be back in Japan until next year.
B : When did he leave the country?
A : (チャイム)

(選択肢省略)

〈分析〉大問1B は、話される英語の内容を正しく聞き取り、適切に応答する力をみることをねらいとしている。(1)では「He will be back next week.」という選択肢を選ぶ誤答が多かった。When という疑問詞は正しく聞き取れているものの、won't や did といった会話において重要な部分が正しく聞き取れていないためと考えられる。

〈視点〉日常的な話題について、聞くことの言語活動においては、話されることのすべてを聞き取ろうとするのではなく、話の概要を捉えたり、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を把握したりすることが大切である。必要な情報を聞き取る力を身に付けさせるためには、例えば、公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスの場面を題材として取りあげることが考えられる。音のつながりなどを聞き取れるようになるためにも、自然な速度に近い音声を聞き取る機会を増やしたい。また、会話において必要な情報を聞き取る力は、話すこと[やり取り]の言語活動、特に即興で伝え合う活動を充実させることによって育成することができる。

意味のある文脈の中で、知識・技能を定着させる指導の充実

〔大問2〕(3) 正答例：expensive 正答率：40.0%〕

ウェブサイトの画面

TICKETS

・Regular Ticket	\$10
・Special Ticket	\$15

(省略)

Sota : Wait! Look here on the website. We need a special ticket to watch "Amazing Cats." We can watch it in comfortable seats, but the special ticket is more (う) than a regular ticket.

(省略)

(3) (う) に入れるのに最も適当な英語 1 語を書きなさい。

〈分析〉大問2(3)は、英語による会話と会話の内容に関係する資料から、英語の内容を正確に読み取り、知識を活用する力をみることをねらいとしている。会話の流れから、二種類のチケットの価格を比較するという判断はできていても、expensive を正しく表記できていない解答が多く見られた。

〈視点〉知識・技能を定着させるための言語活動を、意味のある文脈の中で行う必要がある。実際のコミュニケーション場面においては、資料から情報を読み取り、活用する状況もあることから、日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレットなどを題材として自分が必要とする情報を読み取る活動を行うことが考えられる。そして、読み取った情報を表現する際には音声による言語活動だけでなく、筆記による言語活動も取り入れたい。書くことによって、表記の定着にもつながることができる。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	A(1)	ウ	2	○			70.0		0.0		30.0	0.0
	A(2)	イ	2	○			73.5		0.0		26.5	0.0
	B(1)	エ	2	○			51.5		0.0		48.5	0.0
	B(2)	イ	2	○			66.5		0.0		33.0	0.5
	C(あ)	Tuesday	2		○		73.5	1.5			22.0	3.0
	C(い)	white	2		○		69.5	1.0			23.0	6.5
	C(う)	twelve	2		○		76.0	0.0			20.0	4.0
	D(1)	エ	3	○			75.0	0.0			25.0	0.0
	D(2)	language volunteer activity	3			○	14.5	12.0			54.5	19.0
2	(1)	won	2		○		82.5	0.0			16.5	1.0
	(2)	save	3		○		21.5	0.0			68.0	10.5
	(3)	expensive	3		○		40.0	5.0			50.0	5.0
	(4)	エ	2	○			70.0	0.0			30.0	0.0
	(5)	エ	3	○			70.0	0.0			30.0	0.0
3	(1)	took me to the hospital	3			○	24.5	17.0			46.5	12.0
	(2)	doctor spoke slowly	3			○	16.0	17.5			40.5	26.0
4	(1)	ウ	2	○			80.0	0.0			19.5	0.5
	(2)	エ	3	○			68.5	0.0			31.5	0.0
	(3)	prepare Japanese green tea in a teapot	3			○	57.0	1.0			29.5	12.5
	(4)	ア	3	○			68.0	0.0			31.5	0.5
	(5)	イ	3	○			70.0	0.0			29.5	0.5
5	(1)	ウ	2	○			59.0	0.0			41.0	0.0
	(2)①	いろいろな世代の人々と会う	2			○	31.0	14.5			43.5	11.0
	(2)②	新しいことを発見する	2			○	36.5	13.5			38.0	12.0
	(3)	ア	2	○			43.0	0.0			55.0	2.0
	(4)	help the players experience more exciting	3			○	42.0	3.0			50.5	4.5
	(5)	our local community	3			○	42.0	0.0			36.0	22.0
	(6)	イ ウ オ	3	○			30.0	0.0			66.5	3.5

受 検 番 号	(算用数字)	志 願 校
---------	--------	-------

解 答 用 紙



注意 1 英語で書くところは、活字体、筆記体のどちらで書いてもかまいません。
2 語数が指定されている設問では、「,」や「.」、「?」などの符号は語数に含まれません。
また、「don't」などの短縮形は、1語とします。

1		A(1)	
		A(2)	
		B(1)	
		B(2)	
		C(あ)	
		C(い)	
		C(5)	
		D(1)	
	D(2)		

3		(1)	
		(2)	

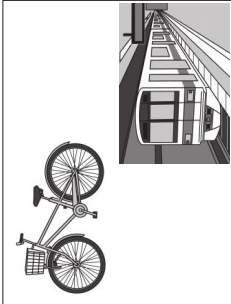
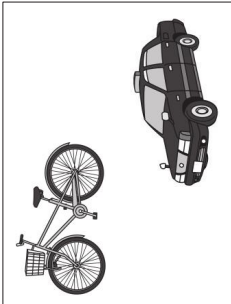
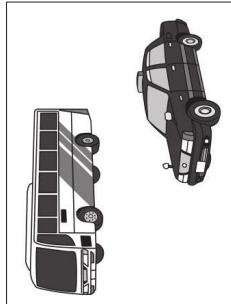
4		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	

2		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	

5		(1)	
		(2)①	
		(2)②	
		(3)	
		(4)	
		(5)	
	(6)		

1 この問題は聞き取り検査です。**問題A～問題D**に答えなさい。**問題A**では、英語は**1回だけ**読めます。**問題B～問題D**では、英語は**2回**読めます。途中でメモをとってもかまいません。

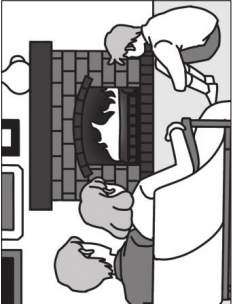
問題A (1)、(2)のそれぞれの英文で説明されている内容として最も適当なのは、**A～E**のうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は**1回だけ**読めます。

(1) A  E 	ウ  エ 
--	---

(2)

A 

イ 

ウ  エ 

問題B (1)、(2)のそれぞれの会話の最後の文に対する応答部分でチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分に入れるのに最も適当なのは、**A～E**のうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は**2回**読めます。

- A** To study art.
- イ** Because he studied in London.
- ウ** He will be back next week.
- エ** He left Japan last month.
- (1)
- A** Yes, it was. I really enjoyed the party.
- イ** Yes, I did. I had to finish my homework.
- ウ** No, it wasn't. I couldn't eat a lot.
- エ** No, I didn't. I went to the party with Yuka.
- (2)

問題C 留学生のHonokaが、友人のEmilyからの留守番電話のメッセージを聞き、メモをとっています。メッセージを聞いて、Honokaが書いたメモの (あ) ～ (う) にそれぞれ適当な英語1語を入れなさい。英語は**2回**読めます。

Honokaのメモ

Going out with Emily on (あ)

- What to buy : black ties and (い) gloves
- Place to meet : the front of the shopping mall
- Time to meet : (う) o'clock

問題D あなたとホストシスターのSarahが、ボランティア活動の事前説明会に参加し、担当者による説明を聞いた後に話をしています。説明とSarahの発言を聞いて、(1)、(2)に答えなさい。英語は**2回**読めます。

- (1) 説明の内容と合っているのは、**A～E**のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- A** ボランティア活動は、どちらも午前中に始まる。
- イ** ボランティア活動は、どちらも同じ日に行われる。
- ウ** ボランティア活動は、どちらも服装が指定されている。
- エ** ボランティア活動は、どちらも持ち物が指定されている。

(2) 説明の後にSarahが発言したことに対して、あなたはどのように答えますか。書き出しに続けて、 に volunteer を含む3語以上の英語を書き、英文を完成させなさい。

That's true. Then, let's choose the .

2 Nick と Sota が、あるウェブサイトをしながら、午後から見に行く映画の相談をしています。次は、そのウェブサイトの画面と会話です。(1) ～ (5) に答えなさい。

ウェブサイトの画面

Flower Theater Movie Information				
Title	Genre	Time (minutes)	Starting Time	
Fun Fun Fun	Comedy	105	12:20 p.m.	3:50 p.m. 7:20 p.m.
The Adventures of Babies	Adventure	120	1:05 p.m.	
The History of Music	Musical	100	2:15 p.m.	5:00 p.m. 7:40 p.m.
Amazing Cats*	Science Fiction	66	1:50 p.m.	4:50 p.m.
Hello, Planets !	Science Fiction	97	12:10 p.m.	6:00 p.m.
*You need a special ticket. You can watch the movie in a comfortable seat.				
TICKETS				
・Regular Ticket		\$ 10		
・Special Ticket		\$ 15		

Nick : Look at this website. There are five movies at Flower Theater now. Let's decide which movie we will watch this afternoon. "Fun Fun Fun" and "The History of Music" are the new movies. "Fun Fun Fun" ^(a) win an award last month.

Sota : Really? I didn't know that. I think such new movies are usually crowded.
Nick : You are right. I don't like crowded places. By the way, what genre of movies do you like?

Sota : I like adventure movies. Also, I like science fiction movies.
Nick : I like science fiction movies, too. "The Adventures of Babies" is the only adventure movie, but I think it's a little long. Why don't we watch "Amazing Cats"? The heroes of the movie are strong and smart. They will many people's lives on Earth.

Sota : That is one of the movies that I have wanted to watch.
Nick : That's good.

Sota : Wait! Look here on the website. We need a special ticket to watch "Amazing Cats." We can watch it in comfortable seats, but the special ticket is more than a regular ticket.

Nick : That's not a problem for me. How about you? Is it OK for you to buy it?
Sota : I don't want to pay that money, though I'm interested in the seats. I have to my money because I have already spent a lot of money this month.

Nick : I see. Then, let's watch the other science fiction movie. My mother tells me to come home before six p.m. because it gets dark outside. So we can watch the movie that starts earlier.

Sota : That sounds great. Let's watch it together.

[注] title タイトル、題名 genre ジャンル、種類 regular 通常の
pay ～ ～を支払う spend ～ ～を使う dark 暗い

- (1) 下線部 (a) の単語を、最も適当な形に変えて 1 語で書きなさい。
(2) に共通して入れるのに最も適当な英語 1 語を書きなさい。
(3) に入れるのに最も適当な英語 1 語を書きなさい。
(4) Nick と Sota が最終的に一緒に見ることにしたのとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア The Adventures of Babies イ The History of Music
ウ Amazing Cats エ Hello, Planets !

- (5) ウェブサイトの画面や会話から読み取れる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア "The Adventures of Babies" is the shortest movie at Flower Theater.
イ There is only one new movie at Flower Theater.
ウ Both Nick and Sota like to watch adventure movies.
エ Nick's mother wants Nick to come home before it gets dark.

- 3 イギリスに留学している Akiko は、Oliver と Lily の家にホームステイしています。次は、ホームステイ中の Akiko の日記の一部と、その日のごとを表したイラストです。日記とイラストの内容に合うように、 (1) に 5 語以上、 (2) に 3 語以上の英語を書き、日記を完成させなさい。

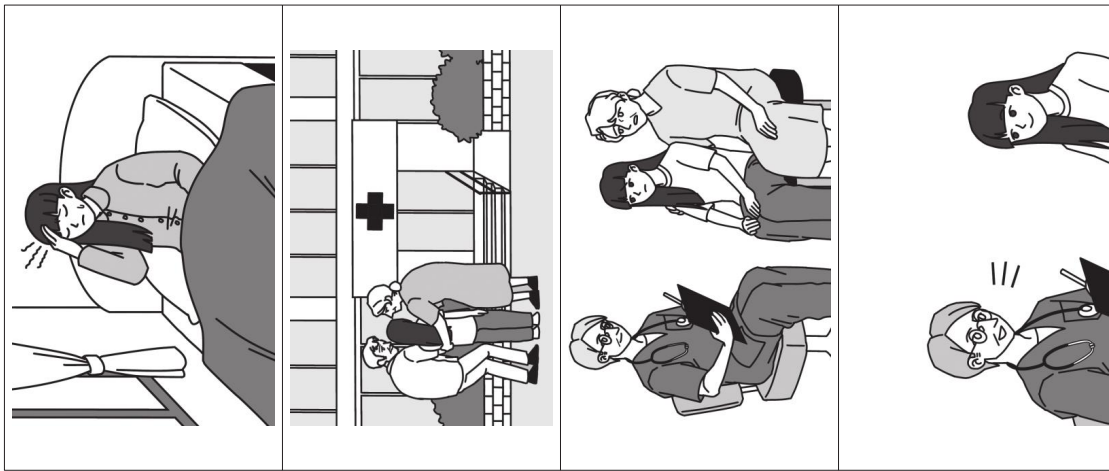
Akiko の日記の一部

August 4

This morning, I felt sick and had a headache when I got up. When we were having breakfast, Lily realized I didn't feel well. After breakfast, Oliver and Lily (1) . It was my first time to go there.

At first, I was so afraid because I was worried about my English. However, the (2) , so I understood what he was saying well.

イラスト



Bell 先生と英語部の Miho と Eita が、カナダにある姉妹校 (sister school) の生徒との文化交流 (cultural exchange) でどのような催しをするかについて話し合いをしています。次の英文は、話し合いと、話し合い後に書いた Eita の部活動記録です。(1)～(5)に答えなさい。

話し合い

Ms. Bell : Have you decided what you are going to do at the cultural exchange with the students from our sister school?

Miho : We are thinking about serving *matcha* to them.

Ms. Bell : That's nice. Why did you choose that?

Miho : We found an interesting article. According to it, *matcha* is becoming popular around the world. A lot of people drink *matcha* for their (あ). For example, they don't get sick easily when they drink it every day. We got interested in *matcha* because we read this.

Ms. Bell : In my country, the United States, there are lots of cafes that serve *matcha*. It is used not only in drinks, but also in sweets like ice cream and cakes.

Miho : *Matcha* is so popular in your country, too.

Ms. Bell : Well, (い) ?

Eita : We're thinking about that. Tea ceremony is a good way to serve *matcha* to foreign students, but it is too difficult for us. There are many rules in tea ceremony, and we don't have time to practice for it. Do you have any ideas?

Ms. Bell : Let me see. I often enjoy *matcha* in a glass with some fruit juice. My favorite is orange juice. The colors of orange and green are beautiful. In this way, I can enjoy both the taste and the colors of the tea.

Miho : That way is new to me. I would like to try it.

Eita : I see. However, I want to show the students a Japanese way.

Miho : Why don't we serve Japanese green tea prepared in a teapot?

Eita : Will you put *matcha* in it?

Miho : No. We will use tea leaves that are different from *matcha*.

Eita : OK. I understand.

Miho : I hear that Japanese green tea prepared in a teapot is also getting popular in Europe, Asia, and other foreign countries. I think that serving it to our guests is traditional Japanese culture.

Ms. Bell : Wow, that's a good idea. To prepare Japanese green tea in a teapot is one part of Japanese culture that foreign people want to experience. I think that (e) many of them want to know how to do it.

Eita : Sounds good. However, I don't know how to do it because I don't use a teapot at home. Instead, I often drink Japanese green tea from a plastic bottle.

Miho : In my family, my father likes preparing Japanese green tea in a teapot. We usually drink it with dinner. I can ask my father how to do that.

Eita : That sounds great. Then, we can learn how to do that. It is good for us to know about our own culture.

Miho : That's true. To show our own culture to people from other countries, we have to know a lot about it.

Eita の部活動記録

At the cultural exchange, we will use a teapot and serve Japanese green tea. Miho thinks that we need to (え) when we introduce it to people from other countries. I agree with her.

[注] serve ～ (食べ物など)を出す *matcha* 抹茶 according to ～ によると
not only ～ but also … ～だけでなく…も taste 味
leaves *leaf* (葉) の複数形

(1) (あ) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア traffic イ places ウ health エ names

(2) (い) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア where can you find that イ who can find that
ウ what time will you serve it エ how will you serve it

(3) 下線部 (s) の内容になるように、次の文の () に入る最も適当な英語 7 語を、話し合いの中の Bell 先生の発言から抜き出して書きなさい。

Many foreign people want to know how to () .

(4) 話し合いの内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Miho and Eita became interested in *matcha* because of the article.

イ Miho did not want to try the way to drink *matcha* with fruit juice.

ウ Eita does not drink any Japanese green tea in his daily life.

エ Miho's family usually drink Japanese green tea with breakfast.

(5) (え) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア visit a foreign country イ know much about our culture

ウ teach Japanese history well エ drink a lot of *matcha*

次の英文は、Yuji が英語の授業で発表したスピーチです。(1)～(6)に答えなさい。

Today, I want to share my experience and what I learned from it.

When I was ten years old, I joined the local basketball team and started playing basketball. ^(a) I was doing everything I could do to become a good player. On weekdays, I practiced hard early in the morning and after school. I often watched videos of basketball games. I slept for eight hours a day and didn't eat anything between meals.

When I entered high school, I became a member of the basketball team at school. One day, a basketball referee came to our high school to give a lecture to us. She was one of the best basketball referees in Japan. I asked her, "What do you enjoy the most as a basketball referee?" She answered, "I enjoy meeting people of different generations by refereeing. I also enjoy discovering new things that I've never known as a basketball player." ^(b) Her answer made me interested in basketball referees. I thought, "If I become a basketball referee, I will learn something that I haven't learned yet." I used the Internet and got some information about basketball referees. There are six kinds of qualification for them, and even people of my age can get one. With the qualification, I can become a basketball referee of official basketball games in my local community.

I decided to become a basketball referee. On the Internet, I had a test about the rules after some lectures. Then, I got a basketball referee qualification and started refereeing at official basketball games in my local community. At my first game as a basketball referee, I was in charge of the junior high school students' game. I was so ^(c) before the game. When other basketball referees saw me, they said, "Don't worry, Yuji. Everyone gets scared at first." After the game, they gave me a lot of advice to make the game more exciting. I thought, "If I had more knowledge and skills, I could (^(d) experience / more exciting / the players / help) games."

I read many books about basketball rules and watched many basketball games. I often practiced refereeing at practice games. I became confident after a lot of experiences. One day, after a kids' game, the players came to me and said, "Thank you. You are a good referee." When I heard these words, I was ^(e) because I felt that I was needed as a basketball referee. My efforts were successful.

Through basketball, I enjoy meeting other basketball referees, coaches, and players of different ages in our local community. My experience has connected me with people, and I want to help them. I learned this: We can be useful to our local community with our knowledge and our skills. I didn't realize that as a player. We, high school students, have things we can do for ^(f). By working hard for it, we can grow as a person. Let's take action.

〔注〕 enter ～ ～に入学する referee 審判、審判をする give a lecture 講義をする
qualification 資格 community 地域社会 in charge of ～ ～の担当
confident 自信のある grow 成長する

(1) 下線部 (a) について、同じ段落中で紹介されている内容として、当てはまらないものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 平日の朝と放課後に練習すること。 イ 試合の動画を見ること。
ウ 夜8時に就寝すること。 エ 間食をしないこと。

(2) 下線部 (b) の具体的内容を説明する次の文の ①、② にそれぞれ適当な日本語を入れなさい。

審判をすることによって ①ことや、バスケットボールの選手としては知らなかった ②ことが楽しいという答え。

(3) ③、④に入れる英語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア (5) nervous (a) satisfied
イ (5) nervous (b) disappointed
ウ (5) proud (c) satisfied
エ (5) proud (d) disappointed

(4) 下線部 (e) の語句をすべて用いて、意味が通るように並べ替えなさい。

(5) ⑤に入れるのに最も適当な英語3語を、同じ段落中から抜き出して書きなさい。

(6) 本文の内容と合っているのは、ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア Yuji began to play basketball when he was fifteen years old.
イ At Yuji's high school, he met one of Japan's best basketball referees.
ウ Yuji used the Internet to have a test about the rules.
エ With a basketball referee qualification, Yuji first refereed at the game for adults.
オ Yuji enjoys meeting different people as a basketball referee, and wants to support them.

1 聞き取り検査

問題A 次の英文が1回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

(1)

I am going to take the bus and the subway to the airport tomorrow.

(2)

Last summer, I went camping with my family. We went outside and enjoyed watching fireworks that night.

問題B 次の会話が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

(1)

A : My brother is studying in London now.

B : Really ? That sounds cool.

A : He won't be back in Japan until next year.

B : When did he leave the country ?

A : (チャイム)

(2)

A : Hi, Mike. How was the party at Yuka's house yesterday ?

B : It was fun and the food was really good.

A : That's nice. I also wanted to go, but I couldn't.

B : Did you have anything to do yesterday ?

A : (チャイム)

問題C 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

Hi, Honoka. We talked about going out together on Tuesday. Why don't we go to the shopping mall ? We are going to have a chorus contest, so we need to buy black ties and white gloves. Let's meet at the front of the shopping mall. I'll be there at twelve o'clock because my train will arrive at the nearest station at eleven forty-five. Please give me a phone call when you hear this. Bye.

問題D 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

A : Now I am going to tell you about two volunteer activities. These two volunteer activities will begin in the afternoon, but the dates of them are different. Please choose one of these. First, next Thursday, we will do a language volunteer activity. We will teach children Japanese. They are beginners of Japanese. If you join this activity, you need to bring your dictionary. Second, next Saturday, we will do a cleaning volunteer activity. We will clean the street. If you join this activity, you need to bring something to drink and your cap. It's going to be hot on that day.

B : These two volunteer activities sound interesting, but next Saturday, we have to attend a school event in the afternoon.

令和7年度学力検査 引用文献等リスト

	入試 分類	教科	大問 番号	ページ	内容	引用元	備考
1	特別	国語	2	3～4	設問文章	「漢文で知る中国 名言が教える人生の知恵」加藤徹(2021 NHK出版)p11～p12、p163、p165～p166	
2	特別	国語	3	5～6	設問文章	「こんな部活あります あしたをみがけ ― 姫川中学校みがき部」横沢彰(2024 新日本出版社)p74～p78、p80	
3	特別	国語	4	9～10	設問文章	「焚き火の脳科学 ― ヒトはなぜ焚き火にハマるのか ―」岡本剛(2024 九州大学出版会)p27～p31	
4	一般	国語	1	1～3	設問文章	「介護の花子さん」あさばみゆき(2024 Gakken)p361～p367	
5	一般	国語	2	5	設問文章	『図説「無常」の世を生きぬく古典の知恵！ 方丈記と徒然草』三木紀人(2011 青春出版社)p174～p176	
6	一般	国語	2	6	資料	「徒然草(二)」三木紀人(1982 講談社)p136	
7	一般	国語	3	7～8	設問文章	「風景をつくるごはん 都市と農村の真に幸せな関係とは」真田純子(2023 農山漁村文化協会)p40～p46	
8	一般	国語	4	10	資料Ⅰ	『令和5年度「国語に関する世論調査」の結果の概要』(2024 文化庁)p11	
9	一般	国語	4	11	資料Ⅱ	「これからの時代に求められる国語力について(文化審議会答申)」(2004 文化庁)p2～p3	
10	一般	国語	4	11	資料Ⅲ	『令和4年度「国語に関する世論調査」の結果の概要』(2023 文化庁)p3	
11	一般	社会	1	2	資料2	「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」(2021 帝国書院)p88	
12	一般	社会	2	3	表	「世界国勢図会 2024/25」(2024 矢野恒太記念会)p196、p199	
13	一般	社会	2	4	資料P	「最新地理図表GEO 五訂版」(2022 第一学習社)p168	
14	一般	社会	2	4	資料Q	「新詳地理資料 COMPLETE 2023」(2023 帝国書院)p251	
15	一般	社会	3	5	資料1	国文学研究資料館 電子資料館「越後国頸城郡岩手村佐藤家文書 新潟県地券」(1880 新潟県)	
16	一般	社会	3	5	資料2	国立国会図書館デジタルコレクション「角川日本史辞典 第二版」(1974 角川書店)p1195～p1196	
17	一般	社会	3	6	資料3	国立国会図書館デジタルコレクション「日本国会百年史」(1982 総合経済研究所)p506	
18	一般	社会	4	8	資料1	「データでみる県勢 2023」(2022 矢野恒太記念会)p194、p197	
19	一般	社会	4	8	資料2	「数字でみる 日本の100年 改訂第7版」(2020 矢野恒太記念会)p144	

